職員実態調査(アンケート)結果報告書

令和6年3月 総務課

目 次

Ι	調査の概要	1
П	調査結果	
	1 属性について	2
	2 不正行為につながるような不当な要求について	5
	3 利害関係者との「つきあい」について	14
	4 法令遵守(コンプライアンス)の状況について	20
	5 仕事に対する意識について	40
	6 ご意見・ご提案について	42
2 5 7 1	: Not 소급	20
貝	料編	60

(注)各表比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し第1位までとしたため、合計が 100% とならない場合がある。

I 調査の概要

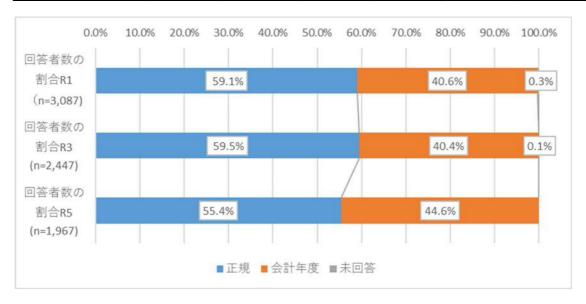
調査目的	平成30年度に起きた公契約関係競売入札妨害事件を受け、職員の法令遵守(コンプライアンス)意識や職場環境等を把握するため、平成31年3月に1回目、令和3年9月に2回目の職員実態調査(アンケート)を実施した。 前回調査から2年が経過し再発防止対策が推進されていることから、今回、改めてアンケートを実施し、これまでの調査との比較を行い、再発防止の取組を検証するとともに、今後の再発防止策に生かすことを目的とする。
調査方法	(1) 調査対象者 全職員[正規職員(再任用職員を含む。)・会計年度任用職員] 2,202人 ※病院医療職は、業務過多及び不規則な勤務実態を考慮し調査対象から除いた。 (2) 実施方法 無記名アンケート方式 電子回答(パソコン又はスマートフォン)又は紙回答。いずれも職員が特定されることがないよう配慮した。 (3) 調査基準日令和5年12月1日 (4) 調査期間 令和5年12月1日~12月15日
回収結果	回答総数 1,967 人・回答率 89.3%
分析方法	前回調査との比較を行うため質問項目については、基本的に前回と同様とした。(今回新たに追加した質問については、質問に働を付している。)なお、前回調査の意見や改善が図られた項目などを考慮し、質問数・項目を一部見直した(質問数 R3:47→R5:30)。 職員の任用形態や年齢等によって業務内容や職務権限などに違いがあることから、職員の属性による実態と傾向を正確に把握するため、各質問の回答結果に対し、属性(任用形態・年齢・管理職又はそれ以外・所属)でクロス集計を行った。また、具体的な記述により職員名等が特定されるおそれがあるもの等については掲載を控えている。

Ⅱ調査結果

1 あなたご自身についてお伺いします。

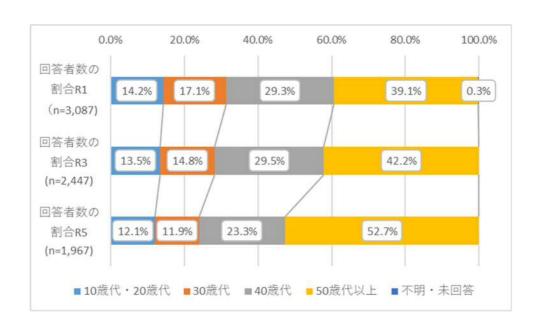
質問1 あなたの任用形態は。【全員必須】

選択肢	前々回(R元年度)	前回(R	3年度)	今回(R5年度)		
医1八瓜	回答者数	回答者数の割合	回答者数	回答者数の割合	回答者数	回答者数の割合	
正規	1,825人	59.1%	1,457人	59.5%	1,089人	55.4%	
会計年度	1,254人	40.6%	989人	40.4%	878人	44.6%	
未回答	8人	0.3%	1人	0.1%	0人	0.0%	
合計	3,087人	100.0%	2,447人	100.0%	1,967人	100.0%	



質問2 あなたの年齢は。【全員必須】

選択肢	前々回(R元年度)	前回(R	3年度)	今回(R5年度)		
进 1八1X	回答者数	回答者数の割合	回答者数	回答者数の割合	回答者数	回答者数の割合	
10歳代・20歳代	437人	14.2%	330人	13.5%	238人	12.1%	
30歳代	528人	17.1%	361人	14.8%	234人	11.9%	
40歳代	903人	29.3%	723人	29.5%	458人	23.3%	
50歳代以上	1,208人	39.1%	1,033人	42.2%	1,037人	52.7%	
不明・未回答	11人	0.3%	_	_	_	_	
合計	3,087人	100.0%	2,447人	100.0%	1,967人	100.0%	



質問3 あなたは、管理職ですか。【全員必須】

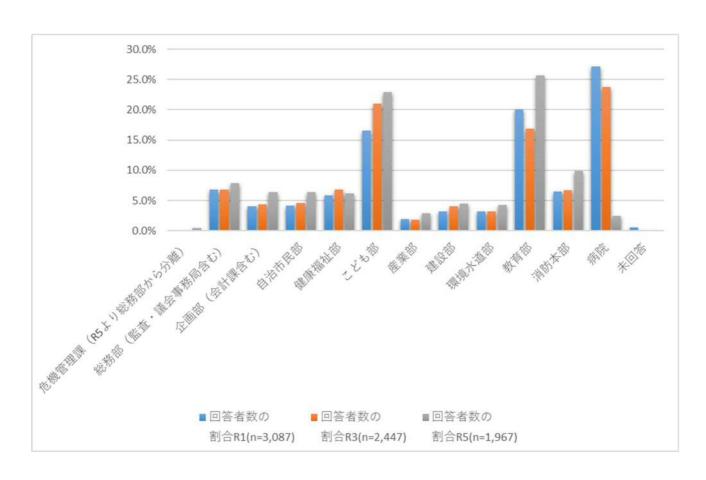
選択肢	前々回(R元年度)	前回(R	3年度)	今回(R5年度)		
医1八1人	回答者数	回答者数の割合	回答者数	回答者数の割合	回答者数	回答者数の割合	
管理職	221人	7.2%	195人	8.0%	182人	9.3%	
それ以外	2,849人	92.3%	2,252人	92.0%	1,785人	90.7%	
不明・未回答	17人	0.5%	1		1	_	
合計	3,087人	100.0%	2,447人	100.0%	1,967人	100.0%	



質問4 あなたの所属は。【全員必須】

選択肢	前々回(F	R元年度)	前回(R	3年度)	今回(R	5 年度)
进 机以	回答者数	回答者数の割合	回答者数	回答者数の割合	回答者数	回答者数の割合
危機管理課※	_	_	_	-	9人	0.5%
総務部(監査・議会事務局含む)	211人	6.8%	167人	6.8%	156人	7.9%
企画部 (会計課含む)	125人	4.1%	106人	4.3%	126人	6.4%
自治市民部	130人	4.2%	113人	4.6%	125人	6.4%
健康福祉部	183人	5.9%	166人	6.8%	122人	6.2%
こども部	509人	16.5%	514人	21.0%	450人	22.9%
経済産業部	58人	1.9%	44人	1.8%	57人	2.9%
建設部	99人	3.2%	98人	4.0%	89人	4.5%
環境水道部	99人	3.2%	79人	3.2%	84人	4.3%
教育部	617人	20.0%	413人	16.9%	505人	25.7%
消防本部	199人	6.5%	163人	6.7%	194人	9.9%
病院	841人	27.2%	582人	23.8%	50人	2.5%
未回答	16人	0.5%	2人	0.1%	0人	0.0%
合計	3,087人	100.0%	2,447人	100.0%	1,967人	100.0%

※R5 より総務部から分離



2 不正行為につながるような不当な要求についてお伺いします。

質問5 前回のアンケート(R3.9)以降についてお答えください。あなたは、1から 11 までに掲げるような事項について、市民や事業者等から便宜などを図るよう不当 な要求を受けたことはありますか。(選択)【全員必須】

「不当な要求」の内容

- 1. 事業計画に関すること 7. 入所・入園に関すること 2. 工事の発注・執行に関すること 8. 賦課・徴収に関すること
- 3. 入札・契約に関すること
- 4. 検査・監督に関すること
- 5. 審査・確認に関すること
- 6. 許認可に関すること

- 9. 補助金などに関すること
- 10. 人事に関すること
- 11. その他

市民や事業者等からの「不当な要求」についての有無について、

■全体では、11人の職員が「ある」と回答している。

「ある」と回答した職員については、

- ■任用形態では全員が「正規」、年齢では「50歳代以上」が5人、職階では全員が 「管理職以外」の職員という状況にある。
- ■所属では「企画部」「建設部」の割合が高くなっている。

※ () 内は割合

		F	内、任用形態	b c			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
ある	11人 (0.6%)	11人 (1.0%)	0人 (0.0%)	人(%).0)	2人 (0.8%)	1人 (0.4%)	3人 (0.7%)	5人 (0.5%)	0.0%)	0人 (0.0%)	11人 (0.6%)	0人 (0.0%)	
ない	1,956人 (99.4%)	1,078人 (99.0%)	878人 (100.0%)	0人(0.0%)	236人 (99.2%)	233人 (99.6%)	455人 (99.3%)	1,032人 (99.5%)	0人(0.0%)	182人 (100.0%)	1,774人 (99.4%)	0人 (0.0%)	
選択肢以外	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	
未回答	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	
合計	1,967人 (100%)	1,089人 (100%)	878人 (100%)	0人 (0%)	238人 (100%)	234人 (100%)	458人 (100%)	1,037人 (100%)	0人 (0%)	182人 (100%)	1,785人 (100%)	0人 (0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
ある	0人 (0.0%)	1人 (0.6%)	3人 (2.4%)	0人 (0.0%)	1人 (0.8%)	1人 (0.2%)	1人 (1.8%)	3人 (3.4%)	1人 (1.2%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
ない	9人 (100.0%)	155人 (99.4%)	123人 (97.6%)	125人 (100.0%)	121人 (99.2%)	449人 (99.8%)	56人 (98.2%)	86人 (96.6%)	83人 (98.8%)	505人 (100.0%)	194人 (100.0%)	50人 (100.0%)	0人 (0.0%)
選択肢以外	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
未回答	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
合計	9人 (100%)	156人 (100%)	126人 (100%)	125人 (100%)	122人 (100%)	450人 (100%)	57人 (100%)	89人 (100%)	84人 (100%)	505人 (100%)	194人 (100%)	50人 (100%)	0人 (0%)

質問5-1 質問5で「ある」と回答した方に聞きます。その行為を行った「相手の立場」と「不当な要求の内容」についてお答えください。(複数回答可)

職員が不当な要求を受けた14件(複数回答有)のうち、

- ■その行為を行った相手の立場では、「市民」が多い。
- ■不当な要求の内容では、「工事発注・執行」、「入札・契約」、「補助金」が各2件となっている。

不当な要求内容相手の立場	年度	事業計画	工事発注:執行	入札· 契約	検査・ 監督	審査· 確認	許認可
	R5	0件	0件	1件	0件	0件	0件
業者及び業界団体	R3	0件	0件	2件	0件	0件	0件
	R1	1件	4件	5件	1件	2件	5件
	R5	0件	1件	0件	0件	0件	0件
国会·県議会議員	R3	0件	0件	1件	0件	0件	0件
	R1	1件	0件	1件	0件	0件	1件
	R5	0件	1件	0件	0件	0件	0件
市議会議員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	1件	2件	1件	0件	0件	0件
	R5	1件	0件	1件	0件	0件	0件
市民	R3	0件	0件	0件	0件	0件	1件
	R1	3件	0件	0件	0件	1件	1件
	R5	0件	0件	0件	0件	0件	0件
職員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	1件	0件	0件	0件	0件	0件
	R5	0件	0件	0件	0件	0件	0件
元職員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	1件	1件	0件	0件	0件
	R5	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R5	1件	2件	2件	0件	0件	0件
合計	R3	0件	0件	3件	0件	0件	1件
	R1	7件	7件	8件	1件	3件	7件

続き(その他の項目)は次ページに掲載

不当な要求内容相手の立場	年度	入所· 入園	賦課徴収	補助金	人事	その他	合計
	R5	0件	0件	0件	0件	0件	1件
業者及び業界団体	R3	0件	0件	1件	0件	0件	3件
	R1	0件	1件	3件	1件	0件	23件
	R5	0件	0件	0件	0件	0件	1件
国会·県議会議員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	1件
	R1	0件	0件	1件	0件	1件	5件
	R5	0件	0件	0件	0件	0件	1件
市議会議員	R3	1件	0件	0件	0件	0件	1件
	R1	0件	1件	0件	0件	1件	6件
	R5	1件	1件	1件	0件	4件	9件
市民	R3	2件	5件	0件	0件	6件	14件
	R1	2件	3件	2件	1件	3件	16件
	R5	0件	0件	0件	0件	0件	0件
職員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	0件	0件	2件	3件	6件
	R5	0件	0件	1件	0件	1件	2件
元職員	R3	0件	0件	0件	0件	1件	1件
	R1	0件	0件	0件	0件	3件	5件
	R5	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	R3	0件	0件	1件	0件	0件	1件
	R1	0件	1件	0件	0件	1件	2件
	R5	1件	1件	2件	0件	5件	14件
合計	R3	3件	5件	2件	0件	7件	21件
	R1	2件	6件	6件	4件	12件	63件

質問5-2 質問5で「ある」と回答した方に聞きます。不当な要求に対して、その要求 に応じたことがありますか。(選択)

不当な要求に対して、その要求に応じたかの有無について、

■全体では1人の職員が「ある」と回答している。

※()内は割合

		P	内、任用形態	DEX.			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
ある	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	
める	(9.1%)	(9.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(20.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(9.1%)	(0.0%)	
ない	10人	10人	0人	0人	2人	1人	3人	4人	0人	0人	10人	0人	
<i>ا</i> لله	(90.9%)	(90.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(80.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(90.9%)	(0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
木凹台	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	11人	11人	0人	0人	2人	1人	3人	5人	0人	0人	11人	0人	
台町	(100%)	(100%)	(0%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民	健康福祉	こども部	経済産業	7. 4. =0. ±0	環境水道	*/- ***			+
				部	部	CC 0Hb	部	建設部	部	教育部	消防本部	病院	未回答
+ 7	0人	0人	0人	- 66 人	- 66	0人	部 0人	建設部 1人	部 人0	教育部 0人	消防本部 0人	病院 0人	(A)
ある	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)				***						
				0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
ある ない	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	1人(33.3%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
ない	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%) 3人	0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 1人	0人 (0.0%) 1人	0人 (0.0%) 1人	1人 (33.3%) 2人	0人 (0.0%) 1人	0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人
	(0.0%) 0人 (0.0%)	(0.0%) 1人 (100.0%)	(0.0%) 3人 (100.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 1人 (100.0%)	0人 (0.0%) 1人 (100.0%)	0人 (0.0%) 1人 (100.0%)	1人 (33.3%) 2人 (66.7%)	0人 (0.0%) 1人 (100.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
ない	(0.0%) 0人 (0.0%) 0人	(0.0%) 1人 (100.0%) 0人	(0.0%) 3人 (100.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 1人 (100.0%) 0人	0人 (0.0%) 1人 (100.0%) 0人	0人 (0.0%) 1人 (100.0%) 0人	1人 (33.3%) 2人 (66.7%) 0人	0人 (0.0%) 1人 (100.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人

質問5-2で「ある」と回答した方に聞きます。不当な要求に応じた理由は。 (選択) 質問5-3

■不当な要求に応じた理由は、「要求に応じることが正しくないと認識しながらも、 相手の意向を無視すると今後の業務に影響が出る。」という回答である。

		_	5 FBF	t		_	/- μ Δ				※ () 水	りは割合	1
		P	内、任用形息	Ĕ		内、	年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
要求に応じることが正しいと判	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
断した	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
要求に応じることが正しいとは 思わなかったが、相手の意向 を無視すると今後の業務が円	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	
滑に進まなくなる恐れがあっ たから	(100.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	
要求に応じることが正しいとは思わなかったが、相手に自分	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
や家族が世話になっているから	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
要求に応じることが正しいとは 思わなかったが、相手の意向	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
を無視すると自分に不利益が 生ずる恐れがあったから	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	
	(100%)	(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民 部	健康福祉 部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
要求に応じることが正しいと判 断した	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
要求に応じることが正しいとは 思わなかったが、相手の意向 を無視すると今後の業務が円	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	人0	0人	0人	0人	人0
滑に進まなくなる恐れがあっ たから	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
要求に応じることが正しいとは 思わなかったが、相手に自分	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	人0	0人	0人	0人	人0
や家族が世話になっているから	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
要求に応じることが正しいとは思わなかったが、相手の意向	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	人0
を無視すると自分に不利益が 生ずる恐れがあったから	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
승計	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)	(0%)

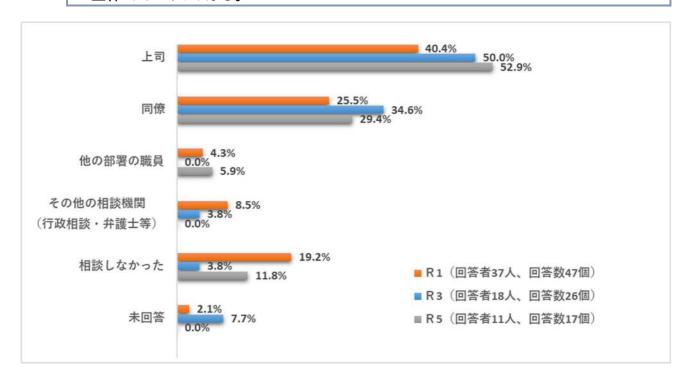
質問 5-4 質問 5 で「ある」と回答した方に聞きます。不当な要求に関して誰かに相談しましたか。(複数回答可)

「不当な要求」についての有無について「ある」と回答した職員について「誰かに 相談したか」聞いたところ

■全体では、「上司」と回答した割合が 52.9%となっており(複数回答有)、前回より 2.9 ポイント増加している。

「相談しなかった」と回答した職員については

■全体では2人である。



※()内は割合

											* () P		
		P	内、任用形態	E.			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以 上	未回答	管理職	それ以外	未回答	
上司	9人 (52.9%)	9人 (52.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)	3人 (60.0%)	3人 (50.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	9人 (52.9%)	0人 (0.0%)	
同僚	5人 (29.4%)	5人 (29.4%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (33.3%)	1人 (33.3%)	2人 (40.0%)	1人 (16.7%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	5人 (29.4%)	0人 (0.0%)	
他の部署の職員	1人 (5.9%)	1人 (5.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (33.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (5.9%)	0人 (0.0%)	
その他の相談機関 (行政相談・弁護士等)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0.0%)	0人 (0.0%)	
相談しなかった	2人 (11.8%)	2人 (11.8%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (33.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (11.8%)	0人 (0.0%)	
未回答	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0.0%)	0人 (0.0%)	
合計	17人 (100%)	17人 (100%)	0人(0%)	0人 (0%)	3人 (100%)	3人 (100%)	5人 (100%)	6人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	17人 (100%)	0人 (0%)	
	(100%)	(100%)	(0/0)	(070)	(100/0/)	(100/0/)	(100/0/	[(100/6/]	(0/0)	(0/0)	[(100/6/]	(0/0)	
							+ ===						
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	内、所属 経済産業 部	建設部	環境水道部	教育部	消防本部	病院	未回答
選択肢	危機管理課 0人 (0.0%)	総務部 1人 (100.0%)	企画部 2人 (50.0%)				経済産業	建設部 2人 (50.0%)		教育部 0人 (0.0%)	消防本部 0人 (0.0%)	病院 0人 (0.0%)	未回答 0人 (0.0%)
	0人	1人	2人	部 0人	部 1人	こども部 1人	経済産業部 1人	2人	部 1人	0人	0人	0人	0人
上司	0人 (0.0%) 0人	1人 (100.0%) 0人	2人 (50.0%) 1人	部 0人 (0.0%) 0人	部 1人 (50.0%) 1人	こども部 1人 (33.3%) 1人	経済産業 部 1人 (50.0%) 1人	2人 (50.0%) 1人	部 1人 (100.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人
上司	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	1人 (100.0%) 0人 (0.0%) 0人	2人 (50.0%) 1人 (25.0%) 0人	部 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	部 1人 (50.0%) 1人 (50.0%) 0人	こども部 1人 (33.3%) 1人 (33.3%) 1人	経済産業 部 1人 (50.0%) 1人 (50.0%) 0人	2人 (50.0%) 1人 (25.0%) 0人	部 1人 (100.0%) 0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
上司同僚他の部署の職員その他の相談機関	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	1人 (100.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	2人 (50.0%) 1人 (25.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 1人 (25.0%)	部 (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%)	部 1人 (50.0%) 1人 (50.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	こども部 1人 (33.3%) 1人 (33.3%) 1人 (33.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	経済産業 部 1人 (50.0%) 1人 (50.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	2人 (50.0%) 1人 (25.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 1人 (25.0%)	部 1人 (100.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
上司 同僚 他の部署の職員 その他の相談機関 (行政相談・弁護士等)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	1人 (100.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	2人 (50.0%) 1人 (25.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	部 (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) 0人	部 1人 (50.0%) 1人 (50.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	こども部 1人 (33.3%) 1人 (33.3%) 1人 (33.3%) 0人 (0.0%) 0人	経済産業 部 1人 (50.0%) 1人 (50.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	2人 (50.0%) 1人 (25.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	部 1人 (100.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司 同僚 他の部署の職員 その他の相談機関 (行政相談・弁護士等) 相談しなかった	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	1人 (100.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	2人 (50.0%) 1人 (25.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 1人 (25.0%)	部 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	部 1人 (50.0%) 1人 (50.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	こども部 1人 (33.3%) 1人 (33.3%) 1人 (33.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	経済産業 部 1人 (50.0%) 1人 (50.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	2人 (50.0%) 1人 (25.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 1人 (25.0%) 0人	部 1人 (100.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)

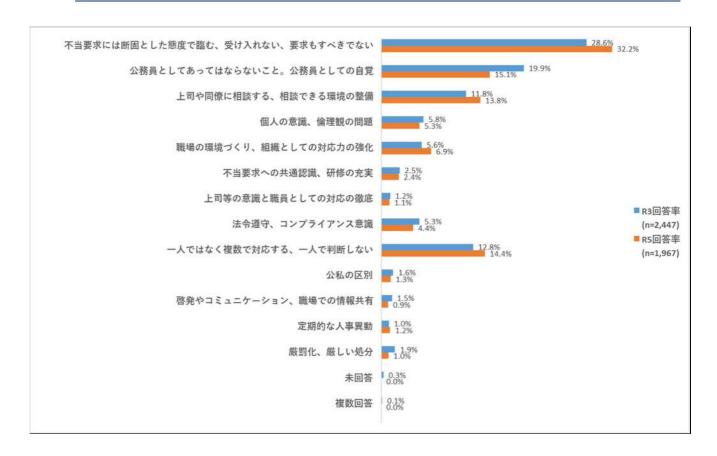
質問5-5 質問5-4で「相談はしなかった」と回答した方に聞きます。相談しなかった理由は。(記述式)

「上司からの依頼であったため」であった。※もう1件は回答なし

質問6 不正行為につながるような不当な要求について、あなたの意見や考えに近いものを1つ選択してください。(選択)【全員必須】

不正行為につながるような不当な要求について

- ■「不当要求には断固とした態度で臨む、受け入れない、要求もすべきでない」と 回答した職員が最も多く、次いで「公務員としてあってはならないこと。公務員 としての自覚」という結果であり、両方を合わせた回答割合は、47.3%となって いる。
- ■上位2つの回答割合について、任用形態では、「会計年度任用職員」が「正規職員」を 3.0 ポイント上回り、年齢では、「50 歳代以上」が 50.3%、「40 歳代」が 50.0%と 10~30 歳代よりも高くなっている。所属では、「危機管理課」「環境水道部」「こども部」の順で高くなっている。



選択肢		P	人、任用形態	NO.			内、年齢				内、管理職		
	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以 上	未回答	管理職	それ以外	未回答	
不当要求には断固とした態度 で臨む、受け入れない、要求 もすべきでない	636人 (32.2%)	320人 (29.4%)	316人 (36.0%)	0人 (0.0%)	53人 (22.3%)	63人 (26.9%)	155人 (33.8%)	365人 (35.2%)	0人 (0.0%)	59人 (32.4%)	577人 (32.3%)	0人 (0.0%)	
公務員としてあってはならない こと。公務員としての自覚	297人 (15.1%)	182人 (16.7%)	115人 (13.1%)	0人 (0.0%)	42人 (17.6%)	26人 (11.1%)	72人 (15.7%)	157人 (15.1%)	0人 (0.0%)	32人 (17.6%)	265人 (14.8%)	0人 (0.0%)	
上司や同僚に相談する、相談 できる環境の整備	272人 (13.8%)	151人 (13.9%)	121人 (13.8%)	0人 (0.0%)	40人 (16.8%)	46人 (19.7%)	63人 (13.8%)	123人 (11.9%)	0人 (0.0%)	16人 (8.8%)	256人 (14.3%)	0人(0.0%)	
個人の意識、倫理観の問題	104人 (5.3%)	67人 (6.2%)	37人 (4.2%)	0人 (0.0%)	9人 (3.8%)	15人 (6.4%)	29人 (6.3%)	51人 (4.9%)	0人 (0.0%)	12人 (6.6%)	92人 (5.2%)	0人 (0.0%)	
職場の環境づくり、組織として の対応力の強化	135人 (6.9%)	80人 (7.3%)	55人 (6.3%)	0人 (0.0%)	17人 (7.1%)	16人 (6.8%)	25人 (5.5%)	77人 (7.4%)	0人 (0.0%)	21人 (11.5%)	114人 (6.4%)	0人 (0.0%)	
不当要求への共通認識、研 修の充実	47人 (2.4%)	30人 (2.8%)	17人 (1.9%)	0人 (0.0%)	10人 (4.2%)	9人 (3.8%)	8人 (1.7%)	20人 (1.9%)	0人 (0.0%)	3人 (1.6%)	44人 (2.5%)	0人 (0.0%)	
上司等の意識と職員としての 対応の徹底	21人 (1.1%)	7人 (0.6%)	14人 (1.6%)	0人 (0.0%)	2人 (0.8%)	4人 (1.7%)	4人 (0.9%)	11人 (1.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	21人 (1.2%)	0人 (0.0%)	
法令遵守、コンプライアンス意 識	86人 (4.4%)	42人 (3.9%)	44人 (5.0%)	0人(0.0%)	4人 (1.7%)	2人 (0.9%)	17人 (3.7%)	63人 (6.1%)	0人(0.0%)	10人 (5.5%)	76人 (4.3%)	0人(0.0%)	
一人ではなく複数で対応 する、一人で判断しない	283人 (14.4%)	164人 (15.1%)	119人 (13.6%)	0人(0.0%)	47人 (19.7%)	42人 (17.9%)	65人 (14.2%)	129人 (12.4%)	0人(0.0%)	24人 (13.2%)	259人 (14.5%)	0人(0.0%)	
公私の区別	26人 (1.3%)	15人 (1.4%)	11人 (1.3%)	0人 (0.0%)	4人 (1.7%)	4人 (1.7%)	6人 (1.3%)	12人 (1.2%)	0人 (0.0%)	1人 (0.5%)	25人 (1.4%)	0人 (0.0%)	
啓発やコミュニケーション、職 場での情報共有	18人 (0.9%)	6人(0.6%)	12人	0.0%)	2人(0.8%)	(0.4%)	5人(1.1%)	10人	0.0%)	1人(0.5%)	17人	0.0%)	
定期的な人事異動	23人 (1.2%)	14人 (1.3%)	9人 (1.0%)	0人(0.0%)	0.0%)	4人(1.7%)	(0.9%)	15人 (1.4%)	0人 (0.0%)	3人 (1.6%)	20人	0人 (0.0%)	
厳罰化、厳しい処分	19人 (1.0%)	11人 (1.0%)	8人 (0.9%)	0人 (0.0%)	8人 (3.4%)	2人 (0.9%)	5人 (1.1%)	4人 (0.4%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	19人 (1.1%)	0人 (0.0%)	
複数回答	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0.0%)	0人 (0.0%)	
未回答	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	
合計	1,967人 (100%)	1,089人 (100%)	878人 (100%)	0人 (0%)	238人 (100%)	(100%)	458人 (100%)	1,037人 (100%)	0人(0%)	182人 (100%)	1,785人	0人 (0%)	
	(100/0/	(100/0/	(100/0/	(0707	(100/0/	, ,,,,	内、所属	(100/0/	(0707	(100/0/	(100/0/	(070)	
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
不当要求には断固とした態度 で臨む、受け入れない、要求 もすべきでない	3人 (33.3%)	55人 (35.3%)	37人 (29.4%)	45人 (36.0%)	29人 (23.8%)	166人 (36.9%)	16人 (28.1%)	34人 (38.2%)	30人	160人	44人	17人	0人(0.0%)
公務員としてあってはならない こと。公務員としての自覚	4人 (44.4%)	17人				(00.070)	(20.170)	(00.2/0/	(35.7%)	(31.7%)	(22.7%)	(34.0%)	(/0/
上司や同僚に相談する、相談	(1 1 1 7 0 7		12人 (9.5%)	18人 (14 4%)	16人 (13.1%)	70人	5人	10人	16人	81人	40人	8人	0人
できる環境の整備	2人 (22.2%)	(10.9%) 18人 (11.5%)	12人 (9.5%) 21人 (16.7%)	18人 (14.4%) 12人 (9.6%)	16人 (13.1%) 34人 (27.9%)								
できる環境の整備個人の意識、倫理観の問題	(22.2%)	(10.9%) 18人 (11.5%) 8人	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人	(14.4%) 12人 (9.6%) 4人	(13.1%) 34人 (27.9%) 5人	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 17人	5人 (8.8%) 3人 (5.3%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人	8人 (16.0%) 4人 (8.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化	(22.2%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	(10.9%) 18人 (11.5%) 8人 (5.1%) 15人 (9.6%)	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人 (6.3%) 12人 (9.5%)	(14.4%) 12人 (9.6%) 4人 (3.2%) 12人 (9.6%)	(13.1%) 34人 (27.9%) 5人 (4.1%) 9人 (7.4%)	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人 (4.9%)	5人 (8.8%) 3人 (5.3%) 1人 (1.8%) 4人 (7.0%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (3.4%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 5人 (6.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%)	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人 (12.4%) 11人 (5.7%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実	(22.2%) 0人 (0.0%) 0人	(10.9%) 18人 (11.5%) 8人 (5.1%) 15人	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人 (6.3%) 12人	(14.4%) 12人 (9.6%) 4人 (3.2%) 12人	(13.1%) 34人 (27.9%) 5人 (4.1%) 9人	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人	5人 (8.8%) 3人 (5.3%) 1人 (1.8%) 4人	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人 (12.4%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての 対応の徹底	(22.2%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	(10.9%) 18人 (11.5%) 8人 (5.1%) 15人 (9.6%) 5人 (3.2%) 1人 (0.6%)	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人 (6.3%) 12人 (9.5%) 4人 (3.2%) 5人 (4.0%)	(14.4%) 12A (9.6%) 4A (3.2%) 12A (9.6%) 3A (2.4%) 3A (2.4%)	(13.1%) 34人 (27.9%) 5人 (4.1%) 9人 (7.4%) 5人 (4.1%) 0人 (0.0%)	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人 (4.9%) 8人 (1.8%) 2人 (0.4%)	5人 (8.8%) 3人 (5.3%) 1人 (1.8%) 2人 (3.5%) 1人 (1.8%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (3.4%) 4人 (4.5%) 1人 (1.1%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%) 7人 (1.4%) 8人 (1.6%)	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人 (12.4%) 11人 (5.7%) 6人 (3.1%) 0人 (0.0%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての	(22.2%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	(10.9%) 18人 (11.5%) 8人 (5.1%) 15人 (9.6%) 5人 (3.2%)	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人 (6.3%) 12人 (9.5%) 4人 (3.2%) 5人 (4.0%) 3人	(14.4%) 12人 (9.6%) 4人 (3.2%) 12人 (9.6%) 3人 (2.4%) 3人	(13.1%) 34人 (27.9%) 5人 (4.1%) 9人 (7.4%) 5人 (4.1%) 0人	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人 (4.9%) 8人 (1.8%)	5人 (8.8%) 3人 (5.3%) 1人 (1.8%) 4人 (7.0%) 2人 (3.5%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (3.4%) 4人 (4.5%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%) 7人 (1.4%) 8人 (1.6%) 31人 (6.1%)	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人 (12.4%) 11人 (5.7%) 6人 (3.1%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (0.0%) 6人 (12.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての 対応の徹底 法令遵守、コンプライアンス意	(22.2%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	(10.9%) 18人 (11.5%) 8人 (5.1%) 15人 (9.6%) 5人 (3.2%) 1人 (0.6%) 4人	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人 (6.3%) 12人 (9.5%) 4人 (3.2%) 5人 (4.0%)	(14.4%) 12人 (9.6%) 4人 (3.2%) 12人 (9.6%) 3人 (2.4%) 3人 (2.4%)	(13.1%) 34人 (27.9%) 5人 (4.1%) 9人 (7.4%) 5人 (4.1%) 0人 (0.0%) 3人	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人 (4.9%) 8人 (1.8%) 2人 (0.4%)	5人 (8.8%) 3人 (5.3%) 1人 (1.8%) 4人 (7.0%) 2人 (3.5%) 1人 (1.8%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (3.4%) 4人 (4.5%) 1人 (1.1%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%) 7人 (1.4%) 8人 (1.6%) 31人 (6.1%) 62人 (12.3%)	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人 (12.4%) 11人 (5.7%) 6人 (3.1%) 0人 (0.0%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての 対応の徹底 法令遵守、コンプライアンス意 識 一人ではなく複数で対応 する、一人で判断しない	(22.2%) 0人 (0.0%)	(10.9%) 18 A (11.5%) 8 A (5.1%) 15 A (9.6%) 1 A (0.6%) 4 A (2.6%) 25 A (16.0%) 3 A (1.9%)	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人 (6.3%) 12人 (9.5%) 4人 (3.2%) 5人 (4.0%) 3人 (2.4%) 17人 (13.5%) 1人 (0.8%)	(14.4%) 12.A (9.6%) 4.A (3.2%) 12.A (9.6%) 3.A (2.4%) 2.A (1.6%) 21.A (16.8%) 3.A (2.4%)	(13.1%) 34 人 (27.9%) 5 人 (4.1%) 9 人 (7.4%) 5 人 (4.1%) 0 人 (0.0%) 3 人 (2.5%) 16 人 (13.1%) 3 人 (2.5%)	70人 (15.6%) 68从 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人 (4.9%) 8人 (1.8%) 2人 (0.4%) 17人 (3.8%) 63人 (14.0%)	5人 (8.8%) 3人 (5.3%) 1人 (1.8%) 4人 (7.0%) 2人 (3.5%) 1人 (1.8%) 5人 (8.8%) 19人 (33.3%) 0人 (0.0%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (3.4%) (4.5%) 1人 (1.1%) 4人 (4.5%) 15人 (16.9%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 5人 (0.0%) 0人 (0.0%) 4人 (4.8%) 10人 (11.9%) 0人 (0.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%) (1.4%) 8人 (1.6%) 31人 (6.1%) 62人 (12.3%) 8人 (1.6%)	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人 (12.4%) 11人 (5.7%) 6人 (3.1%) 0人 (0.0%) 7人 (3.6%) 30人 (15.5%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (0.0%) 6人 (12.0%) 5人 (10.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての 対応の徹底 法令遵守、コンプライアンス意 識 一人ではなく複数で対応 する、一人で判断しない	(22.2%) 0人 (0.0%)	(10.9%) 18 \(\) (11.5%) 8 \(\) (5.1%) 15 \(\) (9.6%) 5 \(\) (0.6%) 4 \(\) (2.6%) 25 \(\) (1.9%) 2 \(\) (1.3%)	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人 (6.3%) 12人 (9.5%) 4人 (3.2%) 5人 (4.0%) 3人 (2.4%) 17人 (13.5%) 1人 (0.8%)	(14.4%) 12.\(\) (9.6%) 4\(\) (3.2%) 12.\(\) (9.6%) 3.\(\) (2.4%) 3.\(\) (2.4%) 2\(\) (1.6%) 21.\(\) (16.8%) 3.\(\) (2.4%) 0.\(\) (0.0%)	(13.1%) 34人 (27.9%) 5人 (4.1%) 9人 (7.4%) 5人 (4.1%) 0人 (0.0%) 3人 (2.5%) 16人 (13.1%) 3人 (2.5%) 2人 (1.6%)	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 22人 (4.9%) 8人 (1.8%) 2人 (0.4%) 17人 (3.8%) 63人 (14.0%) 4人 (0.9%) 5人 (1.1%)	5.A. (8.8%) 3.A. (5.3%) 1.A. (1.8%) 4.A. (7.0%) 2.A. (3.5%) 1.A. (1.8%) 5.A. (8.8%) 19.A. (33.3%) 0.A. (0.0%) 0.A. (0.0%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (4.5%) 1人 (1.1%) 4人 (4.5%) 15人 (16.9%) 1人 (1.1%) 2人 (2.2%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 4人 (11.9%) 0人 (11.9%) 0人 (0.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%) 7人 (1.4%) 8人 (1.6%) 62人 (12.3%) 8人 (1.6%) 6.1%)	40 \(\) (20.6%) 20 \(\) (10.3%) 24 \(\) (12.4%) 11 \(\) (5.7%) 6 \(\) (3.1%) 0 \(\) (0.0%) 7 \(\) (3.6%) 30 \(\) (15.5%) 3 \(\) (1.5%) 0 \(\) (0.0%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (12.0%) 5人 (10.0%) 0人 (10.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての 対応の徹底 法令遵守、コンプライアンス意 識 一人ではなく複数で対応 する、一人で判断しない 公私の区別 啓発やコミュニケーション、職	(22.2%) 0人 (0.0%)	(10.9%) 18 A (11.5%) 8 A (5.1%) 15 A (9.6%) 5 A (0.6%) 4 A (2.6%) 25 A (1.9%) 2 A (1.9%) 1 A (0.6%)	(9.5%) 21 \(\) (16.7%) 8 \(\) (5.3%) 12 \(\) 4 \(\) (9.5%) 5 \(\) (4.0%) 3 \(\) (2.4%) 17 \(\) (0.8%) 1 \(\) (0.8%) 3 \(\) (2.4%)	(14.4%) 12.\(\text{(9.6%)}\) 4.\(\text{(3.2%)}\) 12.\(\text{(9.6%)}\) 3.\(\text{(2.4%)}\) 2.\(\text{(1.6%)}\) 21.\(\text{(1.6%)}\) 0.\(\text{(0.8%)}\) 0.\(\text{(0.8%)}\)	(13.1%) 34 人 (27.9%) 5 人 (4.1%) 9 人 (7.4%) 5 人 (4.1%) 0 人 (0.0%) 3 人 (2.5%) 16 人 (13.1%) 2 人 (1.6%) 0 人	70人 (15.6%) 68从 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人 (4.9%) 8人 (1.8%) 2人 (0.4%) 17人 (3.8%) 63人 (14.0%) 4人 (0.9%) 5人 (1.1%)	5人 (8.8%) 3人 (5.3%) 1人 (1.8%) 4人 (7.0%) 2人 (3.5%) 1人 (1.8%) 5人 (8.8%) 19人 (3.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (3.4%) (4.5%) 1人 (1.1%) 4人 (4.5%) 15人 (16.9%) 1人 (1.1%) 2人 (2.2%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 5人 (0.0%) 0人 (0.0%) 4人 (4.8%) 10人 (11.9%) 0人 (0.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%) 8人 (1.4%) 8人 (6.1%) 62人 (12.3%) 8人 (1.6%) 6人 (1.2%)	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人 (12.4%) 11人 (5.7%) 6人 (3.1%) 0人 (0.0%) 7人 (3.6%) 30人 (15.5%) 3人人 (1.5%) 0人 (1.5%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (0.0%) 6人 (12.0%) 5人 (10.0%) 0人 (0.0%) 1人 (0.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての 対応の徹底 法令遵守、コンプライアンス意 識 一人ではなく複数で対応 する、一人で判断しない 公私の区別 啓発やコミュニケーション、職 場での情報共有	(22.2%)	(10.9%) 18 \(\) (11.5%) 8 \(\) (5.1%) 15 \(\) (9.6%) 1 \(\) (0.6%) 4 \(\) (2.6%) 25 \(\) (16.0%) 3 \(\) (1.3%) 1 \(\) (0.6%) 2 \(\) (1.3%) (0.6%) 2 \(\) (1.3%)	(9.5%) 21 \(\) (16.7%) 8 \(\) (6.3%) 12 \(\) (9.5%) 4 \(\) (3.2%) 5 \(\) (4.0%) 3 \(\) (2.4%) 1 \(\) (0.8%) 3 \(\) (0.8%) 3 \(\) (2.4%) 2 \(\) (2.0%)	(14.4%) 12.\(\) (9.6%) 4\(\) (3.2%) 12.\(\) (9.6%) 3.\(\) (2.4%) 3.\(\) (2.4%) 2.\(\) (1.6%) 21.\(\) (16.8%) 3.\(\) (0.0%) 1.\(\) (0.8%) 1.\(\) (0.8%)	(13.1%) 34人 (27.9%) 5人 (4.1%) 9人 (7.4%) 5人 (4.1%) 0人 (0.0%) 3人 (2.5%) 16人 (13.1%) 3人 (2.5%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 22人 (4.9%) 8人 (1.8%) 2人 (0.4%) 17人 (3.8%) 63人 (14.0%) 4人 (0.9%) 4人 (0.9%)	5 \(\) (8.8%) 3 \(\) (5.3%) 1 \(\) (1.8%) 4 \(\) (7.0%) 2 \(\) (3.5%) 1 \(\) (1.8%) 5 \(\) (8.8%) 19 \(\) (33.3%) 0 \(\) (0.0%) 1 \(\) (1.8%) 0 \(\) (0.0%) 1 \(\) (0.0%) 1 \(\) (0.0%) 1 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (4.5%) 1人 (1.1%) 4人 (4.5%) 15人 (16.9%) 1人 (1.1%) 2人 (2.2%) 0人 (0.0%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 4人 (11.9%) 0人 (0.0%) 10人 (11.9%) 0人 (0.0%) 1人 (0.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%) 7人 (1.4%) 8人 (1.6%) 62人 (12.3%) 8人 (1.2%) 6人 (1.2%) 6人 (1.2%)	40 \(\) (20.6%) 20 \(\) (10.3%) 24 \(\) (12.4%) 11 \(\) (5.7%) 6 \(\) (3.1%) 0 \(\) (0.0%) 7 \(\) (3.6%) 30 \(\) (15.5%) 3 \(\) (1.5%) 0 \(\) (0.0%) 3 \(\) (1.5%) 6 \(\) (2.4%) (1.5%) 6 \(\) (2.4%) (1.5%) 6 \(\) (3.1%)	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (0.0%) 5人 (10.0%) 0人 (0.0%) 1人 (2.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての 対応の徹底 法令遵守、コンプライアンス意 識 一人ではなく複数で対応 する、一人で判断しない 公私の区別 啓発やコミュニケーション、職 場での情報共有 定期的な人事異動	(22.2%) (0.0%)	(10.9%) 18 A (11.5%) 8 A (5.1%) 15 A (9.6%) 1 A (0.6%) 4 A (2.6%) 25 A (1.9%) 2 A (1.3%) 1 A (0.6%) 2 A (1.3%) 0 A (0.0%)	(9.5%) 21 \(\) (16.7%) 8 \(\) (6.3%) 12 \(\) 4 \(\) (9.5%) 5 \(\) (4.0%) 3 \(\) (2.4%) 17 \(\) (0.8%) 1 \(\) (0.8%) 2 \(\) (2.4%) 2 \(\) (2.0%) 0 \(\) (0.0%)	(14.4%) 12.\(\text{(9.6%)}\) 4.\(\text{(3.2%)}\) 12.\(\text{(9.6%)}\) 3.\(\text{(2.4%)}\) 2.\(\text{(1.6%)}\) 21.\(\text{(16.8%)}\) 0.\(\text{(0.0%)}\) 1.\(\text{(0.8%)}\) 0.\(\text{(0.0%)}\)	(13.1%) 34 人 (27.9%) 5 人 (4.1%) 9 人 (7.4%) 0 人 (0.0%) 3 人 (2.5%) 16 人 (13.1%) 2 人 (1.6%) 0 人 (0.0%) 0 人 (0.0%)	70人 (15.6%) 68从 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人 (0.4%) 17人 (3.8%) 63人 (14.0%) 4人 (0.9%) 5人 (1.1%) 4人 (0.9%) 4人 (0.9%)	5.A. (8.8%) 3.A. (5.3%) 1.A. (1.8%) 4.A. (3.5%) 1.A. (1.8%) 5.A. (8.8%) 19.A. (3.3%) 0.A. (0.0%) 0.A. (0.0%) 0.A. (0.0%) 0.A. (0.0%) 0.A. (0.0%) 0.A. (0.0%)	10人 (11.2%) 7人 (6.7%) 3人 (3.4%) (4.5%) 1人 (1.1%) 4人 (4.5%) 15人 (1.1%) 2人 (2.2%) 0人 (0.0%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 5人 (0.0%) 0人 (0.0%) 10人 (1.9%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (1.4%) 8人 (1.6%) 31人 (6.1%) 62人 (12%) 6人 (1.2%) 6人 (1.2%) 6人 (1.2%) 6人 (0.0%)	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 11人 (5.7%) 6人 (3.1%) 0人 (0.0%) 7人 (3.6%) 30人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0人 (1.5%) 0.0%) 1.5% (1.5%) 0.0%	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (0.0%) 5人 (10.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0 \ \ (0.0%) 0 \ \ (0.0%)
個人の意識、倫理観の問題 職場の環境づくり、組織として の対応力の強化 不当要求への共通認識、研 修の充実 上司等の意識と職員としての 対応の徹底 法令遵守、コンプライアンス意 識 一人ではなく複数で対応 する、一人で判断しない 公私の区別 啓発やコミュニケーション、職 場での情報共有 定期的な人事異動 厳罰化、厳しい処分	(22.2%)	(10.9%) 18 A (11.5%) 8 A (5.1%) 15 A (9.6%) 5 A (0.6%) 4 A (2.6%) 25 A (1.9%) 2 A (1.3%) (0.6%) 2 A (1.3%) 0.6%) 2 A	(9.5%) 21人 (16.7%) 8人 (6.3%) 12人 (9.5%) 4人 (3.2%) 5人 (4.0%) 17人 (13.5%) 1人 (0.8%) 1人 (0.8%) 2人 (2.4%) 0.0人	(14.4%) 12.\(\(\text{\\cinct{\(\text{\(\text{\\cinck{\(\text{\\cinct{\(\text{\\cinck{\(\text{\\cinck{\(\text{\\cinck{\\cinck{\(\text{\\cinck{\(\text{\\cinck{\\c	(13.1%) 34 \((27.9%) 5 \(\) (4.1%) 5 \(\) (4.1%) 5 \(\) (4.1%) 5 \(\) (0.0%) 3 \(\) (2.5%) 16 \(\) (13.1%) 2 \(\) (1.6%) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)	70人 (15.6%) 68人 (15.1%) 17人 (3.8%) 22人 (4.9%) 8人 (1.8%) 2人 (0.4%) 17人 (3.8%) 63人 (14.0%) 5人 (1.1%) 5人 (0.9%) 4人 (0.9%) 4人	5 A (8.8%) 3 A (5.3%) 1 A (1.8%) 4 A (7.0%) 2 A (3.5%) 1 A (1.8%) 5 A (8.8%) 19 A (33.3%) 0 A (0.0%) 1 A (1.8%) 0 A (0.0%)	10人 (11.2%) 7人 (7.9%) 6人 (6.7%) 3人 (4.5%) 1人 (1.1%) 4人 (4.5%) 15人 (16.9%) 1人 (1.1%) 2人 (2.2%) 0人 (0.0%)	16人 (19.0%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 0人 (11.9%) 0人 (11.9%) 0人 (0.0%) 1人 (1.2%) 0人	81人 (16.0%) 70人 (13.9%) 23人 (4.6%) 39人 (7.7%) 7人 (1.4%) 8人 (1.6%) 62人 (12.3%) 6人 (1.2%) 6人 (1.2%) 6人	40人 (20.6%) 20人 (10.3%) 24人 (12.4%) 11人 (5.7%) 6人 (3.1%) 0人 (0.0%) 30人 (15.5%) 0人 (1.5%) 0人 (0.0%) 3人 (1.5%) 0人	8人 (16.0%) 4人 (8.0%) 3人 (6.0%) 3人 (6.0%) 0人 (0.0%) 6人 (12.0%) 0人 (0.0%) 1,00%) 0人 (0.0%) 0,00%) 0,00%	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)

3 利害関係者との「つきあい」についてお伺いします。

質問7 前回のアンケート(R3.9)以降についてお答えください。あなたは、利害関係者と1から10に該当するような関係になったこと、あるいは、そのような関係を持ちかけられたことはありますか。(選択)【全員必須】

「つきあいの内容」

- 1. 中元歳暮などの贈答品の提供
- 2. 飲食の誘い
- 3. 旅行の誘い
- 4. ゴルフへの誘い
- 5. 現金や金券、有価証券の提供
- 6. 音楽鑑賞やスポーツ観戦などのチケットの入手
- 7. 就職等のあっせん
- 8. 土地や建物など不動産の提供
- 9. 債務弁済
- 10. その他

利害関係者と「関係になった」「関係を持ちかけられた」ことの有無について、

■全体では、12人の職員が「ある」と回答している。

「ある」と回答した職員については、

- ■任用形態では「正規」が11人、職階では全て「管理職以外」となっている。
- ■所属では「消防本部」が4人、「企画部」「経済産業部」「建設部」がそれぞれ2 人となっている。

※ () 内は割合

												引は割合	
		P	内、任用形息	Ę.		-	内、年齢	1			内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	未回答	管理職	それ以外	未回答	
ある	12人	11人	1人	0人	5人	2人	2人	3人	0人	0人	12人	0人	
නම	(0.6%)	(1.0%)	(0.1%)	(0.0%)	(2.1%)	(0.9%)	(0.4%)	(0.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.7%)	(0.0%)	
ない	1,955人	1,078人	877人	0人	233人	232人	456人	1,034人	0人	182人	1,773人	0人	
40.	(99.4%)	(99.0%)	(99.9%)	(0.0%)	(97.9%)	(99.1%)	(99.6%)	(99.7%)	(0.0%)	(100.0%)	(99.3%)	(0.0%)	
選択肢以外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
进机权均介	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
木凹台	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
0.81	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
ある	0人	0人	2人	1人	0人	0人	2人	2人	0人	1人	4人	0人	0人
975	(0.0%)	(0.0%)	(1.6%)	(0.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(3.5%)	(2.2%)	(0.0%)	(0.2%)	(2.1%)	(0.0%)	(0.0%)
ない	9人	156人	124人	124人	122人	450人	55人	87人	84人	504人	190人	50人	0人
,9.0 ·	(100.0%)	(100.0%)	(98.4%)	(99.2%)	(100.0%)	(100.0%)	(96.5%)	(97.8%)	(100.0%)	(99.8%)	(97.9%)	(100.0%)	(0.0%)
選択肢以外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
進仇权以外	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
未回答	0人	0人	0人	0人	人0	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
小四 百	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
合計	9人	156人	126人	125人	122人	450人	57人	89人	84人	505人	194人	50人	0人
m 81	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)

質問7-1 質問7で「ある」と回答した方に聞きます。利害関係者である「相手方の立場」と「つきあい」の具体的な内容についてお答えください。(複数回答可)

利害関係者と「関係になった」、「関係を持ちかけられた」ことがある 12 件(複数 回答有) のうち、

- ■利害関係者である相手の立場では「業者及び業界団体」が8件、「職員」が4件 などとなっている。
- ■つきあいの内容では「飲食」が14件、「贈答品」が6件となっている。

つきあいの内容相手の立場	年度	贈答品	飲食	旅行	ゴルフ	現金· 金券	チケット
	R5	1件	7件	0件	0件	0件	0件
業者及び業界団体	R3	3件	1件	0件	0件	0件	0件
	R1	10件	9件	0件	0件	0件	2件
	R5	1件	0件	0件	0件	0件	0件
国会·県議会議員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R5	1件	1件	0件	0件	0件	0件
市議会議員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	3件	0件	0件	0件	0件
	R5	1件	1件	0件	0件	0件	0件
市民	R3	1件	2件	0件	0件	0件	0件
	R1	6件	5件	0件	0件	2件	0件
	R5	1件	3件	0件	0件	0件	0件
職員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	1件	2件	1件	0件	0件	0件
	R5	1件	1件	0件	0件	0件	0件
元職員	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	1件	0件	0件	0件	0件
	R5	0件	1件	0件	0件	0件	0件
その他	R3	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	2件	3件	0件	0件	0件	0件
	R5	6件	14件	0件	0件	0件	0件
合計	R3	4件	3件	0件	0件	0件	0件
	R1	19件	23件	1件	0件	2件	2件

続き(その他の項目)は次ページに掲載

つきあいの内容相手の立場	年度	就職	不動産	債務 弁済	その他	合計
	R5	0件	0件	0件	0件	8件
業者及び業界団体	R3	0件	0件	0件	0件	4件
	R1	0件	0件	0件	0件	21件
	R5	0件	0件	0件	0件	1件
国会·県議会議員	R3	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	0件	0件	0件	0件
	R5	0件	0件	0件	0件	2件
市議会議員	R3	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	0件	0件	0件	3件
	R5	0件	0件	0件	0件	2件
市民	R3	0件	0件	0件	0件	3件
	R1	0件	0件	0件	0件	13件
	R5	0件	0件	0件	0件	4件
職員	R3	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	0件	0件	0件	4件
	R5	0件	0件	0件	0件	2件
元職員	R3	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	0件	0件	0件	1件
	R5	0件	0件	0件	0件	1件
その他	R3	0件	0件	0件	0件	0件
	R1	0件	0件	0件	0件	5件
	R5	0件	0件	0件	0件	20件
合計	R3	0件	0件	0件	0件	7件
	R1	0件	0件	0件	0件	47件

質問7-2 質問7で「ある」と回答した方に聞きます。利害関係者との「つきあい」を 理由に、不当な要求に応じたことがありますか。(選択)

利害関係者との「つきあい」を理由に、不当な要求に応じた職員は無かった。

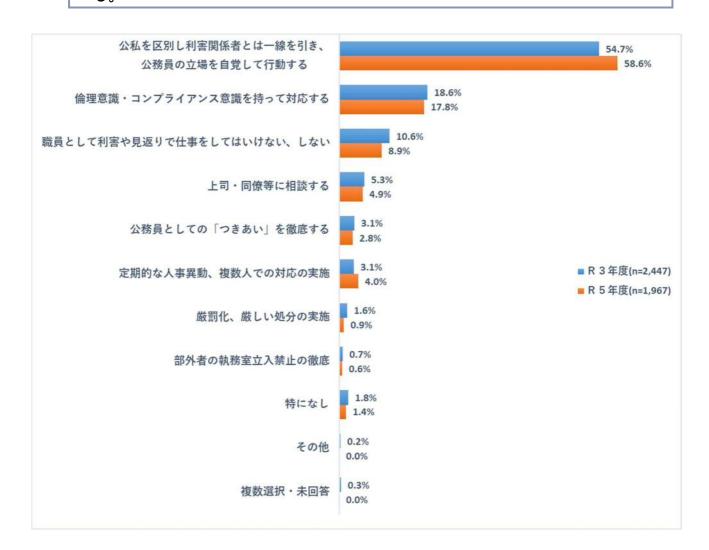
※ () 内は割合

	※ () 内は割合												
		P	内、任用形態	Ė.			内、年齢		,		内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
ある	0人	0人	0人	人0	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	人0	
<i>თ</i> も	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
ない	12人	11人	1人	0人	5人	2人	2人	3人	0人	0人	12人	0人	
<i>4</i> 01	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)	
合計	12人	11人	1人	0人	5人	2人	2人	3人	0人	0人	12人	0人	
百計	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
ある	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
නිම	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
ない	0人	0人	2人	1人	0人	0人	2人	2人	0人	1人	4人	0人	0人
<i>'</i> 40'	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)
A =1	0人	0人	2人	1人	0人	0人	2人	2人	0人	1人	4人	0人	0人
合計	(0%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	(0%)

質問8 利害関係者との「つきあい」について、あなたの意見や考えを教えてください。 (選択)【全員必須】

利害関係者との「つきあい」について、

- ■全体では「公私を区別し利害関係者とは一線を引き、公務員の立場を自覚して行動する」が最も多く、1,153人(58.6%)となっている。
- ■この選択肢について、任用形態では「正規」「会計年度」ともに 58%台となって おり、年齢では「40歳代」で6割を超え、職階では「管理職」が62.1%と高くなっている。所属では、「こども部」「建設部」「環境水道部」の順で高くなっている。



※()内は割合

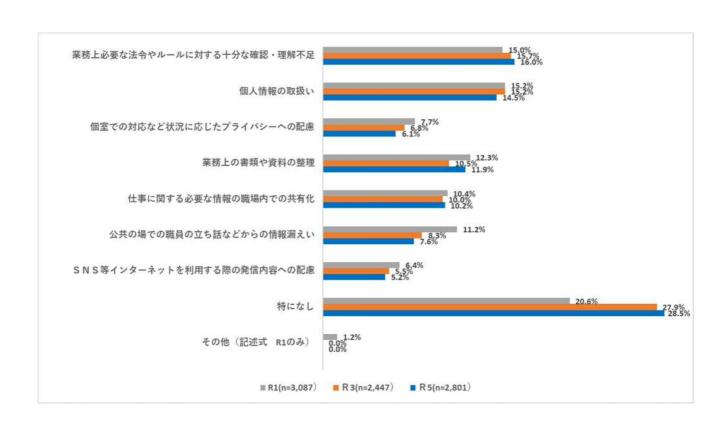
		г	内、任用形態	b .			内、年齢				内、管理職	日は割合	1
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
公私を区別し利害関係者とは	1,153人	639人	514人	0人	131人	131人	277人	614人	0人	113人	1,040人	0人	
一線を引き、公務員の立場を自覚して行動する	(58.6%)	(58.7%)	(58.5%)	(0.0%)	(55.0%)	(56.0%)	(60.5%)	(59.2%)	(0.0%)	(62.1%)	(58.3%)	(0.0%)	
倫理意識・コンプライアンス意	350人	200人	150人	0人	37人	33人	86人	194人	0人	42人	308人	0人	
識を持って対応する	(17.8%)	(18.4%)	(17.1%)	(0.0%)	(15.5%)	(14.1%)	(18.8%)	(18.7%)	(0.0%)	(23.1%)	(17.3%)	(0.0%)	
職員として利害や見返りで仕	176人	87人	89人	0人	14人	20人	38人	104人	0人	11人	165人	0人	
事をしてはいけない、しない	(8.9%)	(8.0%)	(10.1%)	(0.0%)	(5.9%)	(8.5%)	(8.3%)	(10.0%)	(0.0%)	(6.0%)	(9.2%)	(0.0%)	
上司・同僚等に相談する	97人 (4.9%)	43人 (3.9%)	54人 (6.2%)	0人 (0.0%)	20人 (8.4%)	19人 (8.1%)	24人 (5.2%)	34人 (3.3%)	0人 (0.0%)	2人 (1.1%)	95人 (5.3%)	0人 (0.0%)	
公務員としての「つきあい」を	56人	45人	11人	0人	19人	13人	7人	17人	0人	5人	51人	0人	
徹底する	(2.8%)	(4.1%)	(1.3%)	(0.0%)	(8.0%)	(5.6%)	(1.5%)	(1.6%)	(0.0%)	(2.7%)	(2.9%)	(0.0%)	
定期的な人事異動、複数人 での対応の実施	79人	42人	37人	0人	3人	12人	15人	49人	0人	6人	73人	0人	
での対応の美心	(4.0%) 17人	(3.9%)	(4.2%)	(0.0%)	(1.3%) 5人	(5.1%) 2人	(3.3%)	(4.7%)	(0.0%)	(3.3%)	(4.1%) 15人	(0.0%)	
厳罰化、厳しい処分の実施	(0.9%)	(1.0%)	(0.7%)	(0.0%)	(2.1%)	(0.9%)	(0.9%)	(0.6%)	(0.0%)	(1.1%)	(0.8%)	(0.0%)	
部外者の執務室立入禁止の	12人	7人	5人	0.0/0/	1人	1人	4人	6人	0.0%)	0人	12人	0.070	
徹底	(0.6%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.0%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.9%)	(0.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.7%)	(0.0%)	
特になし	27人	15人	12人	0人	8人	3人	3人	13人	0人	1人	26人	0人	
付になし	(1.4%)	(1.4%)	(1.4%)	(0.0%)	(3.4%)	(1.3%)	(0.7%)	(1.3%)	(0.0%)	(0.5%)	(1.5%)	(0.0%)	
その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
- 1,-	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
複数回答	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	(0.0%)	0人 (0.0%)	0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	0.0%)	0人 (0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
7711	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内 正居						
湿力吐				+ \ / + \ D	/**		内、所属		+m + . \\				
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	内、所属 経済産業 部	建設部	環境水道部	教育部	消防本部	病院	未回答
公私を区別し利害関係者とは	5人	92人	75人	部 74人	部 66人	こども部 294人	経済産業 部 33人	56人	部 51人	287人	95人	25人	0人
				部	部	こども部	経済産業部		部				0人(0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意	5人 (55.6%) 4人	92人 (59.0%) 29人	75人 (59.5%) 20人	部 74人 (59.2%) 17人	部 66人 (54.1%) 27人	こども部 294人 (65.3%) 73人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人	56人 (62.9%) 14人	部 51人 (60.7%) 17人	287人 (56.8%) 87人	95人 (49.0%) 37人	25人 (50.0%) 12人	0人 (0.0%) 0人
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持って対応する	5人 (55.6%) 4人 (44.4%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%)	こども部 294人 (65.3%) 73人 (16.2%)	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%)	56人 (62.9%) 14人 (15.7%)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%)	25人 (50.0%) 12人 (24.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意	5人 (55.6%) 4人	92人 (59.0%) 29人	75人 (59.5%) 20人	部 74人 (59.2%) 17人	部 66人 (54.1%) 27人	こども部 294人 (65.3%) 73人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人	56人 (62.9%) 14人	部 51人 (60.7%) 17人	287人 (56.8%) 87人	95人 (49.0%) 37人	25人 (50.0%) 12人	0人 (0.0%) 0人
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 8人	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%)	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕 事をしてはいけない、しない	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 8人 (6.4%) 0人	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (2.9%) 11人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%) 2人 (2.2%)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人 (4.8%) 2人	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%) 9人 (5.8%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%) 2人 (1.6%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 8人 (6.4%) 0人 (0.0%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%)	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%)	経済産業 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) (5.3%)	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%) 2人 (2.2%) 5人 (5.6%)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人 (4.8%) 2人 (2.4%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%)	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%) 9人 (5.8%) 3人 (1.9%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%) 2人 (1.6%) 9人 (7.1%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 8人 (6.4%) 0人 (0.0%) 7人 (5.6%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (2.5%)	こども部 294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 12人 (2.7%)	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%)	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%) 2人 (2.2%) 5人 (5.6%) 3人 (3.4%)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人 (4.8%) 2人 (2.4%) 1人 (1.2%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (5.7%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人 (2.6%)	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 4人 (8.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 9人 (5.8%) 3.3人 (1.9%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%) 2人 (1.6%) 9人	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 8人 (6.4%) 0人 (0.0%) 7人	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 12人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 3人	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%) 2人 (2.2%) 5人 (5.6%) 3人 (3.4%) 0人	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人 (4.8%) 2人 (2.4%) 1人	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) (5.7%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 4人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人 での対応の実施	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%) 9人 (5.8%) 3人 (1.9%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%) 2人 (1.6%) 9人 (7.1%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 8人 (6.4%) 0人 (0.0%) 7人 (5.6%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (2.5%)	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 12人 (2.7%)	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 3人 (5.3%) 0人	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%) 2人 (2.2%) 5人 (5.6%) 3人 (3.4%)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人 (4.8%) 2人 (2.4%) 1人 (1.2%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (5.7%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人 (2.6%)	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 4人 (8.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人 での対応の実施	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 9人 (5.8%) 3.3人 (1.9%) 2人 (1.3%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%) 2人 (1.6%) 9人 (7.1%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 0人 (0.0%) 7人 (5.6%) 1人 (0.8%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人人 (2.5%) 0人	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 12人 (2.7%)	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 3人 (5.3%) 0人 (0.0%)	56 \((62.9%) \) 14 \((15.7%) \) 9 \((10.1%) \) 2 \((2.2%) \) 5 \((5.6%) \) 3 \((3.4%) \) 0 \((0.0%) \)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 2人 (2.4%) 1人 (1.2%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (5.7%) 5人 (1.0%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人 (2.6%)	25 \(\) (50.0%) 12 \(\) (24.0%) 4 \(\) (8.0%) 2 \(\) (4.0%) 1 \(\) (2.0%) 4 \(\) (8.0%) 1 \(\) (2.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持つて対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人 での対応の実施 厳罰化、厳しい処分の実施 部外者の執務室立入禁止の 徹底	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 9人 (5.8%) 9人 (5.8%) 2人 (1.9%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%) 2人 (1.6%) 9人 (7.1%) 1人 (0.8%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 0人 (0.0%) 7人 (5.6%) 1人 (0.8%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (2.5%) 0人 (0.0%)	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 11人 (2.7%) 1人 (0.2%) 3人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 0人 (0.0%) 0人	56 \(\) (62.9%) 14 \(\) (15.7%) 9 \(\) (10.1%) 2 \(\) (2.2%) 5 \(\) (5.6%) 3 \(\) (3.4%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 2人 (4.8%) 2人 (2.4%) 1人 (1.2%) 0人	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (5.7%) 5人 (1.0%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人 (2.6%) 2人	25 \(\) (50.0%) 12 \(\) (24.0%) 4 \(\) (8.0%) 2 \(\) (4.0%) 1 \(\) (2.0%) 4 \(\) (8.0%) 1 \(\) (2.0%) 0 \(\) 0 \(\)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意識を持つて対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人 での対応の実施 厳罰化、厳しい処分の実施	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%) 9人 (1.3%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%)	75 \((59.5%) \) 20 \((15.9%) \) 12 \((9.5%) \) 3 \((2.4%) \) 2 \((1.6%) \) 1 \((0.8%) \) 0 \((0.0%) \) 4 \((3.2%) \)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 0人 (6.4%) 0人 (5.6%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 6人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (2.5%) 0人 (0.0%) 1人 (0.0%)	こども部 294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 12人 (2.7%) 1人 (0.2%) 3人 (0.7%) 4人 (0.9%)	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%) 2人 (2.2%) 5人 (5.8%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 2人 (4.8%) 2人 (1.2%) 1人 (1.2%) 0人 (0.0%) 2人	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (5.7%) 5人 (1.0%) 4人 (0.8%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人 (2.6%) 2人 (1.0%) 7人 (3.6%)	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持つて対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人 での対応の実施 厳罰化、厳しい処分の実施 部外者の執務室立入禁止の 徹底	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 9人 (5.8%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%) 2人 (1.8%) 0人 (0.8%) 0人 (0.0%) 4人	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 0人 (6.4%) 0人 (5.6%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%) 2人 (1.6%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (2.5%) 0人 (0.0%) 1人 (0.8%) 0人	こども部 294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 12人 (2.7%) 1人 (0.2%) 3人 (0.7%) 4人 (0.9%)	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%) 2人 (2.2%) 5人 (5.8%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 2人 (4.8%) 2人 (1.2%) 1人 (1.2%) 0人 (0.0%) 2人	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (5.7%) 5人 (1.0%) 4人 (0.8%) 5人	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (2.6%) 5人 (2.6%) 2人 (1.0%) 7人 (3.6%)	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 0人 (0.0%) 1人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識、コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人 での対応の実施 厳罰化、厳しい処分の実施 部外者の執務室立入禁止の 徹底 特になし	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%) 9人 (1.3%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%) 0人 (0.0%)	75 \(\) (59.5%) 20 \(\) (15.9%) 12 \(\) (9.5%) 3 \(\) (2.4%) 2 \(\) (1.5%) 1 \(\) (0.8%) 0 \(\) (0.0%) 4 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 0人 (0.0%) 7人 (5.6%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%) 2人 (1.6%) 0人	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 6人 (4.9%) 3人人 (2.5%) 0人 (0.0%) 1人 (0.0%) 0人 (0.0%)	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 11人 (2.2%) 3人 (0.7%) 4人 (0.9%) 0人 (0.0%)	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	56 \(\) (62.9%) 14 \(\) (15.7%) 9 \(\) (10.1%) 2 \(\) (2.2%) 5 \(\) (5.8%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 2人 (4.8%) 2人 (1.2%) 1人 (1.2%) 0人 (0.0%) 2人 (2.4%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (5.7%) 5人 (1.0%) 4人 (0.8%) 5人	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 5人 (2.6%) 2人 (1.0%) 7人 (3.6%) 0人	25 \(\) (50.0%) 12 \(\) (24.0%) 4 \(\) (8.0%) 2 \(\) (4.0%) 1 \(\) (2.0%) 1 \(\) (2.0%) 0 \(\) (0.0%) 1 \(\) (2.0%) 0 \(\) (0.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意 識を持つて対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人 での対応の実施 齢罰化、厳しい処分の実施 部外者の執務室立入禁止の 徹底	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 9人 (5.8%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%)	75人 (59.5%) 20人 (15.9%) 12人 (9.5%) 3人 (2.4%) 2人 (1.8%) 0人 (0.8%) 0人 (0.0%) 4人	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 0人 (6.4%) 0人 (5.6%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%) 2人 (1.6%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (2.5%) 0人 (0.0%) 1人 (0.8%) 0人	こども部 294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 11人 (2.4%) 12人 (2.7%) 1人 (0.2%) 3人 (0.7%) 4人 (0.9%)	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	56人 (62.9%) 14人 (15.7%) 9人 (10.1%) 2人 (2.2%) 5人 (5.8%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 2人 (4.8%) 2人 (1.2%) 1人 (1.2%) 0人 (0.0%) 2人	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (5.7%) 5人 (1.0%) 4人 (0.8%) 5人	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (2.6%) 5人 (2.6%) 2人 (1.0%) 7人 (3.6%)	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 0人 (0.0%) 1人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識、コンプライアンス意 識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人 での対応の実施 厳罰化、厳しい処分の実施 部外者の執務室立入禁止の 徹底 特になし	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%) 9人 (5.8%) 3人 (1.3%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%) 0人 (0.0%) 0人	75 \(\) (59.5%) 20 \(\) (15.9%) 12 \(\) (9.5%) 3 \(\) (2.4%) 2 \(\) (1.6%) 9 \(\) (7.1%) 1 \(\) (0.8%) 0 \(\) (0.0%) 4 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 8人 (6.4%) 7人 (5.6%) 1人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (0.0%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 12人 (2.4%) 12人 (0.2%) 3人 (0.7%) 4人 (0.9%) 0人 (0.0%) 0人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 3人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	56 A (62.9%) 14 A (15.7%) 9 A (10.1%) 2 A (2.2%) 5 A (5.6%) 3 A (0.0%) 0 A	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人 (2.4%) 1人 (1.2%) 1人 (1.2%) 0人 (2.4%) 0人 (2.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (1.0%) 5人 (1.0%) 4人 (0.8%) 5人 (1.0%) 0人	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人 (2.6%) 7人 (3.6%) 0人 (0.0%) 0人	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 4人 (2.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) 0 \(\) 0 \(\) 0 \(\) 0 \(\)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人での対応の実施 部外者の執務室立入禁止の 徹底 特になし その他 複数回答	5 \(\) (55.6%) 4 \(\) (44.4%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%) 9人 (5.8%) 3人 (1.3%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%) 0人 (0.0%) 0人	75 \(\) (59.5%) 20 \(\) (15.9%) 12 \(\) (9.5%) 3 \(\) (2.4%) 2 \(\) (1.6%) 9 \(\) (7.1%) 1 \(\) (0.8%) 0 \(\) (0.0%) 4 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 0人 (0.0%) 7人 (5.6%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%) 2人 (1.6%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (2.5%) 0人 (0.0%) 1人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 12人 (2.4%) 12人 (0.2%) 3人 (0.7%) 4人 (0.9%) 0人 (0.0%) 0人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 3人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	56 A (62.9%) 14 A (15.7%) 9 A (10.1%) 2 A (5.6%) 3 A (5.6%) 0 A (0.0%)	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人 (4.8%) 2人 (2.4%) 1人 (1.2%) 0人 (0.0%) 2人 (2.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (1.0%) 5人 (1.0%) 6人 (0.0%) 0人 (0.0%)	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人 (2.6%) 7人 (3.6%) 0人 (0.0%) 0人	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 4人 (2.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
公私を区別し利害関係者とは 一線を引き、公務員の立場を 自覚して行動する 倫理意識・コンプライアンス意識を持って対応する 職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない 上司・同僚等に相談する 公務員としての「つきあい」を 徹底する 定期的な人事異動、複数人での対応の実施 部外者の執務室立入禁止の 徹底 特になし その他 複数回答	5人 (55.6%) 4人 (44.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	92人 (59.0%) 29人 (18.6%) 9人 (5.8%) 8人 (5.1%) 9人 (5.8%) 3人 (1.3%) 2人 (1.3%) 2人 (1.3%) 0人 (0.0%) 0人	75 \(\) (59.5%) 20 \(\) (15.9%) 12 \(\) (9.5%) 3 \(\) (2.4%) 2 \(\) (1.6%) 9 \(\) (7.1%) 1 \(\) (0.8%) 0 \(\) (0.0%) 4 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)	部 74人 (59.2%) 17人 (13.6%) 16人 (12.8%) 8人 (6.4%) 7人 (5.6%) 1人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	部 66人 (54.1%) 27人 (22.1%) 10人 (8.2%) 9人 (7.4%) 6人 (4.9%) 3人 (0.0%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	294人 (65.3%) 73人 (16.2%) 30人 (6.7%) 22人 (4.9%) 12人 (2.4%) 12人 (0.2%) 3人 (0.7%) 4人 (0.9%) 0人 (0.0%) 0人	経済産業 部 33人 (57.9%) 13人 (22.8%) 4人 (7.0%) 1人 (1.8%) 3人 (5.3%) 3人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	56 A (62.9%) 14 A (15.7%) 9 A (10.1%) 2 A (2.2%) 5 A (5.6%) 3 A (0.0%) 0 A	部 51人 (60.7%) 17人 (20.2%) 6人 (7.1%) 4人 (2.4%) 1人 (1.2%) 1人 (1.2%) 0人 (2.4%) 0人 (2.4%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	287人 (56.8%) 87人 (17.2%) 50人 (9.9%) 29人 (5.7%) 9人 (1.8%) 29人 (1.0%) 4人 (0.8%) 5人 (1.0%) 0人	95人 (49.0%) 37人 (19.1%) 26人 (13.4%) 9人 (4.6%) 8人 (4.1%) 5人 (2.6%) 7人 (3.6%) 0人 (0.0%) 0人	25人 (50.0%) 12人 (24.0%) 4人 (8.0%) 2人 (4.0%) 1人 (2.0%) 4人 (2.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) 0 \(\) (0.0%)

4 法令遵守(コンプライアンス)の状況についてお伺いします。

質問9 あなたの職場において、コンプライアンスの面で気になることはありますか。 (複数回答可)【全員必須】

コンプライアンス面で気になることについて、

- ■全体では「特になし」と答えた職員が最も多く 798 人(28.5%)、次いで「業務上必要な法令やルールに対する十分な確認・理解不足」が 16.0%、「個人情報の取扱い」が 14.5% となっている。
- ■任用形態では「正規」で「業務上必要な法令やルールに対する十分な確認・理解不足」が 19.7%で最も多い。「会計年度」では「特になし」が 44.4%で最も多くなっている。
- ■年齢では、各年代において「特になし」が最も多く、次いで「業務上必要な法令やルールに対する十分な確認・理解不足」が多くなっている。
- ■所属では「健康福祉部」「自治市民部」において「個人情報の取扱い」が多くなっている。



※()内は割合

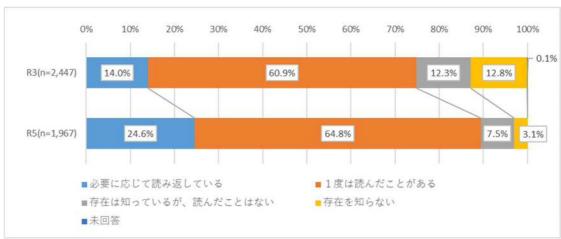
		F	内、任用形態	Ė			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
業務上必要な法令やルール	448人	326人	122人	0人	68人	51人	112人	217人	0人	54人	394人	0人	
に対する十分な確認・理解不 足	(16.0%)	(19.7%)	(10.7%)	(0.0%)	(19.9%)	(14.5%)	(17.2%)	(14.9%)	(0.0%)	(17.7%)	(15.8%)	(0.0%)	
個し体却の時代い	407人	252人	155人	0人	58人	49人	84人	216人	0人	48人	359人	0人	
個人情報の取扱い	(14.5%)	(15.2%)	(13.5%)	(0%)	(17.0%)	(14.0%)	(12.9%)	(14.8%)	(0%)	(15.7%)	(14.4%)	(0%)	
個室での対応など状況に応じ	171人	124人	47人	0人	20人	26人	47人	78人	0人	23人	148人	0人	
たプライバシーへの配慮	(6.1%)	(7.5%)	(4.1%)	(0.0%)	(5.8%)	(7.4%)	(7.2%)	(5.4%)	(0.0%)	(7.5%)	(5.9%)	(0.0%)	
業務上の書類や資料の整理	332人	246人	86人	0人	45人	44人	79人	164人	0人	55人	277人	0人	
	(11.9%)	(14.8%)	(7.5%)	(0%)	(13.2%)	(12.5%)	(12.1%)	(11.3%)	(0%)	(18.0%)	(11.1%)	(0%)	
仕事に関する必要な情報の 職場内での共有化	286人 (10.2%)	172人 (10.4%)	114人 (10.0%)	0人(0.0%)	28人 (8.2%)	36人(10.3%)	67人	155人 (10.7%)	人0 (%0.0)	31人 (10.2%)	255人 (10.2%)	0人 (0.0%)	
	213人	147人	66人	0.0%)	18人	37人	51人	107人	(0.0%)	34人	179人	(0.0%)	
公共の場での職員の立ち話な どからの情報漏えい	(7.6%)	(8.9%)	(5.8%)	(0.0%)	(5.3%)	(10.5%)	(7.8%)	(7.4%)	(0.0%)	(11.1%)	(7.2%)	(0.0%)	
SNS等インターネットを利用す	146人	100人	46人	0.0/0/	22人	23人	30人	71人	0.07//	27人	119人	0.070)	
る際の発信内容への配慮	(5.2%)	(6.0%)	(4.0%)	(0.0%)	(6.4%)	(6.6%)	(4.6%)	(4.9%)	(0.0%)	(8.9%)	(4.8%)	(0.0%)	
444 - 4.1	798人	290人	508人	0人	83人	85人	183人	447人	0人	33人	765人	0人	
特になし	(28.5%)	(17.5%)	(44.4%)	(0.0%)	(24.3%)	(24.2%)	(28.0%)	(30.7%)	(0.0%)	(10.8%)	(30.6%)	(0.0%)	
合計	2,801人	1,657人	1,144人	0人	342人	351人	653人	1,455人	0人	305人	2,496人	0人	
	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
		,					内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	内、所属 経済産業 部	建設部	環境水道部	教育部	消防本部	病院	未回答
業務上必要な法令やルール	危機管理課	総務部 54人	企画部 42人				経済産業	建設部 34人		教育部 71人	消防本部 49人	病院 13人	未回答
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不				部	部	こども部	経済産業部		部				
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不 足	3人	54人	42人	部 26人	部 36人	こども部 70人	経済産業部 21人	34人	部 29人	71人	49人	13人	0人
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不	3人 (25.0%)	54人 (19.4%)	42人 (21.8%)	部 26人 (16.1%)	部 36人 (16.9%)	こども部 70人 (11.3%)	経済産業 部 21人 (22.6%)	34人(26.2%)	部 29人 (24.0%)	71人 (11.2%)	49人 (17.9%)	13人 (17.3%)	0人(0.0%)
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不 足	3人 (25.0%) 1人	54人 (19.4%) 35人	42人 (21.8%) 21人	部 26人 (16.1%) 28人	部 36人 (16.9%) 49人	こども部 70人 (11.3%) 91人	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人	34人 (26.2%) 15人	部 29人 (24.0%) 13人	71人 (11.2%) 82人	49人 (17.9%) 47人	13人 (17.3%) 11人	0人 (0.0%) 0人
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い	3人 (25.0%) 1人 (8.3%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%)	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%)	こども部 70人 (11.3%) 91人 (14.7%)	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%)	71人 (11.2%) 82人 (12.9%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%)	13人 (17.3%) 11人 (14.7%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じ たプライバシーへの配慮	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人	てども部 70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人	経済産業 31人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 14人	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じ	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%)	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%)	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%)	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 14人 (11.6%)	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%)	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じ たプライバシーへの配慮 業務上の書類や資料の整理 仕事に関する必要な情報の	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%)	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%) 25人	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%) 62人	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%) 9人	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 14人 (11.6%)	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%) 20人	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じ たブライバシーへの配慮 業務上の書類や資料の整理 仕事に関する必要な情報の 職場内での共有化	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%) 32人 (11.5%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%) 21人 (10.9%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%) 17人 (10.6%)	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%) 25人 (11.7%)	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%) 62人 (10.0%)	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%) 9人 (9.7%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%) 13人 (10.0%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 14人 (11.6%) 15人 (12.4%)	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%) 62人 (9.8%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%) 20人 (7.3%)	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じ たプライバシーへの配慮 業務上の書類や資料の整理 仕事に関する必要な情報の 職場内での共有化 公共の場での職員の立ち話な	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%) 32人 (11.5%) 25人	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%) 21人 (10.9%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%) 17人 (10.6%)	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%) 25人 (11.7%) 6人	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%) 62人 (10.0%) 58人	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%) 9人 (9.7%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%) 13人 (10.0%) 9人	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 14人 (11.6%) 15人 (12.4%) 9人	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%) 62人 (9.8%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%) 20人 (7.3%)	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%) 8人 (10.7%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
業務上必要な法令やルールに対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じたプライバシーへの配慮 業務上の書類や資料の整理 仕事に関する必要な情報の職場内での共有化 公共の場での職員の立ち話などからの情報漏えい	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%) 32人 (11.5%) 25人 (9.0%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%) 17人 (10.6%) 4人 (2.5%)	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%) 25人 (11.7%) 6人 (2.8%)	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%) 62人 (10.0%) 58人 (9.4%)	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%) 9人 (9.7%) 5人 (5.4%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%) 13人 (10.0%) 9人 (6.9%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 14人 (11.6%) 15人 (12.4%) 9人 (7.4%)	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%) 62人 (9.8%) 40人 (6.3%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%) 20人 (7.3%) 29人 (10.6%)	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%) 8人 (10.7%) 11人 (14.7%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
業務上必要な法令やルール に対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じ たプライバシーへの配慮 業務上の書類や資料の整理 仕事に関する必要な情報の 職場内での共有化 公共の場での職員の立ち話な	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%) 2人	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%) 32人 (11.5%) 25人 (9.0%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 9人	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%) 17人 (10.6%) 4人 (2.5%) 19人	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%) 25人 (11.7%) 6人 (2.8%)	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%) 62人 (10.0%) 58人 (9.4%)	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%) 9人 (9.7%) 5人 (5.4%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%) 13人 (10.0%) 9人 (6.9%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 15人 (12.4%) 9人 (7.4%) 6人	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%) 62人 (9.8%) 40人 (6.3%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%) 20人 (7.3%) 29人 (10.6%)	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%) 11人 (14.7%) 4人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
業務上必要な法令やルールに対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じたプライバシーへの配慮 業務上の書類や資料の整理 仕事に関する必要な情報の職場内での共有化 公共の場での職員の立ち話などからの情報漏えい SNS等インターネットを利用する際の発信内容への配慮	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%) 32人 (11.5%) 25人 (9.0%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%) 17人 (10.6%) 4人 (2.5%)	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%) 25人 (11.7%) 6人 (2.8%)	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%) 62人 (10.0%) 58人 (9.4%)	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%) 9人 (9.7%) 5人 (5.4%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%) 13人 (10.0%) 9人 (6.9%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 14人 (11.6%) 15人 (12.4%) 9人 (7.4%)	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%) 62人 (9.8%) 40人 (6.3%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%) 20人 (7.3%) 29人 (10.6%)	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%) 8人 (10.7%) 11人 (14.7%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
業務上必要な法令やルールに対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じたブライバシーへの配慮 業務上の書類や資料の整理 仕事に関する必要な情報の職場内での共有化 公共の場での職員の立ち話などからの情報漏えい SNS等インターネットを利用す	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%) 0人 (0.0%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%) 32人 (11.5%) 25人 (9.0%) 17人 (6.1%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 9人 (4.7%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%) 17人 (10.6%) 4人 (2.5%) 19人 (11.8%)	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%) 25人 (11.7%) 6人 (2.8%)	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%) 62人 (10.0%) 58人 (9.4%) 23人 (3.7%)	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%) 9人 (5.4%) 8人 (8.6%)	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%) 13人 (10.0%) 9人 (6.9%) 5人 (3.8%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 15人 (12.4%) 9人 (7.4%) 6人 (5.0%)	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%) 62人 (9.8%) 40人 (6.3%) 17人 (2.7%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%) 20人 (7.3%) 29人 (10.6%) 32人 (11.7%)	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%) 11人 (14.7%) 4人 (5.3%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
業務上必要な法令やルールに対する十分な確認・理解不足 個人情報の取扱い 個室での対応など状況に応じたプライバシーへの配慮 業務上の書類や資料の整理 仕事に関する必要な情報の職場内での共有化 公共の場での職員の立ち話などからの情報漏えい SNS等インターネットを利用する際の発信内容への配慮	3人 (25.0%) 1人 (8.3%) 1人 (8.3%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%) 2人 (16.7%) 0人 (0.0%)	54人 (19.4%) 35人 (12.6%) 32人 (11.5%) 39人 (14.0%) 32人 (11.5%) 25人 (9.0%) 17人 (6.1%)	42人 (21.8%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 30人 (15.5%) 21人 (10.9%) 15人 (7.8%) 9人 (4.7%)	部 26人 (16.1%) 28人 (17.4%) 3人 (1.9%) 16人 (9.9%) 17人 (10.6%) 4人 (2.5%) 19人 (11.8%) 48人	部 36人 (16.9%) 49人 (23.0%) 24人 (11.3%) 36人 (16.9%) 25人 (11.7%) 6人 (2.8%) 6人 (2.8%)	70人 (11.3%) 91人 (14.7%) 43人 (7.0%) 44人 (7.1%) 62人 (10.0%) 58人 (9.4%) 23人 (3.7%) 226人	経済産業 部 21人 (22.6%) 14人 (15.1%) 9人 (9.7%) 19人 (20.4%) 9人 (5.4%) 5人 (5.4%) 8人	34人 (26.2%) 15人 (11.5%) 2人 (1.5%) 27人 (20.8%) 13人 (10.0%) 9人 (6.9%) 5人 (3.8%)	部 29人 (24.0%) 13人 (10.7%) 9人 (7.4%) 15人 (12.4%) 9人 (7.4%) 6人 (5.0%)	71人 (11.2%) 82人 (12.9%) 20人 (3.2%) 65人 (10.3%) 62人 (9.8%) 40人 (6.3%) 17人 (2.7%)	49人 (17.9%) 47人 (17.2%) 8人 (2.9%) 32人 (11.7%) 20人 (7.3%) 29人 (10.6%) 32人 (11.7%) 57人	13人 (17.3%) 11人 (14.7%) 5人 (6.7%) 8人 (10.7%) 11人 (14.7%) 4人 (5.3%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)

質問 10 磐田市コンプライアンス行動指針を読んだことがありますか。(1つを選択) 【全員必須】

磐田市コンプライアンス行動指針について、

内、任用形態

- ■全体では「1度は読んだことがある」「必要に応じて読み返している」が合わせて 89.4%まで増加した。
- ■任用形態では「会計年度」で「存在を知らない」が 5.8%とやや多くなっている。
- ■所属では、「病院」が「存在を知らない」と回答した割合が 12.0%と、他所属と 比べてやや多い。しかし、前回の 42.3%と比較すると大幅に減少している。



内、年齢

*	()	内は割合

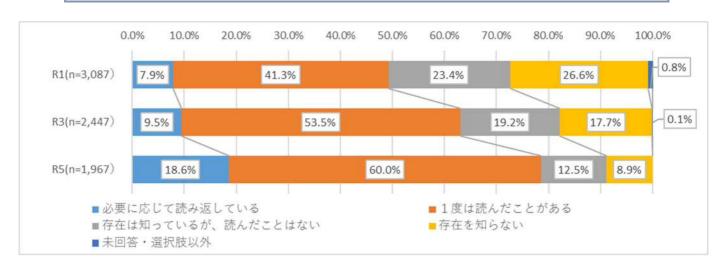
内、管理職

選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
ツ亜に 内に マキュンE レマ・・フ	484人	285人	199人	0人	32人	38人	106人	308人	0人	99人	385人	0人	
必要に応じて読み返している	(24.6%)	(26.2%)	(22.7%)	(0.0%)	(13.4%)	(16.2%)	(23.1%)	(29.7%)	(0.0%)	(54.4%)	(21.6%)	(0.0%)	
1度は読んだことがある	1,275人	717人	558人	0人	166人	175人	316人	618人	人0	77人	1,198人	0人	
一度は訳んだことがめる	(64.8%)	(65.8%)	(63.6%)	(0.0%)	(69.7%)	(74.8%)	(69.0%)	(59.6%)	(0.0%)	(42.3%)	(67.1%)	(0.0%)	
存在は知っているが、読んだ	148人	78人	70人	0人	27人	18人	24人	79人	0人	5人	143人	0人	l
ことはない	(7.5%)	(7.2%)	(8.0%)	(0.0%)	(11.3%)	(7.7%)	(5.2%)	(7.6%)	(0.0%)	(2.7%)	(8.0%)	(0.0%)	
存在を知らない	60人	9人	51人	0人	13人	3人	12人	32人	0人	1人	59人	0人	
11 11 2 70 3 6 4	(3.1%)	(0.8%)	(5.8%)	(0.0%)	(5.5%)	(1.3%)	(2.6%)	(3.1%)	(0.0%)	(0.5%)	(3.3%)	(0.0%)	l
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
水四日	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
H III	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
か悪にはいてきない アンフ	6人	52人	24人	34人	15人	149人	14人	24人	22人	87人	49人	8人	0人
必要に応じて読み返している	(66.7%)	(33.3%)	(19.0%)	(27.2%)	(12.3%)	(33.1%)	(24.6%)	(27.0%)	(26.2%)	(17.2%)	(25.3%)	(16.0%)	(0.0%)
1度は読んだことがある	3人	91人	90人	85人	93人	261人	39人	49人	53人	353人	127人	31人	0人
一月度は読んだことかめる	(33.3%)	(58.3%)	(71.4%)	(68.0%)	(76.2%)	(58.0%)	(68.4%)	(55.1%)	(63.1%)	(69.9%)	(65.5%)	(62.0%)	(0.0%)
存在は知っているが、読んだ	0人	10人	9人	6人	11人	31人	4人	15人	8人	35人	14人	5人	0人
ことはない	(0.0%)	(6.4%)	(7.1%)	(4.8%)	(9.0%)	(6.9%)	(7.0%)	(16.9%)	(9.5%)	(6.9%)	(7.2%)	(10.0%)	(0.0%)
存在を知らない	0人	3人	3人	0人	3人	9人	0人	1人	1人	30人	4人	6人	0人
行任を知らない	(0.0%)	(1.9%)	(2.4%)	(0.0%)	(2.5%)	(2.0%)	(0.0%)	(1.1%)	(1.2%)	(5.9%)	(2.1%)	(12.0%)	(0.0%)
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
小国 市	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
合計	9人	156人	126人	125人	122人	450人	57人	89人	84人	505人	194人	50人	0人
""	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)

質問 11 磐田市職員倫理規程(ガイドブック)を読んだことがありますか。(1つを選択) 【全員必須】

磐田市職員倫理規程について、

- ■全体では職員倫理規程を読んだことがない職員(「存在を知らない」「存在は知っているが、読んだことはない」の合計)が前回調査において36.9%であったが、今回調査では21.4%と15.5ポイント減少している。
- ■「存在を知らない」「存在は知っているが、読んだことはない」を合わせた割合について、任用形態では「正規」が 13.8%、「会計年度」が 30.6%となっている。 年齢では「10歳・20歳代」の 25.2%、「50歳代以上」の 23.5%、所属では「こども部」の 28.2%が上位となっている。
- ■職階の「管理職」では、「必要に応じて読み返している」「1度は読んだことがある」を合わせた割合が、94.6%と高い状況にある。



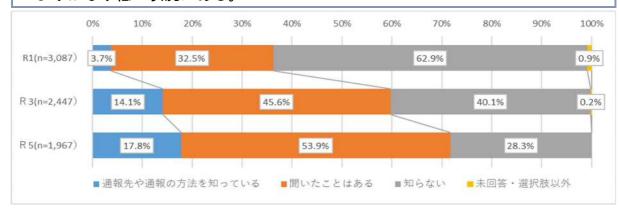
※()内は割合

		P	内、任用形態	STEEL STEEL			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以 上	未回答	管理職	それ以外	未回答	
必要に応じて読み返している	365人	245人	120人	0人	22人	28人	82人	233人	0人	86人	279人	0人	
必安に心して述み返している	(18.6%)	(22.5%)	(13.7%)	(0.0%)	(9.2%)	(12.0%)	(17.9%)	(22.5%)	(0.0%)	(47.3%)	(15.6%)	(0.0%)	
1度は読んだことがある	1,182人	693人	489人	0人	156人	165人	301人	560人	0人	86人	1,096人	0人	
一段は読んだことがある	(60.0%)	(63.6%)	(55.7%)	(0.0%)	(65.5%)	(70.5%)	(65.7%)	(54.0%)	(0.0%)	(47.3%)	(61.4%)	(0.0%)	
存在は知っているが、読んだ	245人	120人	125人	0人	40人	28人	38人	139人	0人	8人	237人	0人	
ことはない	(12.5%)	(11.0%)	(14.2%)	(0.0%)	(16.8%)	(12.0%)	(8.3%)	(13.4%)	(0.0%)	(4.4%)	(13.3%)	(0.0%)	
存在を知らない	175人	31人	144人	0人	20人	13人	37人	105人	0人	2人	173人	0人	
17 E E 74 7 6 4	(8.9%)	(2.8%)	(16.4%)	(0.0%)	(8.4%)	(5.6%)	(8.1%)	(10.1%)	(0.0%)	(1.1%)	(9.7%)	(0.0%)	
未回答	人0	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人		0人	182人	1,785人	0人	
	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民 部	健康福祉 部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
N 悪に広じてきないEL でいて	4人	44人	20人	26人	15人	90人	12人	24人	20人	53人	50人	7人	0人
必要に応じて読み返している	(44.4%)	(28.2%)	(15.9%)	(20.8%)	(12.3%)	(20.0%)	(21.1%)	(27.0%)	(23.8%)	(10.5%)	(25.8%)	(14.0%)	(0.0%)
1度は読んだことがある	5人	92人	93人	83人	81人	233人	38人	47人	55人	311人	114人	30人	0人
一段は読んだことがある	(55.6%)	(59.0%)	(73.8%)	(66.4%)	(66.4%)	(51.8%)	(66.7%)	(52.8%)	(65.5%)	(61.6%)	(58.8%)	(60.0%)	(0.0%)
存在は知っているが、読んだ	0人	15人	10人	12人	19人	73人	6人	17人	7人	59人	20人	7人	0人
ことはない	(0.0%)	(9.6%)	(7.9%)	(9.6%)	(15.6%)	(16.2%)	(10.5%)	(19.1%)	(8.3%)	(11.7%)	(10.3%)	(14.0%)	(0.0%)
存在を知らない	0人	5人	3人	4人	7人	54人	1人		2人	82人	10人	6人	0人
17 E2743 6.1	(0.0%)	(3.2%)	(2.4%)	(3.2%)	(5.7%)	(12.0%)	(1.8%)	(1.1%)	(2.4%)	(16.2%)	(5.2%)	(12.0%)	(0.0%)
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	,	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
合計	9人	156人	126人	125人	122人	450人	57人	89人	84人	505人	194人	50人	0人
	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)

質問 12 あなたは公益通報制度を知っていますか?(1つを選択)【全員必須】

公益通報制度について、

- ■全体では「知らない」と答えた職員が 28.3%で、前回(40.1%) より 11.8 ポイント減少、第1回調査(62.9%) より 34.6 ポイント減少している。
- ■「通報先や通報の方法を知っている」と回答した職員は全体では 17.8%で、前回 (14.1%) より 3.7 ポイント、第1回調査 (3.7%) より 14.1 ポイント増加して いる。
- ■「知らない」と回答した職員の割合は、任用形態では「会計年度」が 38.5%、年齢では「10歳・20歳代」が 47.9%、所属では「こども部」「教育部」「病院」が 30%超と高くなっている。
- ■職階の「管理職」では、「知らない」と答えた割合が3.8%であり、「管理職以外」よりかなり低い状況にある。



※()内は割合

		P	内、任用形態	Ė			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	未回答	管理職	それ以外	未回答	
通報先や通報の方法を知っ	350人	272人	78人	0人	11人	32人	75人	232人	0人	114人	236人	0人	
ている	(17.8%)	(25.0%)	(8.9%)	(0.0%)	(4.6%)	(13.7%)	(16.4%)	(22.4%)	(0.0%)	(62.6%)	(13.2%)	(0.0%)	
聞いたことはある	1,060人	598人	462人	0人	113人	135人	276人	536人	0人	61人	999人	0人	
国がったことはある	(53.9%)	(54.9%)	(52.6%)	(0.0%)	(47.5%)	(57.7%)	(60.3%)	(51.7%)	(0.0%)	(33.5%)	(56.0%)	(0.0%)	
t=== +>1 >	557人	219人	338人	0人	114人	67人	107人	269人	0人	7人	550人	0人	
知らない	(28.3%)	(20.1%)	(38.5%)	(0.0%)	(47.9%)	(28.6%)	(23.4%)	(25.9%)	(0.0%)	(3.8%)	(30.8%)	(0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
木凹台	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
∧ =1	1,967人	1,089人	878人	70	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
合計	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内、所属					_	
							アリ、バル画						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
選択肢通報の方法を知っ	危機管理課 4人	総務部 44人	企画部				経済産業	建設部 20人		教育部 58人	消防本部 56人	病院	未回答
				部	部	こども部	経済産業 部	建設部	部				
通報先や通報の方法を知っている	4人	44人	30人	部 33人	部 19人	こども部 46人	経済産業 部 12人	20人	部 20人	58人	56人	8人	0人
通報先や通報の方法を知っ	4人 (44.4%)	44人 (28.2%)	30人	部 33人 (26.4%)	部 19人 (15.6%)	こども部 46人 (10.2%)	経済産業 部 12人 (21.1%)	20人(22.5%)	部 20人 (23.8%)	58人 (11.5%)	56人 (28.9%)	8人 (16.0%)	0人(0.0%)
通報先や通報の方法を知っている 聞いたことはある	4人 (44.4%) 5人 (55.6%) 0人	44人 (28.2%) 91人 (58.3%) 21人	30人 (23.8%) 80人 (63.5%)	部 33人 (26.4%) 67人 (53.6%) 25人	部 19人 (15.6%) 75人 (61.5%) 28人	こども部 46人 (10.2%) 242人 (53.8%) 162人	経済産業 部 12人 (21.1%) 32人 (56.1%) 13人	20人 (22.5%) 46人 (51.7%) 23人	部 20人 (23.8%) 49人 (58.3%) 15人	58人 (11.5%) 249人 (49.3%) 198人	56人 (28.9%) 99人 (51.0%) 39人	8人 (16.0%) 25人 (50.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
通報先や通報の方法を知っている	4人 (44.4%) 5人 (55.6%)	44人 (28.2%) 91人 (58.3%)	30人 (23.8%) 80人 (63.5%)	部 33人 (26.4%) 67人 (53.6%)	部 19人 (15.6%) 75人 (61.5%)	こども部 46人 (10.2%) 242人 (53.8%)	経済産業 部 12人 (21.1%) 32人 (56.1%)	20人 (22.5%) 46人 (51.7%)	部 20人 (23.8%) 49人 (58.3%)	58人 (11.5%) 249人 (49.3%)	56人 (28.9%) 99人 (51.0%)	8人 (16.0%) 25人 (50.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
通報先や通報の方法を知っている 聞いたことはある 知らない	4人 (44.4%) 5人 (55.6%) 0人	44人 (28.2%) 91人 (58.3%) 21人	30人 (23.8%) 80人 (63.5%)	部 33人 (26.4%) 67人 (53.6%) 25人	部 19人 (15.6%) 75人 (61.5%) 28人	こども部 46人 (10.2%) 242人 (53.8%) 162人	経済産業 部 12人 (21.1%) 32人 (56.1%) 13人	20人 (22.5%) 46人 (51.7%) 23人	部 20人 (23.8%) 49人 (58.3%) 15人	58人 (11.5%) 249人 (49.3%) 198人	56人 (28.9%) 99人 (51.0%) 39人	8人 (16.0%) 25人 (50.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
通報先や通報の方法を知っている 聞いたことはある	4人 (44.4%) 5人 (55.6%) 0人 (0.0%)	44人 (28.2%) 91人 (58.3%) 21人 (13.5%)	30人 (23.8%) 80人 (63.5%) 16人 (12.7%)	部 33人 (26.4%) 67人 (53.6%) 25人 (20.0%)	部 19人 (15.6%) 75人 (61.5%) 28人 (23.0%)	こども部 46人 (10.2%) 242人 (53.8%) 162人 (36.0%)	経済産業 部 12人 (21.1%) 32人 (56.1%) 13人 (22.8%)	20人 (22.5%) 46人 (51.7%) 23人 (25.8%)	部 20人 (23.8%) 49人 (58.3%) 15人 (17.9%)	58人 (11.5%) 249人 (49.3%) 198人 (39.2%)	56人 (28.9%) 99人 (51.0%) 39人 (20.1%)	8人 (16.0%) 25人 (50.0%) 17人 (34.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
通報先や通報の方法を知っている 聞いたことはある 知らない	4人 (44.4%) 5人 (55.6%) 0人 (0.0%)	44人 (28.2%) 91人 (58.3%) 21人 (13.5%)	30人 (23.8%) 80人 (63.5%) 16人 (12.7%)	部 33人 (26.4%) 67人 (53.6%) 25人 (20.0%) 0人	部 19人 (15.6%) 75人 (61.5%) 28人 (23.0%) 0人	てども部 46人 (10.2%) 242人 (53.8%) 162人 (36.0%) 0人	経済産業 部 12人 (21.1%) 32人 (56.1%) 13人 (22.8%) 0人	20人 (22.5%) 46人 (51.7%) 23人 (25.8%) 0人	部 20人 (23.8%) 49人 (58.3%) 15人 (17.9%) 0人	58人 (11.5%) 249人 (49.3%) 198人 (39.2%) 0人	56人 (28.9%) 99人 (51.0%) 39人 (20.1%)	8人 (16.0%) 25人 (50.0%) 17人 (34.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)

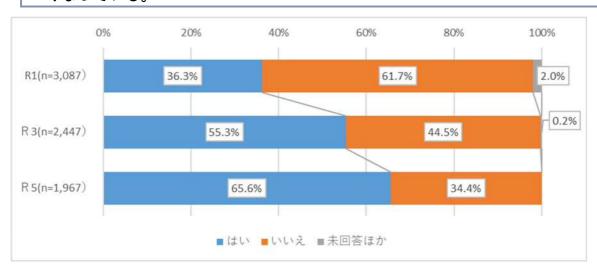
質問 13 あなたは、職場内で起こった不正等の通報の対象となる事実を発見した場合に、 公益通報対策委員会に相談又は通報をすると思いますか。(選択)【全員必須】

公益通報対策委員会に相談又は通報をすると「思わない」と回答した職員の割合は、

■全体では34.4%で、前回(44.5%)より10.1ポイント減少している。

相談又は通報をすると「思う」と回答した職員の割合は、

- ■年齢ではいずれの年代も「思わない」を上回り、職階では「管理職」が82.4%と高くなっている。
- ■所属では、「危機管理課」「自治市民部」「建設部」が 70%を超え他の所属より高くなっている。



※「未回答ほか」R1には「選択肢以外」0.3%を含む。

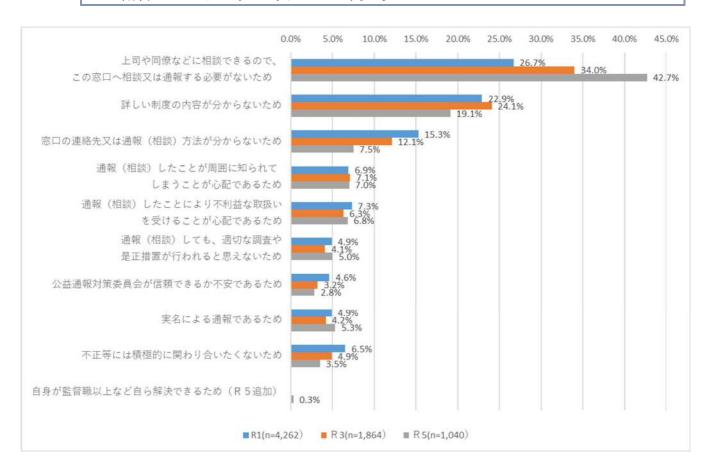
※()内は割合

		P	内、任用形態	E C			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
はい	1,291人	727人	564人	0人	151人	144人	279人	717人	0人	150人	1,141人	0人	
140,	(65.6%)	(66.8%)	(64.2%)	(0.0%)	(63.4%)	(61.5%)	(60.9%)	(69.1%)	(0.0%)	(82.4%)	(63.9%)	(0.0%)	
いいえ	676人	362人	314人	0人	87人	90人	179人	320人	0人	32人	644人	0人	
0.0.7	(34.4%)	(33.2%)	(35.8%)	(0.0%)	(36.6%)	(38.5%)	(39.1%)	(30.9%)	(0.0%)	(17.6%)	(36.1%)	(0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
不 固合	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
口前	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
はい	7人	102人	84人	90人	72人	291人	34人	65人	55人	332人	125人	34人	0人
146,	(77.8%)	(65.4%)	(66.7%)	(72.0%)	(59.0%)	(64.7%)	(59.6%)	(73.0%)	(65.5%)	(65.7%)	(64.4%)	(68.0%)	(0.0%)
いいえ	2人	54人	42人	35人	50人	159人	23人	24人	29人	173人	69人	16人	0人
0.0.7	(22.2%)	(34.6%)	(33.3%)	(28.0%)	(41.0%)	(35.3%)	(40.4%)	(27.0%)	(34.5%)	(34.3%)	(35.6%)	(32.0%)	(0.0%)
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
小凹台	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
合計	9人	156人	126人	125人	122人	450人	57人	89人	84人	505人	194人	50人	0人
TaiaT	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)

質問 13-1 質問 13 で「いいえ」と回答された方に聞きます。公益通報対策委員会に相談又は通報をしないと思う理由を選択してください。(複数回答可)

相談又は通報をしないと思う理由について、

- ■全体では、前回同様、「上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は 通報する必要がないため」が最も多く、次いで「詳しい制度の内容が分からない ため」となっている。
- ■年齢では、「10歳・20歳代」で「詳しい制度の内容が分からないため」と回答した割合が 27.5%で他の年代と比べ高い。



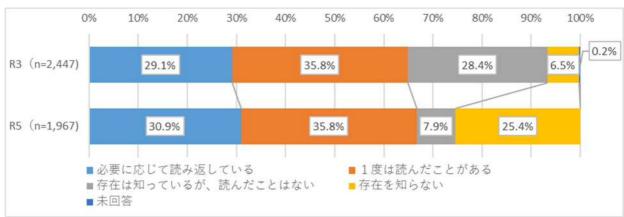
※()内は割合

		P	内、任用形態	E C			内、年齢				内、管理職	101日	
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
上司や同僚などに相談できる	444人	232人	212人	0人	52人	58人	119人	215人	0人	24人	420人	0人	
ので、この窓口へ相談又は通 報する必要がないため	(42.7%)	(41.7%)	(43.8%)	(0%)	(36.6%)	(36.9%)	(41.6%)	(47.3%)	(0%)	(49.0%)	(42.4%)	(0%)	
詳しい制度の内容が分からな	199人	92人	107人	0人	39人	30人	38人	92人	0人	5人	194人	0人	
いため	(19.1%)	(16.5%)	(22.1%)	(0%)	(27.5%)	(19.1%)	(13.3%)	(20.2%)	(0%)	(10.2%)	(19.6%)	(0%)	
窓口の連絡先又は通報(相	78人	31人	47人	0人	9人	17人	22人	30人	0人	1人	77人	0人	
談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に	(7.5%)	(5.6%)	(9.7%)	(0%)	(6.3%)	(10.8%)	(7.7%)	(6.6%)	(0%)	(2.0%)	(7.8%)	(0%)	
知られてしまうことが心配であ	73人	42人	31人	0人	10人	11人	26人	26人	0人	2人	71人	0人	
るため	(7.0%)	(7.6%)	(6.4%)	(0%)	(7.0%)	(7.0%)	(9.1%)	(5.7%)	(0%)	(4.1%)	(7.2%)	(0%)	
通報(相談)したことにより不 利益な取扱いを受けることが	71人	49人	22人	0人	8人	13人	21人	29人	0人	4人	67人	0人	
心配であるため	(6.8%)	(8.8%)	(4.5%)	(0%)	(5.6%)	(8.3%)	(7.3%)	(6.4%)	(0%)	(8.2%)	(6.8%)	(0%)	
通報(相談)しても、適切な調	52人	34人	18人	0人	6人	3人	18人	25人	0人	4人	48人	0人	
査や是正措置が行われると 思えないため	(5.0%)	(6.1%)	(3.7%)	(0%)	(4.2%)	(1.9%)	(6.3%)	(5.5%)	(0%)	(8.2%)	(4.8%)	(0%)	
公益通報対策委員会が信頼	29人	22人	7人	0人	2人	4人	13人	10人	0人	2人	27人	0人	
できるか不安であるため	(2.8%)	(4.0%)	(1.4%)	(0%)	(1.4%)	(2.5%)	(4.5%)	(2.2%)	(0%)	(4.1%)	(2.7%)	(0%)	
実名による通報であるため	55人	29人	26人	0人	7人	11人	18人	19人	0人	3人	52人	0人	
	(5.3%)	(5.2%)	(5.4%)	(0%)	(4.9%)	(7.0%)	(6.3%)	(4.2%)	(0%)	(6.1%)	(5.2%)	(0%)	
不正等には積極的に関わり合いたくないため	36人 (3.5%)	22人 (4.0%)	14人 (2.9%)	0人(0%)	8人 (5.6%)	9人 (5.7%)	11人 (3.8%)	8人(1.8%)	0人 (0%)	2人 (4.1%)	34人 (3.4%)	0人 (0%)	
	(3.5%)	3人	0人	0分	1人	1人	(3.0%)	1人	0分	2人	1人	0%)	
自身が監督職など自ら解決 できるため	(0.3%)	(0.5%)	(0.0%)	(0%)	(0.7%)	(0.6%)	(0.0%)	(0.2%)	(0%)	(4.1%)	(0.1%)	(0%)	
	1,040人	556人	484人	0人	142人	157人	286人	455人	0人	49人	991人	0人	
合計	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
	(100/0/	(100/0)	(100/0/	(0/0/	(100/0)	(100/0/	(100/0/	(100/0)	(0707	(100/0/	(100/0/	(0/0)	
	(100/0/	(100/0)	(100/0/	(070)	(100%)	, ,,,	内、所属	(100/0)	(0707	(100/0)	(100/0)	(070)	
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	, , , , , ,	, ,,,		建設部	環境水道部	教育部	消防本部	病院	未回答
上司や同僚などに相談できる	, , , , , ,			自治市民	健康福祉		内、所属経済産業		環境水道			,	未回答
上司や同僚などに相談できる ので、この窓口へ相談又は通	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	内、所属経済産業部	建設部	環境水道部	教育部	消防本部	病院	
上司や同僚などに相談できる	危機管理課 0人	総務部 36人	企画部 27人	自治市民部	健康福祉部 33人	こども部 118人	内、所属経済産業部	建設部 14人	環境水道部	教育部 114人	消防本部	病院 9人	0人
上司や同僚などに相談できる ので、この窓口へ相談又は通 報する必要がないため	危機管理課 0人 (0.0%)	総務部 36人 (36.4%)	企画部 27人 (43.5%)	自治市民部 22人 (42.3%)	健康福祉部 33人(42.3%)	こども部 118人 (48.2%)	内、所属 経済産業 部 15人 (46.9%)	建設部 14人 (41.2%)	環境水道 部 18人 (47.4%)	教育部 114人 (44.5%)	消防本部 38人 (33.0%)	病院 9人 (40.9%)	0人(0.0%)
上司や同僚などに相談できる ので、この窓口へ相談又は通 報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からな いため 窓口の連絡先又は通報(相	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%)	健康福祉 部 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人	内、所属 経済産業 部 15人 (46.9%) 8人 (25.0%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できる ので、この窓口へ相談又は通 報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からな いため 窓口の連絡先又は通報(相 談)方法が分からないため	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%)	健康福祉 部 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%)	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であ	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (10.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%)	健康福祉 部 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%)	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%)	内、所属 経済産業 部 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であ	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (10.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%)	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 1人	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが同囲に知られてしまうことが心配であるため	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (10.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%)	健康福祉 部 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%)	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%)	内、所属 経済産業 部 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが同囲に知られてしまうことが心配であるため 通報(相談)したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため 通報(相談)しても、適切な調	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (10.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%)	健康福祉 部 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%)	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 1人	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが同囲に知られてしまうことが心配であるため	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (10.1%) 7人 (7.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%)	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 5人 (6.4%)	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 5人 (14.7%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%) 1人 (2.6%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため だしい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため 通報(相談)したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため 通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため 出表ないため	危機管理課 の人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (10.1%) 7人 (7.1%) 4人	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人 (6.5%) 5人 (8.1%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%) 5人 (9.6%) 4人 (7.7%)	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 5人 (6.4%) 3人 (3.8%)	118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%) 12人 (4.9%) 5人 (2.0%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%) 0人 (0.0%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 5人 (14.7%) 3人 (8.8%) 2人	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%) 1人 (2.6%) 4人 (10.5%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%) 13人 (5.1%) 10人 (3.9%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%) 9人 (7.8%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%) 1人 (4.5%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため 通報(相談)したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため 通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため	危機管理課 の人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (7.1%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人 (6.5%) 5人 (8.1%) 3人 (4.8%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%) 4人 (7.7%) 0人 (0.0%)	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 5人 (6.4%) 3人 (3.8%) 2人 (2.6%)	118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%) 12人 (4.9%) 5人 (2.0%) 6人 (2.4%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%) 0人 (0.0%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 5人 (14.7%) 3人 (8.8%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%) 1人 (2.6%) 4人 (10.5%) 2人 (5.3%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%) 13人 (5.1%) 10人 (3.9%) 5人 (2.0%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%) 9人 (7.8%) 4人 (3.5%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%) 0人 (4.5%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため だしい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため 通報(相談)したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため 通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため 出表ないため	危機管理課 の人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (7.1%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人 (6.5%) 5人 (8.1%) 3人 (4.8%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%) 5人 (9.6%) 4人 (7.7%)	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 5人 (6.4%) 3人 (3.8%) 2人 (2.6%)	118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%) 12人 (4.9%) 5人 (2.0%) 6人 (2.4%) 9人	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%) 0人 (0.0%) 3人	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 3人 (8.8%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%) 1人 (2.6%) 4人 (10.5%) 2人 (5.3%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%) 13人 (5.1%) 5人 (2.0%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%) 9人 (7.8%) 4人 (3.5%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%) 0人 (4.5%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため 通報(相談)したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため 通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため 公益通報対策委員会が信頼できるか不安であるため	危機管理課 の人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (7.1%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人 (6.5%) 5人 (8.1%) 3人 (4.8%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%) 4人 (7.7%) 0人 (0.0%) 6人	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 5人 (6.4%) 3人 (3.8%) 2人 (2.6%)	118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%) 12人 (4.9%) 5人 (2.0%) 6人 (2.4%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%) 0人 (0.0%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 5人 (14.7%) 3人 (8.8%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%) 1人 (2.6%) 4人 (10.5%) 2人 (5.3%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%) 13人 (5.1%) 10人 (3.9%) 5人 (2.0%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%) 9人 (7.8%) 4人 (3.5%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%) 0人 (4.5%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが同囲に知られてしまうことが心配であるため 通報(相談)したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため 通報(相談)しても、適切なまりであるため 通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため 公益通報対策委員会が信頼できるか不安であるため	危機管理課 の人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (7.1%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%) 7人 (7.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人 (6.5%) 5人 (8.1%) 3人 (4.8%) 1人 (1.6%)	自治市民 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%) 4人 (7.7%) 0人 (0.0%) 6人 (11.5%)	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 5人 (6.4%) 3人 (3.8%) 2人 (2.6%) 4人 (5.1%)	118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%) 12人 (4.9%) 5人 (2.0%) 6人 (2.4%) 9人 (3.7%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 3人 (9.4%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 3人 (8.8%) 2人 (5.9%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%) 1人 (2.6%) 2人 (5.3%) 1人 (2.6%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%) 13人 (5.1%) 5人 (2.0%) 13人 (5.1%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%) 9人 (7.8%) 4人 (3.5%) 8人 (7.0%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%) 0人 (4.5%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため だしい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため 通報(相談)したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため 通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため 公益通報対策委員会が信頼できるか不安であるため 実名による通報であるため	危機管理課 の人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (7.1%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%) 7人 (7.1%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人 (6.5%) 5人 (8.1%) 3人 (4.8%) 1人 (1.6%) 3人	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%) 4人 (7.7%) 0人 (0.0%) 6人 (11.5%)	健康福祉 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 5人 (6.4%) 3人 (2.6%) 4人 (5.1%) 3人	118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%) 12人 (4.9%) 5人 (2.0%) 6人 (2.4%) 9人 (3.7%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 3人 (9.4%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 3人 (8.8%) 2人 (5.9%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%) 1人 (2.6%) 2人 (5.3%) 1人 (2.6%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%) 13人 (5.1%) 5人 (2.0%) 13人 (5.1%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%) 9人 (7.8%) 4人 (3.5%) 8人 (7.0%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 詳しい制度の内容が分からないため 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが心配であるため 通報(相談)したことが心配であるため 通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため 公益通報対策委員会が信頼できるか不安であるため 実名による通報であるため	危機管理課 の人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 0人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (7.1%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人 (6.5%) 5人 (8.1%) 3人 (4.8%) 1人 (1.6%) 3人 (4.8%)	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%) 4人 (7.7%) 0人 (0.0%) 6人 (11.5%)	健康福祉 部 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 2人 (2.6%) 4人 (5.1%) 3人 (3.8%)	こども部 118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%) 12人 (4.9%) 5人 (2.0%) 6人 (2.4%) 9人 (3.7%) 4人 (1.6%)	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%) 0人 (0.0%) 3人 (9.4%) 2人 (6.3%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 3人 (8.8%) 2人 (5.9%) 2人 (5.9%)	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 4人 (10.5%) 2人 (5.3%) 1人 (2.6%) 0人	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%) 13人 (5.1%) 5人 (2.0%) 13人 (5.1%) 8人 (3.1%)	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%) 9人 (7.8%) 4人 (3.5%) 8人 (7.0%) 9人	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (4.5%) 1人 (4.5%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報する必要がないため 詳しい制度の内容が分からないため 部の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため 通報(相談)したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため 通報(相談)したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため 通報(相談)したも、適切な調査や是正措置が行われると思えないため 公益通報対策委員会が信頼できるか不安であるため 実名による通報であるため 実名による通報であるため	危機管理課 の人 (0.0%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 1人 (14.3%) 0人 (14.3%)	総務部 36人 (36.4%) 16人 (16.2%) 8人 (8.1%) 10人 (7.1%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%) 7人 (7.1%) 4人 (4.0%)	企画部 27人 (43.5%) 10人 (16.1%) 3人 (4.8%) 6人 (9.7%) 4人 (6.5%) 5人 (8.1%) 3人 (4.8%) 1人 (1.6%) 3人 (4.8%) 0人	自治市民 部 22人 (42.3%) 9人 (17.3%) 0人 (0.0%) 5人 (9.6%) 4人 (7.7%) 0人 (0.0%) 6人 (11.5%) 1人 (1.9%)	健康福祉 部 33人 (42.3%) 16人 (20.5%) 9人 (11.5%) 3人 (3.8%) 2人 (2.6%) 4人 (5.1%) 3人 (3.8%)	118人 (48.2%) 50人 (20.4%) 24人 (9.8%) 17人 (6.9%) 12人 (4.9%) 5人 (2.0%) 6人 (2.4%) 9人 (3.7%) 4人 (1.6%) 0人	内、所属 経済産業 15人 (46.9%) 8人 (25.0%) 1人 (3.1%) 2人 (6.3%) 0人 (0.0%) 3人 (9.4%) 2人 (6.3%)	建設部 14人 (41.2%) 4人 (11.8%) 1人 (2.9%) 2人 (5.9%) 5人 (14.7%) 3人 (8.8%) 2人 (5.9%) 1人 (2.9%) 0人	環境水道 部 18人 (47.4%) 7人 (18.4%) 1人 (2.6%) 3人 (7.9%) 1人 (2.6%) 2人 (5.3%) 1人 (2.6%) 0人 (0.0%)	教育部 114人 (44.5%) 53人 (20.7%) 25人 (9.8%) 15人 (5.9%) 13人 (5.1%) 5人 (2.0%) 13人 (5.1%) 8人 (3.1%) 0人	消防本部 38人 (33.0%) 17人 (14.8%) 3人 (2.6%) 10人 (8.7%) 15人 (13.0%) 9人 (7.8%) 8人 (7.0%) 9人 (7.8%)	病院 9人 (40.9%) 8人 (36.4%) 2人 (9.1%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 1人 (4.5%) 0人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人

質問 14 職員課が公開している Pコール事例集を読んでいますか。(1つを選択) 【全員必須】

再発防止のための情報提供(ヒヤリ・ハット事例)について、「1度は読んだことがある」、「必要に応じて読み返している」と回答した職員が、

- ■全体では合わせて 66.7%となっている。
- ■任用形態では、「正規」が 88.9%であるが、「会計年度」は 39.1%に留まっている。
- ■年齢では、全ての年代で6割を上回り、職階では「管理職」が9割を超えている。
- ■所属では、「総務部」「企画部」「経済産業部」「建設部」が9割を上回り、他の所属より高くなっている。

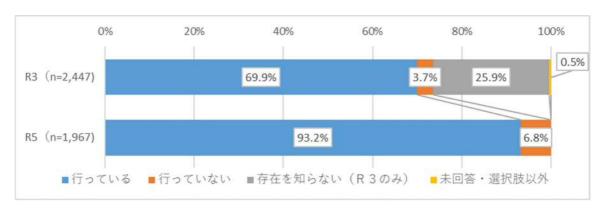


											※ () 内	は割合	
		F	内、任用形態	See			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	未回答	管理職	それ以外	未回答	
	607人	511人	96人	0人	57人	68人	142人	340人	0人	122人	485人	0人	
必要に応じて読み返している	(30.9%)	(46.9%)	(10.9%)	(0.0%)	(23.9%)	(29.1%)	(31.0%)	(32.8%)	(0.0%)	(67.0%)	(27.2%)	(0.0%)	
4	705人	457人	248人	0人	91人	106人	184人	324人	0人	56人	649人	0人	
1度は読んだことがある	(35.8%)	(42.0%)	(28.2%)	(0.0%)	(38.2%)	(45.3%)	(40.2%)	(31.2%)	(0.0%)	(30.8%)	(36.4%)	(0.0%)	
存在は知っているが、読んだ	155人	44人	111人	0人	29人	17人	30人	79人	0人	0人	155人	0人	
ことはない	(7.9%)	(4.0%)	(12.6%)	(0.0%)	(12.2%)	(7.3%)	(6.6%)	(7.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(8.7%)	(0.0%)	
存在を知らない	500人	77人	423人	0人	61人	43人	102人	294人	0人	4人	496人	0人	
行任を知りない	(25.4%)	(7.1%)	(48.2%)	(0.0%)	(25.6%)	(18.4%)	(22.3%)	(28.4%)	(0.0%)	(2.2%)	(27.8%)	(0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
水四日	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
H 81	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
	内、所属												
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民 部	健康福祉 部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
以悪に内じて註れてしている	8人	81人	60人	43人	55人	80人	29人	42人	49人	65人	77人	18人	0人
必要に応じて読み返している	(88.9%)	(51.9%)	(47.6%)	(34.4%)	(45.1%)	(17.8%)	(50.9%)	(47.2%)	(58.3%)	(12.9%)	(39.7%)	(36.0%)	(0.0%)
1度は読んだことがある	0人	60人	55人	51人	47人	149人	27人	39人	22人	156人	85人	14人	0人
一段は読んだことがめる	(0.0%)	(38.5%)	(43.7%)	(40.8%)	(38.5%)	(33.1%)	(47.4%)	(43.8%)	(26.2%)	(30.9%)	(43.8%)	(28.0%)	(0.0%)
存在は知っているが、読んだ	0人	5人	4人	11人	7人	59人	1人	3人	4人	46人	13人	2人	0人
ことはない	(0.0%)	(3.2%)	(3.2%)	(8.8%)	(5.7%)	(13.1%)	(1.8%)	(3.4%)	(4.8%)	(9.1%)	(6.7%)	(4.0%)	(0.0%)
存在を知らない	1人	10人	7人	20人	13人	162人	0人	5人	9人	238人	19人	16人	0人
11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	(11.1%)	(6.4%)	(5.6%)	(16.0%)	(10.7%)	(36.0%)	(0.0%)	(5.6%)	(10.7%)	(47.1%)	(9.8%)	(32.0%)	(0.0%)
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
天 <u>回答</u>	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
	(0.0%)	,	(0.0707	(0.0707	, ,,,,	(/0/	, ,,,	1					
合計	9人 (100%)	156人 (100%)	126人 (100%)	125人 (100%)	122人 (100%)	450人 (100%)	57人 (100%)	89人	84人 (100%)	505人 (100%)	194人 (100%)	50人 (100%)	0人(0%)

質問 15 各所属において事務処理マニュアルに則って事務を行っていますか。 (1つを選択)【全員必須】

事務処理マニュアルについて、

- ■全体では「行っている」が 93.2%となっている。
- ■年齢では、すべての年代で 90%を上回り、職階では「管理職」が 99.5%となっている。



※()内は割合

		F	内、任用形態	DES.			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
€ - T117	1,833人	1,062人	771人	0人	225人	221人	432人	955人	0人	181人	1,652人	70	
行っている	(93.2%)	(97.5%)	(87.8%)	(0.0%)	(94.5%)	(94.4%)	(94.3%)	(92.1%)	(0.0%)	(99.5%)	(92.5%)	(0.0%)	
行っていない	134人	27人	107人	0人	13人	13人	26人	82人	0人	1人	133人	0人	
行うていない	(6.8%)	(2.5%)	(12.2%)	(0.0%)	(5.5%)	(5.6%)	(5.7%)	(7.9%)	(0.0%)	(0.5%)	(7.5%)	(0.0%)	
存在を知らない	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
11 [[2 / 3 / 3 / 3]	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)		(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
選択肢以外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
2,7,00	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)		(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	, ,,,,	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
	内、所属												
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民 部	健康福祉 部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
行っている	9人	149人	122人	125人	117人	410人	54人	85人	82人	449人	184人	47人	0人
行っている	(100.0%)	(95.5%)	(96.8%)	(100.0%)	(95.9%)	(91.1%)	(94.7%)	(95.5%)	(97.6%)	(88.9%)	(94.8%)	(94.0%)	(0.0%)
行っていない	人0	7人	4人	0人	5人	40人	3人	4人	2人	56人	10人	3人	0人
1)) (0 %0 0	(0.0%)	(4.5%)	(3.2%)	(0.0%)	(4.1%)	(8.9%)	(5.3%)	(4.5%)	(2.4%)	(11.1%)	(5.2%)	(6.0%)	(0.0%)
存在を知らない	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
17 E E 744 5 644	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 117	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
選択肢以外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	,,	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)		(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
合計	9人	156人	126人	125人	122人	450人	57人	89人	84人	505人	194人	50人	0人
	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)

質問 16 (新) 不適切な事務処理等発生時の対応マニュアルを読んだことがありますか。 (1つを選択)【全員必須】

不適切な事務処理等発生時の対応マニュアルについて、

- ■「一度は読んだことがある」「必要に応じて読み返している」が 60.0%となっている。
- ■上記において、職階では「管理職」が89.6%と高くなっている。
- ■上記において、所属では「こども部」「教育部」が 50%未満で、他の所属より低くなっている。



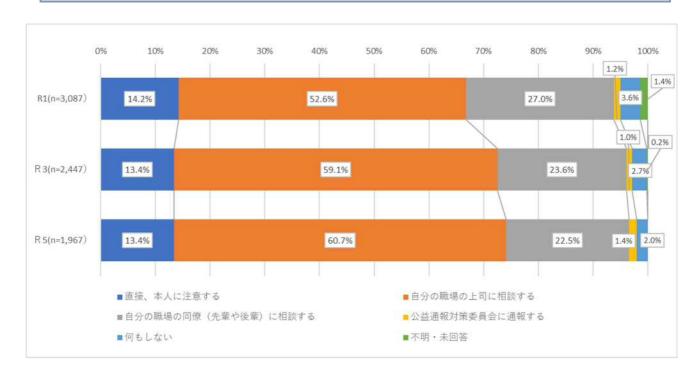
※()内は割合

		内、任用形態					内、年齢							
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答		
必要に応じて読み返している	326人	246人	80人	0人	33人	34人	73人	186人	0人	87人	239人	0人		
必要に心して述み返している	(16.6%)	(22.6%)	(9.1%)	(0.0%)	(13.9%)	(14.5%)	(15.9%)	(17.9%)	(0.0%)	(47.8%)	(13.4%)	(0.0%)		
1度は読んだことがある	854人	591人	263人	0人	105人	122人	221人	406人	0人	76人	778人	0人		
一度は訳んだことがある	(43.4%)	(54.3%)	(30.0%)	(0.0%)	(44.1%)	(52.1%)	(48.3%)	(39.2%)	(0.0%)	(41.8%)	(43.6%)	(0.0%)		
存在は知っているが、読んだ	298人	143人	155人	0人	52人	27人	58人	161人	0人	5人	293人	0人		
ことはない	(15.1%)	(13.1%)	(17.7%)	(0.0%)	(21.8%)	(11.5%)	(12.7%)	(15.5%)	(0.0%)	(2.7%)	(16.4%)	(0.0%)		
存在を知らない	489人	109人	380人	0人	48人	51人	106人	284人	0人	14人	475人	0人		
11 E E M 9 6 0	(24.9%)	(10.0%)	(43.3%)	(0.0%)	(20.2%)	(21.8%)	(23.1%)	(27.4%)	(0.0%)	(7.7%)	(26.6%)	(0.0%)		
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
<u>жа</u>	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)		
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人		
н п	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)		
		内、所属												
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民 部	健康福祉 部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答	
必要に応じて読み返している	4人	36人	32人	32人	26人	52人	16人	18人	26人	37人	41人	6人	0人	
必安に心して述み返している	(44.4%)	(23.1%)	(25.4%)	(25.6%)	(21.3%)	(11.6%)	(28.1%)	(20.2%)	(31.0%)	(7.3%)	(21.1%)	(12.0%)	(0.0%)	
1度は読んだことがある	4人	87人	67人	56人	61人	156人	34人	40人	42人	176人	104人	27人	人0	
一段は読んだことがある	(44.4%)	(55.8%)	(53.2%)	(44.8%)	(50.0%)	(34.7%)	(59.6%)	(44.9%)	(50.0%)	(34.9%)	(53.6%)	(54.0%)	(0.0%)	
存在は知っているが、読んだ	0人	19人	16人	16人	16人	89人	4人	23人	9人	71人	29人	6人	0人	
ことはない	(0.0%)	(12.2%)	(12.7%)	(12.8%)	(13.1%)	(19.8%)	(7.0%)	(25.8%)	(10.7%)	(14.1%)	(14.9%)	(12.0%)	(0.0%)	
存在を知らない	1人	14人	11人	21人	19人	153人	3人	8人	7人	221人	20人	11人	0人	
17年で知らない。	(11.1%)	(9.0%)	(8.7%)	(16.8%)	(15.6%)	(34.0%)	(5.3%)	(9.0%)	(8.3%)	(43.8%)	(10.3%)	(22.0%)	(0.0%)	
未回答	0人	人0	人0	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
↑ □ □	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	9人	156人	126人	125人	122人	450人	57人	89人	84人	505人	194人	50人	0人	
	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	

質問 17 あなたは、職場において、コンプライアンスの面で問題があるのではと思うこと(法令違反や公務員倫理からの逸脱)を目撃した場合、どのように行動すると思いますか。(1つを選択)【全員必須】

法令違反等を目撃した場合の行動について、

- ■全体では前回同様「自分の職場の上司に相談する」と回答した職員が最も多く、次いで「自分の職場の同僚に相談する」、「直接本人に注意する」となっている。
- ■職階の「管理職」では「直接、本人に注意する」と回答した職員が 58.8%であった のに対し、「それ以外」では「自分の職場の上司に相談する」が 63.5%と最も高い割合となっている。



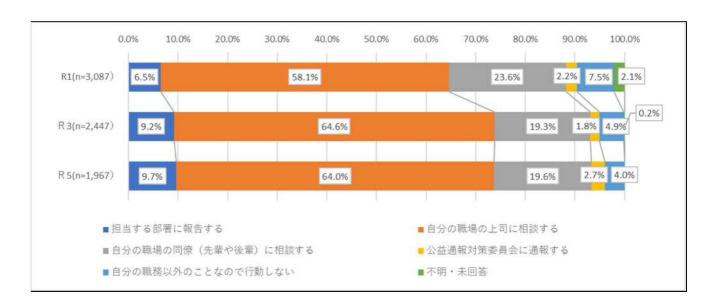
※()内は割合

		F	内、任用形態	E C			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
++ + 1» +++	264人	214人	50人	0人	9人	18人	47人	190人	0人	107人	157人	0人	
直接、本人に注意する	(13.4%)	(19.7%)	(5.7%)	(0.0%)	(3.8%)	(7.7%)	(10.3%)	(18.3%)	(0.0%)	(58.8%)	(8.8%)	(0.0%)	
自分の職場の上司に相談す	1,195人	634人	561人	0人	130人	136人	298人	631人	0人	61人	1,134人	0人	
る	(60.7%)	(58.2%)	(63.9%)	(0.0%)	(54.6%)	(58.1%)	(65.1%)	(60.8%)	(0.0%)	(33.5%)	(63.5%)	(0.0%)	
自分の職場の同僚(先輩や後	442人	203人	239人	0人	91人	73人	98人	180人	0人	10人	432人	0人	
輩)に相談する	(22.5%)	(18.6%)	(27.2%)	(0.0%)	(38.2%)	(31.2%)	(21.4%)	(17.4%)	(0.0%)	(5.5%)	(24.2%)	(0.0%)	
公益通報対策委員会に通報	27人	14人	13人	0人	2人	3人	2人	20人	0人	3人	24人	0人	
ム無過報が来を見去に過報	(1.4%)	(1.3%)	(1.5%)	(0.0%)	(0.8%)	(1.3%)	(0.4%)	(1.9%)	(0.0%)	(1.6%)	(1.3%)	(0.0%)	
F7 ± 1 ± 5 1 .	39人	24人	15人	70	6人	4人	13人	16人	0人	1人	38人	0人	
何もしない	(2.0%)	(2.2%)	(1.7%)	(0.0%)	(2.5%)	(1.7%)	(2.8%)	(1.5%)	(0.0%)	(0.5%)	(2.1%)	(0.0%)	
+6-W	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
複数回答	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
+	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
未回答	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
7.61	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
	内、所属												
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民 部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
直接、本人に注意する	4人	24人	24人	28人	18人	28人	15人	20人	22人	31人	45人	5人	0人
直接、本人に注意する	(44.4%)	(15.4%)	(19.0%)	(22.4%)	(14.8%)	(6.2%)	(26.3%)	(22.5%)	(26.2%)	(6.1%)	(23.2%)	(10.0%)	(0.0%)
自分の職場の上司に相談す	4人	96人	69人	76人	67人	307人	30人	52人	51人	315人	95人	33人	0人
3	(44.4%)	(61.5%)	(54.8%)	(60.8%)	(54.9%)	(68.2%)	(52.6%)	(58.4%)	(60.7%)	(62.4%)	(49.0%)	(66.0%)	(0.0%)
自分の職場の同僚(先輩や後	1人	28人	27人	20人	33人	107人	9人	13人	8人	143人	45人	8人	0人
輩)に相談する	(11.1%)	(17.9%)	(21.4%)	(16.0%)	(27.0%)	(23.8%)	(15.8%)	(14.6%)	(9.5%)	(28.3%)	(23.2%)	(16.0%)	(0.0%)
公益通報対策委員会に通報	0人	3人	4人	0人	3人	5人	1人	3人	0人	6人	2人	0人	0人
	(0.0%)	(1.9%)	(3.2%)	(0.0%)	(2.5%)	(1.1%)	(1.8%)	(3.4%)	(0.0%)	(1.2%)	(1.0%) 7人	(0.0%)	(0.0%)
何もしない	(0.0%)	(3.2%)	(1.6%)	(0.8%)	(0.8%)	(0.7%)	(3.5%)	(1.1%)	(3.6%)	(2.0%)	(3.6%)	(8.0%)	(0.0%)
	0.0%)	0人	0人	0.8%)	0.8%)	0.7%)	0人	0人	0人	0人	0人	0.0%)	0.0%)
複数回答	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
	0人	0.0%)	0.0/0/	0.0/0/	0.0707	0.0%)	0.0/0/	0.0/0/	0.0%)	0.0707	0.0%)	0.0/0/	0.0%)
未回答	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
A =1	9人	156人	126人	125人	122人	450人	57人	89人	84人	505人	194人	50人	0人
合計	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)

質問 18 あなたは、自分の職務以外において、不祥事や事件に発展する可能性のある情報を知り得たとき、どのように行動すると思いますか。 (1つを選択)【全員必須】

不祥事や事件に発展する可能性のある情報を知り得たときの行動について、

- ■全体では、前回同様、「職場の上司に相談する」と回答した職員が最も多く、次いで「職場の同僚に相談する」という結果であり、両方を合わせて回答割合は83.6%となっている。
- ■「自分の職務以外のことなので行動しない」と回答した職員については、4.0% で前回より 0.9 ポイント減少している。
- ■職階では、「管理職」で「担当する部署に報告する」と回答した割合が 39.0%で それ以外と比べて高い。



※()内は割合

		F	内、任用形態	8			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
担当する部署に報告する	190人 (9.7%)	143人 (13.1%)	47人 (5.4%)	0人 (0.0%)	13人 (5.5%)	7人 (3.0%)	39人 (8.5%)	131人 (12.6%)	0人 (0.0%)	71人 (39.0%)	119人 (6.7%)	0人(0.0%)	
自分の職場の上司に相談する	1,260人 (64.0%)	692人 (63.5%)	568人 (64.7%)	0人 (0.0%)	136人 (57.1%)	154人 (65.8%)	309人 (67.5%)	661人 (63.7%)	0人 (0.0%)	92人 (50.5%)	1,168人 (65.4%)	人0 (%0.0)	
自分の職場の同僚(先輩や後	386人	179人	207人	0人	76人	61人	81人	168人	0人	9人	377人	0人	
輩)に相談する 公益通報対策委員会に通報	(19.6%) 53人	(16.4%)	(23.6%) 19人	(0.0%)	(31.9%)	(26.1%)	(17.7%) 8人	(16.2%) 40人	(0.0%)	(4.9%)	(21.1%)	(0.0%)	
する自分の職務以外のことなので	(2.7%) 78人	(3.1%) 41人	(2.2%)	(0.0%)	(0.8%)	(1.3%) 9人	(1.7%) 21人	(3.9%)	(0.0%)	(3.8%)	(2.6%) 75人	(0.0%)	
行動しない 選択肢以外	(4.0%) 0人	(3.8%)	(4.2%)	(0.0%)	(4.6%) 0人	(3.8%)	(4.6%) 0人	(3.6%)	(0.0%)	(1.6%) 0人	(4.2%)	(0.0%)	
	(0.0%) 0人	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%) 0人	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%) 0人	(0.0%)	(0.0%) 0人	
未回答 	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
슴計	1,967人 (100%)	1,089人 (100%)	878人 (100%)	0人 (0%)	238人 (100%)	234人 (100%)	458人 (100%)	1,037人	0人 (0%)	182人 (100%)	1,785人	0人 (0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
担当する部署に報告する	2人 (22.2%)	21人 (13.5%)	18人 (14.3%)	17人 (13.6%)	14人 (11.5%)	27人 (6.0%)	7人 (12.3%)	10人 (11.2%)	11人 (13.1%)	32人 (6.3%)	22人 (11.3%)	9人 (18.0%)	0人 (0.0%)
自分の職場の上司に相談する	6人 (66.7%)	92人 (59.0%)	73人 (57.9%)	87人 (69.6%)	74人 (60.7%)	321人 (71.3%)	35人 (61.4%)	58人 (65.2%)	56人 (66.7%)	309人 (61.2%)	116人 (59.8%)	33人 (66.0%)	0人 (0.0%)
自分の職場の同僚(先輩や後 輩)に相談する	1人 (11.1%)	27人 (17.3%)	27人 (21.4%)	16人 (12.8%)	28人 (23.0%)	80人 (17.8%)	10人 (17.5%)	15人 (16.9%)	13人 (15.5%)	124人 (24.6%)	38人 (19.6%)	7人 (14.0%)	0人 (0.0%)
公益通報対策委員会に通報 する	0人 (0.0%)	6人 (3.8%)	5人 (4.0%)	3人 (2.4%)	4人 (3.3%)	10人 (2.2%)	2人 (3.5%)	3人 (3.4%)	1人 (1.2%)	14人 (2.8%)	5人 (2.6%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)
自分の職務以外のことなので 行動しない	0人 (0.0%)	10人 (6.4%)	3人 (2.4%)	2人 (1.6%)	2人 (1.6%)	12人 (2.7%)	3人 (5.3%)	3人 (3.4%)	3人 (3.6%)	26人 (5.1%)	13人 (6.7%)	1人 (2.0%)	0人 (0.0%)
選択肢以外	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
未回答	0人	0人 (0.0%)	0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0.0%)	0人(0.0%)	0人 (0.0%)	(0.0%)	0人(0.0%)	0人 (0.0%)
水四日	(0.0%)	(0.0%)	(0.0707	(0.0707	(0.0,0)	(0.070)	(0.0,0)	(/-/					
合計	(0.0%) 9人 (100%)	(0.0%) 156人 (100%)	126人 (100%)	125人 (100%)	122人 (100%)	450人 (100%)	57人 (100%)	89人	84人 (100%)	505人 (100%)	194人 (100%)	50人	0人(0%)

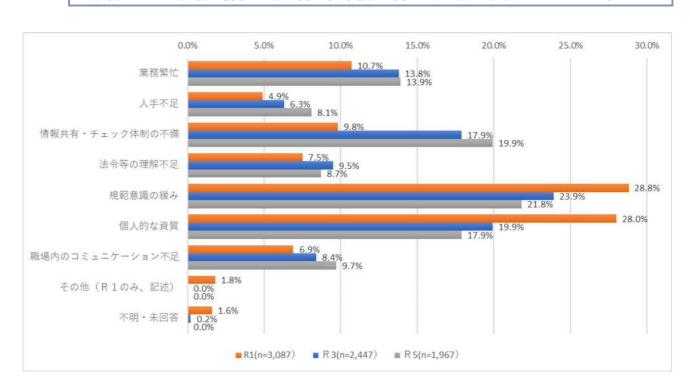
質問 19 あなたは、コンプライアンス上の問題が発生する一番の要因は何だと思いますか。(1 つを選択)【全員必須】

コンプライアンス上の問題が発生する一番の要因について、

■全体では前回同様「規範意識の緩み」と回答した職員が最も多く、次いで「情報共有・チェック体制の不備」「個人的な資質」という結果であり、上位3つを合わせて回答割合は 59.6%となっている。このうち、「情報共有・チェック体制の不備」が徐々に増加している一方、「規範意識の緩み」「個人的な資質」は減少傾向にある。

「業務繁忙」と答えた職員については、

- ■全体では13.9%となっている。
- ■年齢では「10歳・20歳代」が20.6%で、他の年代と比べ高い割合となっている。
- ■所属では「危機管理課」「企画部」「健康福祉部」の順で高い割合となっている。



分析表は次ページに掲載

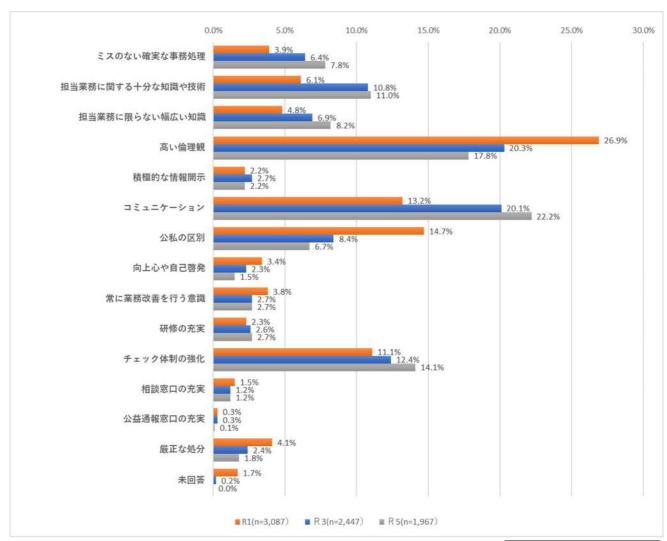
※()内は割合

		_	L /- C (A)	is.			(- 		
		P	内、任用形態	Ĕ.			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
業務繁忙	274人 (13.9%)	175人 (16.1%)	99人 (11.3%)	0人 (0.0%)	49人 (20.6%)	38人 (16.2%)	70人 (15.3%)	117人 (11.3%)	0人 (0.0%)	23人 (12.6%)	251人 (14.1%)	0人 (0.0%)	
人手不足	159人 (8.1%)	99人 (9.1%)	60人(6.8%)	0人 (0.0%)	28人 (11.8%)	20人 (8.5%)	45人 (9.8%)	66人 (6.4%)	0人(0.0%)	10人 (5.5%)	149人 (8.3%)	0人(0.0%)	
情報共有・チェック体制の不備	391人 (19.9%)	209人 (19.2%)	182人 (20.7%)	0人(0.0%)	52人 (21.8%)	44人 (18.8%)	93人 (20.3%)	202人 (19.5%)	0人(0.0%)	31人 (17.0%)	360人	0人(0.0%)	
法令等の理解不足	171人 (8.7%)	97人 (8.9%)	74人 (8.4%)	0.0%)	16人 (6.7%)	15人 (6.4%)	35人 (7.6%)	105人 (10.1%)	0.0%)	19人 (10.4%)	152人	0人(0.0%)	
規範意識の緩み	428人 (21.8%)	224人 (20.6%)	204人 (23.2%)	0人 (0.0%)	49人 (20.6%)	51人 (21.8%)	91人 (19.9%)	237人 (22.9%)	0人(0.0%)	42人 (23.1%)	386人	0人 (0.0%)	
個人的な資質	353人 (17.9%)	178人 (16.3%)	175人 (19.9%)	0人 (0.0%)	19人 (8.0%)	33人 (14.1%)	82人 (17.9%)	219人 (21.1%)	0人 (0.0%)	38人 (20.9%)	315人 (17.6%)	0人 (0.0%)	
職場内のコミュニケーション不足	191人 (9.7%)	107人 (9.8%)	84人 (9.6%)	0人(0.0%)	25人 (10.5%)	33人 (14.1%)	42人 (9.2%)	91人 (8.8%)	0人 (0.0%)	19人 (10.4%)	172人 (9.6%)	0人 (0.0%)	
複数選択	0人 (0.0%)	0.0%)	0.0%)	0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0.2%)	0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人	0.0%)	
未回答	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民 部	健康福祉 部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
業務繁忙	2人 (22.2%)	20人 (12.8%)	24人 (19.0%)	12人 (9.6%)	23人 (18.9%)	72人 (16.0%)	9人 (15.8%)	12人 (13.5%)	10人 (11.9%)	66人 (13.1%)	19人 (9.8%)	5人 (10.0%)	0人 (0.0%)
人手不足	1人 (11.1%)	13人 (8.3%)	6人 (4.8%)	6人 (4.8%)	20人 (16.4%)	43人 (9.6%)	6人 (10.5%)	13人 (14.6%)	4人 (4.8%)	37人 (7.3%)	8人 (4.1%)	2人 (4.0%)	0.0%)
情報共有・チェック体制の不 備	3人 (33.3%)	35人 (22.4%)	33人 (26.2%)	28人 (22.4%)	30人 (24.6%)	93人 (20.7%)	9人 (15.8%)	12人 (13.5%)	19人 (22.6%)	97人 (19.2%)	25人 (12.9%)	7人 (14.0%)	0人 (0.0%)
法令等の理解不足	1人 (11.1%)	16人 (10.3%)	5人 (4.0%)	13人 (10.4%)	13人 (10.7%)	27人 (6.0%)	7人 (12.3%)	11人 (12.4%)	9人 (10.7%)	45人 (8.9%)	18人 (9.3%)	6人 (12.0%)	0人 (0.0%)
規範意識の緩み	2人 (22.2%)	26人 (16.7%)	22人 (17.5%)	33人 (26.4%)	15人 (12.3%)	114人 (25.3%)	13人 (22.8%)	16人 (18.0%)	16人 (19.0%)	115人 (22.8%)	42人 (21.6%)	14人 (28.0%)	0人 (0.0%)
個人的な資質	0人 (0.0%)	29人 (18.6%)	23人 (18.3%)	23人 (18.4%)	11人 (9.0%)	62人 (13.8%)	9人 (15.8%)	18人 (20.2%)	16人 (19.0%)	104人 (20.6%)	53人 (27.3%)	5人 (10.0%)	0人 (0.0%)
職場内のコミュニケーション不足	0人 (0.0%)	17人 (10.9%)	13人 (10.3%)	10人 (8.0%)	10人 (8.2%)	39人 (8.7%)	4人 (7.0%)	7人 (7.9%)	10人 (11.9%)	41人 (8.1%)	29人 (14.9%)	11人 (22.0%)	0人 (0.0%)
複数選択	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)
未回答	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
合計	9人 (100%)	156人 (100%)	126人 (100%)	125人 (100%)	122人 (100%)	450人 (100%)	57人 (100%)	89人 (100%)	84人 (100%)	505人 (100%)	194人	50人 (100%)	0人 (0%)

質問 20 あなたは、コンプライアンス上の問題を発生させないようにするためには、何 が最も有効だと思いますか。(1つを選択)【全員必須】

コンプライアンス上の問題を発生させない有効策について、

- ■全体では、「コミュニケーション」と回答した職員が 22.2%で最も多く、次いで「高い倫理観」と回答した職員が 17.8%と多くなっている。このうち、「コミュニケーション」は増加傾向、「高い倫理観」は減少傾向にある。
- ■「50歳代以上」では「高い倫理観」と回答した割合が最も高いが、「10歳代・20歳代」「30歳代」「40歳代」では「コミュニケーション」と回答した割合が最も高くなっている。



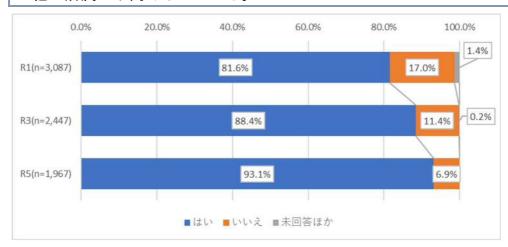
分析表は次ページに掲載

※()内は割合

		P	内、任用形態	900			内、年齢				※() 内 内、管理職	は割口	
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳・20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
ミスのない確実な事務処理	153人 (7.8%)	94人 (8.6%)	59人 (6.7%)	0人 (0.0%)	25人 (10.5%)	16人 (6.8%)	37人 (8.1%)	75人 (7.2%)	0人 (0.0%)	8人 (4.4%)	145人 (8.1%)	0人 (0.0%)	
担当業務に関する十分な知	216人	146人	70人	0人	26人	24人	50人	116人	0人	25人	191人	0人	
識や技術 担当業務に限らない幅広い	(11.0%) 162人	(13.4%) 92人	(8.0%)	(0.0%)	(10.9%) 17人	(10.3%) 16人	(10.9%) 43人	(11.2%) 86人	(0.0%)	(13.7%)	(10.7%) 142人	(0.0%)	
知識	(8.2%)	(8.4%)	(8.0%)	(0.0%)	(7.1%)	(6.8%)	(9.4%)	(8.3%)	(0.0%)	(11.0%)	(8.0%)	(0.0%)	
高い倫理観	350人 (17.8%)	189人 (17.4%)	161人 (18.3%)	0人 (0.0%)	24人 (10.1%)	28人 (12.0%)	73人 (15.9%)	225人 (21.7%)	人0 (%0,0)	50人 (27.5%)	300人 (16.8%)	0人(0.0%)	
積極的な情報開示	43人 (2.2%)	16人 (1.5%)	27人 (3.1%)	0.0%) (0.0%)	5人 (2.1%)	4人 (1.7%)	10人 (2.2%)	24人(2.3%)	0.0%) (0.0%)	3人 (1.6%)	40人	0.0%) (0.0%)	
コミュニケーション	437人	250人	187人	0人	71人	68人	97人	201人	0人	42人	395人	0人	
	(22.2%) 132人	(23.0%) 66人	(21.3%) 66人	(0.0%)	(29.8%) 15人	(29.1%) 15人	(21.2%) 39人	(19.4%) 63人	(0.0%) 0人	(23.1%) 6人	(22.1%) 126人	(0.0%) 0人	
公私の区別	(6.7%)	(6.1%)	(7.5%)	(0.0%)	(6.3%)	(6.4%)	(8.5%)	(6.1%)	(0.0%)	(3.3%)	(7.1%)	(0.0%)	
向上心や自己啓発	29人	10人	19人	0人 (0.0%)	2人 (0.8%)	4人 (1.7%)	7人	16人	0人 (0.0%)	2人	27人	人0 (%0.0)	
	(1.5%) 53人	(0.9%)	(2.2%)	(0.0%)	(0.8%)	7人	(1.5%) 11人	(1.5%) 27人	(0.0%)	(1.1%)	(1.5%)	(0.0%)	
常に業務改善を行う意識	(2.7%)	(1.7%)	(3.9%)	(0.0%)	(3.4%)	(3.0%)	(2.4%)	(2.6%)	(0.0%)	(0.0%)	(3.0%)	(0.0%)	
研修の充実	54人	24人	30人	0人	5人	7人	12人	30人	0人	2人	52人	0人	
チェック体制の強化	(2.7%) 277人	(2.2%)	(3.4%)	(0.0%)	(2.1%)	(3.0%)	(2.6%)	(2.9%)	(0.0%)	(1.1%) 19人	(2.9%)	(0.0%)	
ナエック体制の強化	(14.1%) 24人	(13.8%) 8人	(14.5%) 16人	(0.0%)	(12.2%) 5人	(15.8%) 4人	(14.0%) 3人	(14.2%) 12人	(0.0%) 0人	(10.4%) 0人	(14.5%) 24人	(0.0%) 0人	
相談窓口の充実	(1.2%)	(0.7%)	(1.8%)	(0.0%)	(2.1%)	(1.7%)	(0.7%)	(1.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(1.3%)	(0.0%)	
公益通報窓口の充実	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	
五亜地板心口の元夫	(0.1%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.0%)	
厳正な処分	36人 (1.8%)	24人 (2.2%)	12人 (1.4%)	0人(0.0%)	6人 (2.5%)	4人 (1.7%)	12人 (2.6%)	14人 (1.4%)	0人 (0.0%)	5人 (2.7%)	(1.7%)	0.0%)	
複数選択	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
授蚁选扒	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
未回答	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0人 (0.0%)	0人(0.0%)	人0(%)	0人(0.0%)	0人(%)	0.0%)	0人(0.0%)	0.0%)	
4.51	1,967人	1,089人	878人	0.0/0/	238人	234人	458人	1,037人	0.070	182人	1,785人	0.0707	
合計	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
	(100%)	(100%)	(100%)			,,	(100%)	(100%)		(100%)	(100%)	(0%)	
選択肢	(100%)	(100%)	(100%)	(0%) 自治市民 部	(100%) 健康福祉部	,,	, ,,,,	(100%)	(0%) 環境水道 部	教育部	(100%)	病院	未回答
	,,	,,		自治市民	健康福祉	,,	内、所属経済産業		環境水道	,,	,		未回答 0人 (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知	危機管理課 0人 (0.0%) 1人	総務部 15人 (9.6%) 23人	企画部 21人 (16.7%) 24人	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人	こども部 38人 (8.4%) 34人	内、所属 経済産業 部 8人 (14.0%) 9人	建設部 7人 (7.9%) 13人	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人	教育部 27人 (5.3%) 47人	消防本部 9人 (4.6%) 17人	病院 1人 (2.0%) 5人	0人 (0.0%) 0人
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知 識や技術	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (11.1%)	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%)	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%)	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%)	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人 (15.6%)	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%)	内、所属 経済産業 部 8人 (14.0%) 9人 (15.8%)	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%)	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%)	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%)	病院 1人 (2.0%) 5人 (10.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (11.1%) 0人 (0.0%)	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%)	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%)	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%)	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%)	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%)	内、所属 経済産業 部 8人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%)	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%)	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%)	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%)	病院 1人 (2.0%) 5人 (10.0%) 5人 (10.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知 識や技術 担当業務に限らない幅広い	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (11.1%) 0人	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%)	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人 (15.6%)	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人	内、所属 経済産業 部 8人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人	病院 1人 (2.0%) 5人 (10.0%) 5人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
選択肢 選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (11.1%) 0人 (0.0%) 2人	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人	内、所属 経済産業 8人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人	病院 1人 (2.0%) 5人 (10.0%) 5人 (10.0%)	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知 識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観	危機管理課	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) 0人 (0.0%) 30人	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 0人 (0.0%) 28人	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 29人 (23.2%) 2人 (1.6%) 22人	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 0人 (0.0%) 32人	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 18人 (4.0%)	内、所属 経済産業 部 8 人 (14.0%) (15.8%) 6 人 (10.5%) 8 人 (14.0%) 2 人 (3.5%) 10 人	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 1人 (1.1%) 15人	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 1人 (1.2%) 17人	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 16人 (3.2%) 107人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 3人 (1.5%) 52人	病院 1人 (2.0%) 5人 (10.0%) 5人 (10.0%) 8人 (16.0%) 0人 (0.0%) 15人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知 識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観 積極的な情報開示	危機管理課	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) (0.0%) 30人 (19.2%) 9人	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 28人 (20.0%) 28人	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (23.2%) 21.6%) 22人 (17.6%) 8人	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 0人 (0.0%) 32人 (26.2%) 7人	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人	内、所属 経済産業 38 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 10人 (3.5%) 10人 (17.5%) 10人	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 15人 (1.1%) 6人	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 17人 (20.2%) 5人	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 107人 (21.2%) 40人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 8人(16.0%) 15人(30.0%) 2人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (11.1%) 0人 (0.0%) 2人 (0.0%) 3人 (0.0%) 3人 (33.3%) 0人 (0.0%)	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) (0.0%) 30人 (19.2%) 9人 (5.8%)	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 0人 (0.0%) 28人 (22.2%) 5人 (4.0%)	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (23.2%) 21.6%) 22人 (17.6%) 8人 (6.4%)	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 0人 (0.0%) 32人 (26.2%) 7人 (5.7%)	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人 (8.2%)	内、所属 経済産業 38人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 10人 (17.5%) 10人 (17.5%) 10人 (17.8%)	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 15人 (16.9%) 6人 (6.7%)	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 10 (20.2%) 5人 (6.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 107人 (21.2%) 40人 (7.9%)	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%)	病院 1人 (2.0%) 5人 (10.0%) 5人 (10.0%) 8人 (16.0%) 0人 (0.0%) 15人 (30.0%) 2人 (4.0%)	0 人 (0.0%) 0 人 (0.0%) 0 人 (0.0%) 0 人 (0.0%) 0 人 (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション	危機管理課 0人 (0.0%) 1人 (11.1%) 0人 (0.0%) 2人 (0.0%) 3人 (33.3%) 0人	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) (0.0%) 30人 (19.2%) 9人	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 28人 (20.0%) 28人	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (23.2%) 21.6%) 22人 (17.6%) 8人	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 0人 (0.0%) 32人 (26.2%) 7人	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人	内、所属 経済産業 38 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 10人 (3.5%) 10人 (17.5%) 10人	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 15人 (1.1%) 6人	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 17人 (20.2%) 5人	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 107人 (21.2%) 40人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 8人(16.0%) 15人(30.0%) 2人	0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別	危機管理課	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) (0.0%) 30人 (19.2%) (5.8%) 0人 (0.0%)	企画部 21人(16.7%) 24人(19.0%) 8人(6.3%) 15人(11.9%) 28人(20.2%) (40.0%) 0人(0.0%) 2人	自治市民 37人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (1.6%) 22人 (17.6%) 22人 (17.6%) 2人 (1.6%) 5人	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 32人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%)	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人 (8.2%) 9人 (2.0%)	内、所属 経済産業 8 人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 10人 (17.5%) 1人 (1.8%) 1人	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 15人 (1.1%) 6人 (6.7%) 2人 (2.2%)	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 17人 (20.2%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 107人 (21.2%) 40人 (7.9%) 7人 (1.4%) 20人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%)	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発	危機管理課	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) 30人 (19.2%) 9人 (5.8%) 0人 (0.0%) 2人 (1.3%)	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 28人 (22.2%) 5人 (4.0%) 0人 (0.0%) 2人 (1.6%)	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (1.6%) 22人 (17.6%) 8人 (6.4%) 2人 (1.6%)	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 0人 (0.0%) 32人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%)	コピも部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%)	内、所属 経済産業 8 人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 10人 (17.5%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 15人 (16.9%) 6人 (6.7%) 2人 (2.2%) 1人 (1.1%)	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 0人	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 107人 (21.2%) 40人 (7.9%) 7人 (1.4%) 20人 (4.0%)	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%)	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(0.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発	危機管理課	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) (0.0%) 30人 (19.2%) (5.8%) 0人 (0.0%)	企画部 21人(16.7%) 24人(19.0%) 8人(6.3%) 15人(11.9%) 28人(20.2%) (40.0%) 0人(0.0%) 2人	自治市民 37人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (1.6%) 22人 (17.6%) 22人 (17.6%) 2人 (1.6%) 5人	健康福祉 部 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 32人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%)	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人 (8.2%) 9人 (2.0%)	内、所属 経済産業 8 人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 10人 (17.5%) 1人 (1.8%) 1人	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 15人 (1.1%) 6人 (6.7%) 2人 (2.2%)	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 17人 (20.2%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 107人 (21.2%) 40人 (7.9%) 7人 (1.4%) 20人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%)	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識	危機管理課 O人 (0.0%) 1人 (11.1%) O人 (0.0%) 2人 (22.2%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (2.0.5%) 0人 (0.0%) 30人 (19.2%) 9人 (5.8%) 0人 (1.3%) 6人 (3.8%)	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) (11.9%) 0人 (20.2%) 5人 (4.0%) 0人 (0.0%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 20人	自治市民 部 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 22人 (1.6%) 22人 (17.6%) 8人 (6.4%) 2人 (1.6%) 4人 (4.0%) 4人 (3.2%)	健康福祉 第 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) (0.0%) 32人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) (0.8%) 2人 (1.6%) 20人	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 18人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人 (8.2%) 9人 (2.0%) 16.6%) 8人 (1.8%) 8人 (1.8%)	内、所属 経済産業 部 8人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 2人 (14.0%) 2人 (17.5%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%)	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 6人 (16.9%) 6人 (6.7%) 2人 (2.2%) 1人 (1.1%) 9人	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 16人 (3.2%) 107人 (21.2%) 40人 (7.9%) 7人 (1.4%) 20人 (4.0%) 22人 (4.4%) 66人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 3人 (19.1%) 3人 (15.8) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人	病院 1人 (2.0%) 5人 (10.0%) 5人 (10.0%) 6人 (10.0%) 2人 (4.0%) 15人 (2.0%) 1人 (2.0%) 2人 (4.0%) 6人	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実 チェック体制の強化	危機管理課 O人 (0.0%) 1人 (11.1%) O人 (22.2%) O人 (0.0%) 3人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (1.1%) O人 (22.2%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%)	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (20.5%) (20.5%) (0.0%) 32人 (19.2%) 9人 (5.8%) 0人 (0.0%) 2人 (1.3%) 6人 (3.8%) 17人 (10.9%)	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 5人 (0.0%) 22人 (4.0%) 0人 (0.6%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 0人	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (23.2%) (1.6%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (17.6%)	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%) 2人 (1.6%) 2人 (16.4%)	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人 (8.2%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 6人 (14.4%)	内、所属 経済産業 8人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 10.0 (17.5%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%)	建設部	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 16人 (3.2%) 107人 (21.2%) 40人 (7.9%) 7人 (1.4%) 20人 (4.0%) 22人 (4.4%) 66人 (13.1%) 7人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 3人 (1.5%) 3人 (1.5%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (1.5%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 3人 (2.1%) 3人 3人 (2.1%) 3人	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(0.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 6人(12.0%) 1人	○人 (0.0%) ○ (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実	危機管理課 O人 (0.0%) 1人 (11.1%) O人 (22.2%) O人 (0.0%) 3人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (1.1%) O人 (1.1%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%)	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) 0人 (0.0%) 9人 (5.8%) 0人 (1.3%) 6人 (3.8%) 17人 (10.9%) 4人 (2.6%)	企画部 21人(16.7%) 24人(19.0%) 8人(6.3%) 15人(11.9%) 5人(0.0%) 28人(4.0%) 0人(0.0%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 2人(1.5%) 2人(0.0%)	自治市民 37人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (1.6%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (17.6%)	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%) 2人 (1.6%) 2人 (16.4%) (16.4%) 1人 (0.8%)	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人 (8.2%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 65人 (14.4%) 6人 (14.4%)	内、所属 経済産業 8 人 (14.0%) 9 人 (15.8%) 6 人 (10.5%) 8 人 (14.0%) 1 人 (14.0%) 1 人 (1.8%) 1 人 (1.8%) 1 人 (1.8%) 1 人 (1.8%) 0 人 (1.8%) 0 人 (0.0%)	建設部	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 12人 (1.2%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 16人 (3.2%) 40人 (7.9%) 7人 (1.4%) 20人 (4.0%) 22人 (4.4%) 66人 (13.1%) 7人 (1.4%)	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 3人 (1.5%) 3人 (1.5%)	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(0.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 6人(12.0%) 1人(2.0%)	○人 (0.0%) ○ (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実 チェック体制の強化	危機管理課 O人 (0.0%) 1人 (11.1%) O人 (22.2%) O人 (0.0%) 3人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (1.1%) O人 (22.2%) O人 (0.0%) O人 (0.0%) O人 (0.0%)	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (20.5%) (20.5%) (0.0%) 32人 (19.2%) 9人 (5.8%) 0人 (0.0%) 2人 (1.3%) 6人 (3.8%) 17人 (10.9%)	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 5人 (0.0%) 22人 (4.0%) 0人 (0.6%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 0人	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (23.2%) (1.6%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (17.6%)	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%) 2人 (1.6%) 2人 (16.4%)	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 37人 (8.2%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 6人 (14.4%)	内、所属 経済産業 8人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 10.0 (17.5%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%)	建設部	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 5人 (6.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 16人 (3.2%) 107人 (21.2%) 40人 (7.9%) 7人 (1.4%) 20人 (4.0%) 22人 (4.4%) 66人 (13.1%) 7人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 3人 (1.5%) 3人 (1.5%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (1.5%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 (2.1%) 3人 3人 (2.1%) 3人 3人 (2.1%) 3人	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(0.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 6人(12.0%) 1人	○人 (0.0%) ○ (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0.0%) (0
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実 チェック体制の強化 相談窓口の充実	危機管理課	総務部 15人(9.6%) 23人 (14.7%) 13人(8.3%) 32人(20.5%) 30人(19.2%) 9人(5.8%) 0人(1.3%) 6人(3.8%) 17人(10.9%) 4人(2.6%) 0人(0.0%)	企画部 21人(16.7%) 24人(19.0%) 8人(6.3%) 15人(11.9%) 28人(20.2%) 5人(4.0%) 0人(0.0%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 0人(0.0%) 1人	自治市民 37人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (1.6%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (17.6%) 21人 (4.0%) 4人 (3.2%) 21人 (17.6%) 11人 (17.6%) 21 (17.6%) 2	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 32人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%) 2人 (1.6%) 20人 (16.4%) 0人 (0.8%) 0人 (0.8%)	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 65人 (14.4%) 0人 (1.3%) 0人	内、所属	建設部	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 5人 (20.2%) 5人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 12人 (14.3%) 12人 (14.3%) 12人 (12.2%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 16人 (3.2%) 107人 (21.2%) 7人 (1.4%) 20人 (4.0%) 22人 (4.4%) 66人 (13.1%) 0人 (1.4%) 0人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (26.8%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 0.21%) 0.2	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(2.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 6人(12.0%) 1人(2.0%) 3人	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実 チェック体制の強化 相談窓口の充実 公益通報窓口の充実	危機管理課	総務部 15人(9.6%) 23人 (14.7%) 13人(8.3%) 32人(20.5%) 30人(19.2%) 9人(5.8%) 0人(19.2%) 6人(1.3%) 6人(1.3%) 6人(10.9%) 17人(10.9%) 4人(2.6%) 0人(0.0%)	企画部 21人(16.7%) 24人(19.0%) 8人(6.3%) 15人(11.9%) 28人(20.2%) 5人(4.0%) 0人(0.0%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 0人(0.0%) 1人(0.0%)	自治市民 37人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (1.6%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 21人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 21人 (17.6%) 21 (17.6%) 21 (17.6%)	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 3.2人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%) 2人 (1.6%) 20人 (16.4%) 0人 (0.0%) 0.0% 0	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 65人 (14.4%) 0人 (1.3%) 0人 (0.0%)	内、所属 経済産業 8 人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 8人 (14.0%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 15人 (16.9%) 6人 (6.7%) 2人 (2.2%) 1人 (1.1%) 2人 (1.1%) 0人 (10.1%) 0人 (10.1%) 0人 (1.1%) 0人 (5.6%)	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 5人 (20.2%) 5人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 12人 (14.3%) 12人 (14.3%) 12人 (12.2%) 2人 (2.2%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 16人 (3.2%) 107人 (21.2%) 7人 (1.4%) 20人 (4.0%) 22人 (4.4%) 66人 (13.1%) 0人 (1.4%) 0人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 0.2(1.5%)	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(2.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 6人(12.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 3人(6.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実 チェック体制の強化 相談窓口の充実 公益通報窓口の充実	危機管理課	総務部 15人(9.6%) 23人 (14.7%) 13人(8.3%) 32人(20.5%) 30人(19.2%) 9人(5.8%) 0人(1.3%) 6人(3.8%) 17人(10.9%) 4人(2.6%) 0人(0.0%)	企画部 21人(16.7%) 24人(19.0%) 8人(6.3%) 15人(11.9%) 28人(20.2%) 5人(4.0%) 0人(0.0%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 2人(1.6%) 0人(0.0%) 1人	自治市民 37人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 29人 (1.6%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (17.6%) 21人 (4.0%) 4人 (3.2%) 21人 (17.6%) 11人 (17.6%) 21 (17.6%) 2	健康福祉 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 32人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%) 2人 (1.6%) 20人 (16.4%) 0人 (0.8%) 0人 (0.8%)	38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 65人 (14.4%) 0人 (1.3%) 0人	内、所属	建設部	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 5人 (20.2%) 5人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 12人 (14.3%) 12人 (14.3%) 12人 (12.2%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 95人 (18.8%) 16人 (3.2%) 107人 (21.2%) 7人 (1.4%) 20人 (4.0%) 22人 (4.4%) 66人 (13.1%) 0人 (1.4%) 0人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 52人 (26.8%) 12人 (26.8%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 0.21%) 0.2	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(2.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 6人(12.0%) 1人(2.0%) 3人	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実 チェック体制の強化 相談窓口の充実 公益通報窓口の充実 厳正な処分 複数選択	危機管理課 O人 (0.0%) 1人 (11.1%) 0人 (2.2.2%) 0人 (0.0%) 3人 (33.3%) 0人 (0.0%) 0人 (11.1%) 0人 (0.0%) 0人	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 32人 (20.5%) 0人 (0.0%) 30人 (19.2%) 0人 (0.0%) 2人 (1.3%) 6人 (3.8%) 17人 (10.9%) 4人 (2.6%) 0人 (2.6%)	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 0人 (0.0%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 22人 (1.6%) 22人 (1.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (1.7.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (1.7.6%) 5人 (4.0%) 1人 (0.8%) 0人 (0.8%)	健康福祉 第 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 0人 (26.2%) 32人 (26.2%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%) 2人 (1.6%) 20人 (16.4%) 0人 (0.0%) 0人	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 65人 (1.4%) 6人 (1.3%) 0人 (0.0%)	内、所属 経済産業 8 人 (14.0%) 9 人 (15.8%) 6 人 (10.5%) 8 人 (14.0%) 2 人 (3.5%) 10人 (17.5%) 1 人 (1.8%) 1 人 (1.8%) 1 人 (1.8%) 0 人 (0.0%) 0 人	建設部	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 17人 (20.2%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 12人 (1.4%) 0人 (0.0%) 12人 (0.0%) 12人 (0.0%)	教育部 27人(5.3%) 47人(9.3%) 44人(8.7%) 95人(18.8%) 16人(3.2%) 107人(21.2%) 40人(7.9%) 20人(4.0%) 22人(4.4%) 66人(13.1%) 7人(1.4%) 0人(0.0%) 7人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 3人 (15%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 29人 (1.5%) 29人 (1.5%) 0人 0.0%) 8人 (4.1%)	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(2.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 0人(0.0%) 3人(0.0%) 0人	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実 チェック体制の強化 相談窓口の充実 公益通報窓口の充実	危機管理課 O人 (0.0%) 1人 (11.1%) O人 (2.2.2%) O人 (22.2%) O人 (0.0%) 3人 (33.3%) O人 (0.0%) O人	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 0人 (20.5%) 0人 (19.2%) 9人 (5.8%) (0.0%) 2人 (1.3%) 6人 (3.8%) 17人 (10.9%) 4人 (2.6%) 0人 (0.0%) 5人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0.0% 0.	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 0人 (20.2%) 5人 (4.0%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 22人 (1.6%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%) 0人	健康福祉 第 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 0人 (26.2%) 7人 (5.7%) 32人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.0%) 20人 (16.4%) 1人 (0.0%) 0.0% 0.0%	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 18人 (4.0%) 106人 (23.6%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 65人 (1.4%) 6人 (1.3%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	内、所属 経済産業 8 人 (14.0%) 9 人 (15.8%) 6人 (10.5%) 10.5% 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	建設部 7人 (7.9%) 13人 (14.6%) 10人 (11.2%) 17人 (19.1%) 15人 (1.1%) 2人 (2.2%) 1人 (1.1%) 2人 (2.2%) 1人 (1.1%) 0人 (1.1%) 0人 (0.0%) 5人 (5.6%) 0人 (0.0%)	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 1人 (1.2%) 0人 (0.0%) 12人 (1.4.3%) 0人 (1.2%) 2人 (2.4%) 0人 (0.0%)	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 16人 (18.8%) 16人 (21.2%) 40人 (7.9%) 7人 (1.4%) 22人 (4.4%) 66人 (13.1%) 7人 (1.4%) 0人 (0.0%) 7人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 37人 (19.1%) 3人 (1.5%) 12人 (26.8%) 12人 (21%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 29人 (1.4%) (1.5%) 0人 (0.0%) 8人 (4.1%) 0人 (0.0%)	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(2.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 0人(2.0%) 0人(0.0%) 6人(0.0%) 0人(0.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)
選択肢 ミスのない確実な事務処理 担当業務に関する十分な知識や技術 担当業務に限らない幅広い 知識 高い倫理観 積極的な情報開示 コミュニケーション 公私の区別 向上心や自己啓発 常に業務改善を行う意識 研修の充実 チェック体制の強化 相談窓口の充実 公益通報窓口の充実 厳正な処分 複数選択	危機管理課 O人 (0.0%) 1人 (11.1%) O人 (2.2.2%) O人 (0.0%) 3人 (33.3%) O人 (0.0%) O人	総務部 15人 (9.6%) 23人 (14.7%) 13人 (8.3%) 0人 (20.5%) 0人 (19.2%) 9人 (5.8%) 0人 (1.3%) 6人 (3.8%) 17人 (10.9%) 4人 (2.6%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0.0% 0.0	企画部 21人 (16.7%) 24人 (19.0%) 8人 (6.3%) 15人 (11.9%) 0人 (0.0%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%)	自治市民 部 7人 (5.6%) 11人 (8.8%) 11人 (8.8%) 2人 (1.6%) 2人 (1.6%) 5人 (4.0%) 4人 (3.2%) 22人 (17.6%) 5人 (4.0%) 1人 (0.8%) 0人 (0.0%) 0人	健康福祉 第 9人 (7.4%) 19人 (15.6%) 12人 (9.8%) 16人 (13.1%) 0人 (26.2%) 7人 (5.7%) 3人 (2.5%) 1人 (0.8%) 2人 (1.6%) 20人 (1.6%) 0人 (0.0%) 0人 0.0%) 0.0%) 0.0%)	こども部 38人 (8.4%) 34人 (7.6%) 35人 (7.8%) 74人 (16.4%) 106人 (23.6%) 9人 (2.0%) 16人 (3.6%) 8人 (1.8%) 65人 (1.4%) (0.0%) 0人 (0.0%)	内、所属 経済産業 部 8人 (14.0%) 9人 (15.8%) 6人 (10.5%) 10人 (17.5%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 1人 (1.8%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 0人	建設部	環境水道 部 11人 (13.1%) 13人 (15.5%) 5人 (6.0%) 17人 (20.2%) 1人 (20.2%) 0人 (0.0%) 0人 (0.0%) 12人 (1.4.3%) 0人 (1.2%) 2人 (2.4%) 0人	教育部 27人 (5.3%) 47人 (9.3%) 44人 (8.7%) 16人 (3.2%) 107人 (21.2%) 107人 (21.2%) 20人 (4.0%) 22人 (4.4%) 66人 (13.1%) 7人 (1.4%) 0人 (0.0%) 7人	消防本部 9人 (4.6%) 17人 (8.8%) 13人 (6.7%) 3人 (15%) 52人 (26.8%) 12人 (6.2%) 4人 (2.1%) 4人 (2.1%) 3人 (1.5%) 29人 (1.5%) 29人 (1.5%) 0人 (0.0%) 8人 (4.1%)	病院 1人(2.0%) 5人(10.0%) 5人(10.0%) 8人(16.0%) 0人(2.0%) 15人(30.0%) 2人(4.0%) 1人(2.0%) 1人(2.0%) 0人(2.0%) 0人(0.0%) 0人(0.0%) 0人(0.0%)	0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%) 0 \(\) (0.0%)

5 仕事に対する意識についてお伺いします。

- 質問 21 あなたは、公務内外を問わず、高い倫理観を持って行動することができている と思いますか。(選択)【全員必須】
 - ■全体では93.1%の職員が「はい」と肯定的な回答で、前回よりさらに4.7 ポイント増加している。
 - ■任用形態別、年齢別ともに肯定的な回答割合の差は小さいが、職階別では「管理職」の肯定的な回答割合が96.2%と高くなっている。
 - ■所属では「自治市民部」「こども部」において肯定的な回答割合が 95%を超え、 他の所属より高くなっている。

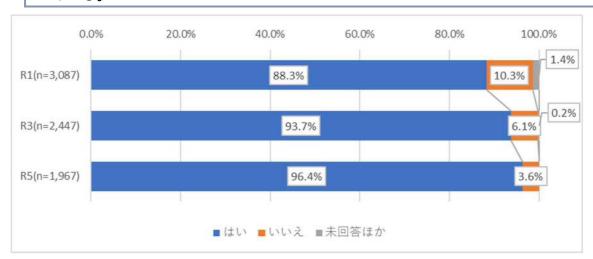


※()内は割合

				内、年齢				内、管理職					
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以	未回答	管理職	それ以外	未回答	
はい	1,831人	1,006人	825人	0人	220人	219人	423人	969人	0人	175人	1,656人	0人	
140,	(93.1%)	(92.4%)	(94.0%)	(0.0%)	(92.4%)	(93.6%)	(92.4%)	(93.4%)	(0.0%)	(96.2%)	(92.8%)	(0.0%)	
いいえ	136人	83人	53人	0人	18人	15人	35人	68人	0人	7人	129人	0人	
U.U.Y.	(6.9%)	(7.6%)	(6.0%)	(0.0%)	(7.6%)	(6.4%)	(7.6%)	(6.6%)	(0.0%)	(3.8%)	(7.2%)	(0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
不 固合	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
合計	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
日前	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業 部	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
はい	8人	146人	119人	122人	113人	435人	52人	82人	77人	468人	164人	45人	0人
140,	(88.9%)	(93.6%)	(94.4%)	(97.6%)	(92.6%)	(96.7%)	(91.2%)	(92.1%)	(91.7%)	(92.7%)	(84.5%)	(90.0%)	(0.0%)
いいえ	1人	10人	7人	3人	9人	15人	5人	7人	7人	37人	30人	5人	0人
0.0.7	(11.1%)	(6.4%)	(5.6%)	(2.4%)	(7.4%)	(3.3%)	(8.8%)	(7.9%)	(8.3%)	(7.3%)	(15.5%)	(10.0%)	(0.0%)
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	70
↑問告	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
合計	9人	156人	126人	125人	122人	450人	57人	89人	84人	505人	194人	50人	0人

質問 22 あなたは、法令等に基づいて、正確な仕事をすることができていると思いますか。(選択)【全員必須】

- ■全体では96.4%の職員が「はい」と肯定的な回答で、前回より2.7 ポイント増加 している。
- ■任用形態別、年齢別、職階別ともに、肯定的な回答割合は 95%以上と高くなっている。



※ () 内は割合

		-	も た田形会	ь									
		ŀ	内、任用形態	5			内、年齢				内、管理職		
選択肢	回答者数	正規	会計年度	未回答	10歳·20 歳代	30歳代	40歳代	50歳代以 上	未回答	管理職	それ以外	未回答	
1413	1,897人	1,041人	856人	0人	226人	224人	441人	1,006人	0人	179人	1,718人	0人	
はい	(96.4%)	(95.6%)	(97.5%)	(0.0%)	(95.0%)	(95.7%)	(96.3%)	(97.0%)	(0.0%)	(98.4%)	(96.2%)	(0.0%)	
=	70人	48人	22人	0人	12人	10人	17人	31人	0人	3人	67人	0人	
いいえ	(3.6%)	(4.4%)	(2.5%)	(0.0%)	(5.0%)	(4.3%)	(3.7%)	(3.0%)	(0.0%)	(1.6%)	(3.8%)	(0.0%)	
未回答	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
不凹台	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	
△ =⊥	1,967人	1,089人	878人	0人	238人	234人	458人	1,037人	0人	182人	1,785人	0人	
合計	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(0%)	(100%)	(100%)	(0%)	
							内、所属						
選択肢	危機管理課	総務部	企画部	自治市民部	健康福祉部	こども部	経済産業	建設部	環境水道 部	教育部	消防本部	病院	未回答
	0.1						部		чп				
1+11	8人	153人	120人	124人	117人	443人	57人	82人	79人	487人	178人	49人	0人
はい	8人(88.9%)	153人 (98.1%)	120人 (95.2%)	124人 (99.2%)	117人 (95.9%)	443人 (98.4%)		82人 (92.1%)		487人 (96.4%)	178人 (91.8%)	49人 (98.0%)	0人(0.0%)
							57人		79人				-
はい	(88.9%)	(98.1%)	(95.2%)	(99.2%)	(95.9%)	(98.4%)	57人 (100.0%)	(92.1%)	79人 (94.0%)	(96.4%)	(91.8%)	(98.0%)	(0.0%)
いいえ	(88.9%)	(98.1%)	(95.2%) 6人	(99.2%) 1人	(95.9%) 5人	(98.4%) 7人	57人 (100.0%) 0人	(92.1%) 7人	79人 (94.0%) 5人	(96.4%)	(91.8%) 16人	(98.0%) 1人	(0.0%) 0人
	(88.9%) 1人 (11.1%)	(98.1%) 3人 (1.9%)	(95.2%) 6人 (4.8%)	(99.2%) 1人 (0.8%)	(95.9%) 5人 (4.1%)	(98.4%) 7人 (1.6%)	57人 (100.0%) 0人 (0.0%)	(92.1%) 7人 (7.9%)	79人 (94.0%) 5人 (6.0%)	(96.4%) 18人 (3.6%)	(91.8%) 16人 (8.2%)	(98.0%) 1人 (2.0%)	(0.0%) 0人 (0.0%)
いいえ	(88.9%) 1人 (11.1%) 0人	(98.1%) 3人 (1.9%) 0人	(95.2%) 6人 (4.8%) 0人	(99.2%) 1人 (0.8%) 0人	(95.9%) 5人 (4.1%) 0人	(98.4%) 7人 (1.6%) 0人	57人 (100.0%) 0人 (0.0%)	(92.1%) 7人 (7.9%) 0人	79人 (94.0%) 5人 (6.0%) 0人	(96.4%) 18人 (3.6%) 0人	(91.8%) 16人 (8.2%) 0人	(98.0%) 1人 (2.0%) 0人	(0.0%) 0人 (0.0%) 0人

6 ご意見・ご提案について

以下のような視点でのご意見やご提案がありましたらご記入ください。

【視点】

- ① 職員の危機管理意識を高いレベルで維持・継続するための方策
- ② 不祥事をなくすための取組み
- ③ 職場環境や組織風土、仕事のやり方
- ④ その他 ご意見・ご提案

「7 ご意見・ご提案(記述式)では、247件の意見がありました。なお、具体的な記述により職員名等が特定されるおそれがあるもの、事実誤認に基づく意見であることが明らかであるもの、市の行政運営上、著しく支障があると判断されるものについては、掲載を控えています。 具体的な項目ごとの意見は次のとおりです(一部、複数の項目に該当する意見があります。)。

① 職員の危機管理意識を高いレベルで維持・継続するための方策(40件)

- ・給料が低いので、労働の意識が低いのではないか…。正規の一部の働きぶりを見て、自分たちのモチベーションが下がることもある。以前の上司や、給料の多い立場の方が、無責任な言動をしていると、適当にしておこうという意識が芽生えやすいと思う。昇給なしでも毎年、真面目に働きつづけている弱い立場の私たちです。
- ・それぞれの許容範囲が違うため、理解度が違う気がします。また、上司、同僚が許容が広い場合、そ ちらの意見に流される傾向はあるかと思います。
- ・Instagram 等の更新を仕事内で行うのは情報発信として必要であり重要だと思うが、不要な情報であったり不必要にアプリで飾りつけられていたり。「不要」「不必要」に費やす就業時間が無駄であり、市民が目にした時にどう思うか考える必要がある。特に会計年度職員への細かな研修が必要だと感じる。
- ・まずは基本的な知識が必要であり、市から出されているものを全職員が理解していることが大切だと考えます。そのためには、市が研修を実施してくださることも大切だと思いますが、加えて、各職場でも折に触れて確認できる、共通理解し合える職場作り、職場環境が必要だと思います。①の視点から描きましたが、③にも関わってくることだと思います。
- ・研修を繰り返し行うことが有効だと考えます。
- ・コンプライアンスについて、会議などでふれて意識が高まる機会をつくるようにする。
- ・定期的に研修会等に参加することにより、自分が体験したと思うぐらいに意識に刷り込んでいく。また、不正行為を行った場合の処罰等についても意識していくように情報発信を続けていく。全員受講したからと言って終わりではなく、2回3回と繰り返して行っていくことが必要であると思う。
- ・職種によっては難しいのかもしれませんが、職員同士がコミュニケーションよく、お互いが助け合える環境を整えるのが必要だと思います。ひとり仕事にしないように。
- ・繰り返し研修を実施することによる意識付けが重要だと思います。個々に自分のこととして自覚することが大切ではないでしょうか。
- ・公務員として誠意を持って日々の業務に専念して向上心を絶やさない。
- ・意識改革等の講師を招いて研修を開催。

- ・個人による高い倫理観によると思う。常に利害関係者とは緊張感をもって接しているが、接する期間 が長くなることによって緊張感がなくなっていく。そのようなケースが多い部署は定期的な人事異 動と高いレベルで倫理観を継続する研修等を定期的に取組んでいただければと思う。
- ・管理職・一般職問わず全員が研修を受講し、意識の向上を図る必要がある。(毎年何らかの研修を行う)
- ・職員個人の意識レベルを維持向上していくため、定期的な研修受講や意識向上の啓発を行っていく。
- ・定期的な啓発活動
- ・事業の分析や効果検証を行うなど、一つ一つのプロセスを丁寧に紐解いていく事が大切だと思います。プロセスを解明して、業務改善を行いヒューマンエラーの解消を図ったり、新規事業であっても、複数年かけて実効性のあるスキームを構築などの危機管理能力を高める事に繋がると考えるため、デジタル人材の育成やロジカルシンキングの向上を図ることが大切だと感じています。
- 事例研修が必要
- ・定期的にこのようなアンケートを実施したり、機会有るごとに研修を開催したりすることで、全職員 の意識向上につながると思う。
- ・数年に1回は階層ごとの集合研修が必要だと思う。オンライン研修は、忙しい中で自席に座って見る 時間を確保するのは難しい。
- ・法令、制度等について学び、自分の業務について法令等遵守できているか常に考えながら行動する。
- ・今回のように、職員実態調査を行うと、危機管理意識を維持・継続出来るのではないかと思いました。
- •「周知徹底」だけでは普段の業務に流されて実効性が伴わないので、半強制的に、同世代や同職位で の研修機会など参加して考える機会がないと難しいのかな、と思います。
- ・許認可事務など法令に基づいた行政処分を行っている部署の職員は、行政手続について最低限の知識を得るべく、研修への参加を義務付けるべきだと思います。前例踏襲であったり、内々の申し伝えのようなものが横行してしまい、本来の行政指導が行われていないケースが見受けられます。
- ・定期的に事例をもとに会議を開き、どう仕組みを変えればミスを防げるのか組織全体で考える。
- ヒヤリハットの共有
- ・職務にみあった給与支払いや公平な人事評価が行われないから、職員の不満が増えレベルが低下するのでは。また、副市長等の幹部職員に直接いわれたら下の人間は簡単に断れないと思う。
- ・人員不足はわかるが、職員の質の低下について、大量採用も影響しているように思う。一定レベルは 維持すべき。
- ・P コールの事例や、不適切な事例について、自身が業務を行っていく中で同様な状況になる場合もあるため、自分の気づきにつながる。今後も継続して発信していって欲しいと思います。
- ・自分ばかりだけでなく職場の職員は基より自身の家族にも降りかかるということを意識することが 必要と感じています。
- ・事件・事故などは、年数が経過すると風化されていきます。知らない、忘れたという人が増えていく ものです。くどい、面倒くさいと思われるくらい毎年毎年職員に意識付けし、危機管理意識を持たせ る必要があると思います。新規職員に指導することはもちろんですが、入庁後数年経過した時、中間 年齢層になると気のゆるみ、甘さが出てきます。口酸っぱく口頭で伝える、階級別に研修を実施する などし、職員が緊張感を持って業務に従事することを願います。

- ・良い事例、悪い事例の定期的な紹介。何が良くて何が悪いかを定期的に再確認する。
- ・何処の役所でも言われていることであるが、実経験の少ない中間職が多くなり、これまでの失敗や事故の経験のある職員が若い職員に伝えるということが減っている。人事異動においても、経験のある部署に上席で戻るという配置が減り、折角の経験値が活かされていないような気もする。これでは、チェック機能も改善も上手く働かない。
- ・法令やコンプライアンスに関する研修の継続
- ・年1回以上の倫理・危機管理研修実施と他組織を含む不祥事事例の周知により、公務員の資質がある職員であれば倫理意識が維持できるのではないかと思います。
- ・研修会の内容等は、文字やテキストでは記憶に残らないため、再現画像等を用いたほうが良いと思う。
- ・定期的な研修会の開催
- ・知らないことはそもそも気を付けることができないので、知ることが必要かと思います。
- ・改めて、倫理規定や、業務に関する法令・条例・要綱などを読み直し、今まで行ってきた業務が本当に良いのかそうでないのかを理解する。
- ・職場の教養の冊子を輪読
- ・調達等関係職員の短期(3年?)人事異動・(ローカルで叩かれやすい報道ネタ)

②不祥事をなくすための取組み (36件)

- ・今の採用試験ではその人の本質を見抜くことはできない。
- ・個に仕事を任せるのではなく、複数人で取り組み、その内の一人を小リーダーにする。 開かれた空間にして 仕事に取り組む環境。
- ・不祥事を起こした際の処罰を明確化する。
- ・通常2名で行うことが必要であるが人手不足が原因で1名による実施によるチェック不足で情報漏洩。課長クラスの職員は書類の業務量が多くなりチェックがおざなりになり結果として見落としが発生して情報漏洩等のことが一部の不祥事が発生する背景があると考えます。以前の上司は、必要性はわからないが前からやっていることなので何か意味があるのだろう。と、とりあえずやっておけば問題ないの精神で仕事を進めていました。当然、やることはいいことなのですがそのような仕事方法だと一つの書類の確認に割ける時間が減ることも事実であると思います。よって、今後から発生させる仕事については必要性を明示してのちの担当者が必要性をわかるようにして、必要がなくなれば仕事を消せる環境を整えるのがいいと思いました。
- ・管理職による身上把握の徹底、管理職員同士の情報交換
- ・定期的な研修や情報提供の必要性を感じます。
- ・不祥事をおこした職員を実名と処分内容を全庁回覧すること
- ・情報共有や共通理解をまめに行うこと。職員間で些細な疑問や話ができる関係であることが、大事になって くるのではないかと感じます。(言葉を交わしあえる関係であること)
- ・コミュニケーション論だけでなく、職場環境改善のための各種研修を重ねる。事件が起きた場合には、厳罰に処するとともに、それを公表する。
- ・再三に渡り文書やメール等で注意を促しても、改善されない事案については、対象職員に対し罰を与えるべきと思います。職員のモラルの問題ではありますが、改善されない、やめないということは伝わっていないと一緒です。しかるべき措置をとるべきです。
- ・コンプライアンス主管課からの職員への働きかけがほとんど感じられない現状では、見えないうちにどんどん 緩みが生じていくと感じる。どうやって周知し、どうやって効果を発揮するか真剣な考えを持って取り組むべ きことだと思う。
- ・主な原因を考え、そうならないよう予防出来ることから始める。引き継ぎや繁忙期の対策をとる。
- ・担当する業務の専門的な知識や経験のある職員を配置することも必要だと思います。
- ・倫理教育の徹底
- ・公契約関係競売入札妨害の件は、LINEによる連絡が原因であった。業務上LINEにより個人情報を含む 連絡をすることについて上司から強要されているが、個人情報の漏洩の可能性があるSNSを使用すべきで はない。自分は断っている。はっきり、禁止とするべき。また、このような上司は処分されるべき。
- ・定期的な確認や不正防止のチェック体制
- ・定期的な無記名アンケートで不祥事の芽を摘む取組み。通報まではいかない噂レベルのことでも無記名アンケートで注意喚起くらいはできるため、不祥事の予防・抑止になる。
- ・同じようなミスを繰り返さないために、事象ごとのペナルティを明確に運用すべきだと思う。
- ・他の自治体などで発生した不祥事が P コール集のように定期的にまとめて配信されるとありがたいです。他 消防本部の不祥事を時々目にしますが、気持ちが引き締まります。全国的にどのような不祥事が起きている か定期的に知ることが大切だと思います。

- ・担当業務やそれ以外の業務について理解度を高める研修への参加や相談しやすい環境を目指す。
- ・隠ぺい気質を無くすために即座の警察介入。
- ・とにかく職場内のクリーンな関係性だと思います。不安な時には気軽に相談できるような関係性ができていれば、問題は起きていかないと感じます。
- ・副市長という、職員の最上位の方があんな事した段階で、もうこの市は駄目ではないかと思うのです。
- •不祥事をなくすためには職員同士のコミュニケーションが一番大切だと考える。
- ・部下から上司へ対する業務における報告・連絡・相談。上司から部下へ業務の進捗状況の確認。
- ・業務に対する責任感を各職員が常に持つことが重要と考えます。
- ・職場の人数配置の問題もあると思うが、グループ長や課長が忙しすぎて部下の行動が見えていないのではないかと思う。通知や書類の内容不備が多く感じる。上司が通知等の書類を確認するような方法が必要に感じる。以前は書類等は上司や先輩に稟議として回っていたが、今は時間短縮でそのような方法がなされていないと思う。
- ・市役所のルールは、「守らなくてはいけないルール」と「守っているふりをすればよいルール」のダブルスタンダードになっていて、その判断が各個人に任せられていることが不祥事につながる一因と思います。守っているふりをすればよいルールの最たるものは、見積書や契約書の日付を空欄でもらって、こちらの都合の良い日を追記するという昔からの習慣です(財務事務の手引きでは明確にルール違反とされています)。これに慣れてしまっているため、「コンプライアンス遵守」=「ばれないようにする、つじつまを合わせる作業」が染みついてしまい、それが運悪く表に出たときに不祥事になっているだけで、実際は不祥事は今でも多数起きていると思います(少なくとも、市のルール通りではなく、後付けで書類を整えている事案は多数あると思います。)。決められたルールは徹底して守る(守らざるを得ない環境にする)か、守れないルールは実情に合わせて変更し、変更したルールを必ず守る組織に変わらないと不祥事は減らないと思います。どの職員にも関係する日付の件だけでも改善すると、市役所全体の意識が変わるのではないかと思います。
- ①見積書には必ず、会計課でその日の日付印を押してもらう(日付の改竄ができない)ようにしてルールを守らざるを得ない環境を作る
- ②日付を追記・修正してよいルールを新たに作る
- ように試行してみてはと思います。
- 守っているふりをすればよいルールを撤廃し、ルールは必ず守る組織風土を醸成することが、不祥事を減らす近道と思います。
- ・P コール事例集のように全国での公務員の不祥事についての事例集を作り、事件及びその後の処分結果等を知ることで、自分自身を律するきっかけとする。
- ・特に金銭管理において、募金を含めて必ず 2 人以上の職員でのチェック体制が必要。ひとりで金銭を扱わせない、同じ担当に金銭管理をさせないことが重要。
- ・管理職以上の職員に対して、再度コンプライアンス研修を実施し、法令遵守を第一とした業務に改めていくべき。福祉関連部署に多い通知の誤発送は、基幹業務システムに送付先を付けていることが大きな原因。本人または後見人以外に通知しないことを徹底すればかなり防げる問題だと思います。(本人または後見人以外に通知してほしいという相談を受けたら、自分で郵便局へ行ってもらって個人の責任で手続きをしてくださいと言うべき)
- ・過去の職員の不祥事内容と処分内容を繰り返し周知(忘れない)
- ・頻繁な研修で職員の意識を高めること
- ・必ずダブルチェックし、一人で完結することがないようにする。チェック者も、担当と同等レベルの知識を持ち、 日付と名前を書いてチェックするなど意味のあるチェックができるようにする。

- ・業者との癒着だけでなく、マンネリ化や組織の循環も含め、職員の1部署における在籍年数を6年以上ではなく、3年から5年くらいにしておくことが適切と考えます。
- ・爾後への組織掌握を具現するための監督官?(責任者)による現場状況把握(問題がない部署こその 運営形態に磐田市の財産がある)

③職場環境や組織風土、仕事のやり方(104件)

- ・話をできる環境の整備
- ・会計年度職員の仕事についてのマニュアル化が成されていない。各人によって仕事のやり方が違うことで、 個人情報等、コンプライアンス意識にもかかわってくると思う。
- ・上司に相談できる雰囲気や仕事についても一人で抱え込まず共有、協力しあう体制作りが大切だと思う。業務の簡略化も必要だと…。(できるものから)
- ・出来るだけ1人だけが知っているような業務は無くし、ある程度仕事を共有できるようマニュアルを作成し、仕事を行っていくことが大切だと感じています。
- ・風通しの良い職場であれば、一人の判断で業務をするのではなく、いろいろなことを話し合いで決めていくことが出来、結果正確な業務になっていくと思います。些細な事でも話し伝えるのは大事です。もし間違っていても、その場で修正されるし、みんなの意見で対応が出来るので、常に話し合いを心がけていきたいと思います。
- ・組織全体の風土が関係すると思います。また、職員が大事にされるという安心感があることで、より良い仕事 をしようという気持ちに反映されると思います。
- ・行政の共通問題として、スクラップ&ビルドが出来ていない(やめ方を決めずに始めている事業が多すぎる) ため、業務過多でただでさえ少ない職員が疲弊しており、不祥事に繋がっていると思います。コンプライアン ス系研修を受講する余裕が無い場合や、無理に時間を作って受講しても、身になっていないと思います。
- ・公立園それぞれ、また園長それぞれでルールが違いやりづらさを感じることがある。磐田市の園なのである 程度同じルールの中で保育できると異動の際スムーズだと思うし、園長の機嫌をみて発言しなくて済む。
- ・事務処理の中で上司2人以上のチェックが必要と思います。(現在1人です。)ただのチェックではなく、仕組みを理解しているうえでのチェックでこそ、チェック機能が活かされると思います。
- コミュニケーションをまめに取るようにする
- ・文化財課のセンター内において、収蔵庫内の遺物や各執務室の棚の資料や本など、整理や見直しが必要と思う。センター内のキャパシティオーバーなので、保管場所を追加するなどしてほしい。現在使用していない公共施設や幼稚園、学校などの再活用。保存や保管が業務上必須なのは理解しているが、使用する頻度や優先順位を改めて見直し、不要なものがメイン棚やスペースを占拠しているので、それらを見極めて職場環境の見直しが必要と思う。昔のまま・置いたままの状態の所が多いため、現在のニーズに沿った収納が必要だと思う。
- ・研修、事例を定期的に行う。
- ・一人ひとりの良さを見つけ、認め、周りにも伝えていくことは大事で、モチベーションアップにもつながると思います。職場の雰囲気の良さにもつながると思うので、大事にしていきたいことです。
- ・職員がそれぞれ感じている不満や不安の解消に向けて、同僚や上司が個人的、組織的に対応し、改善しようとしている姿勢を見せることが必要。
- ・昨今は多岐にわたって気遣いをしなければならないので、多忙な中では個々のストレスにも影響してきます。 それが原因でうっかりミスをしてしまうようなことが、最も残念なことだと思います。どの職場もひとりの職員が課題を抱え込むことない環境が、時節にかかわらず保たれることを望みます。
- ・まかせきりの職場ではなく、お互いに声を掛け合い確認ができる職場環境が大切だと感じます。 周りの人に 困っている職員には助けられる心のゆとりが欲しいと思います。
- ・会計年度職員が正規より多く、高齢の方もいるため、意識の仕方に差があり組織風土を保つことは難しく感じている。このようなアンケートももっと分かりやすい内容でやってくれると良い。

- ・課によって仕事やり方が異なる部分があると思われるため、統一化できることは統一化を図りたい。
- ・高い倫理観や広い視野で業務に臨もうとしていても、あまりにも忙しければ、個々の職員が自分の担当業務をこなすのに精いっぱいになり、視野も狭くなり、コミュニケーションもなくなり、職場のチェック体制もなくなる。 業務中の私語は慎むべきものではあるが、もう少し気持ちに余裕の持てるコミュニケーション豊かな、自由闊達な組織風土が望ましいと思う。
- ・意見を言いやすい職場環境がコンプライアンスにもつながると思いました。
- ・上記の①~③は全て関連もあり大切なことだと考えます。コンプライアンスというと堅苦しく取組みも難しいように感じられ、かえって取組が進まないように思えます。各職員の日常業務において、常に些細なことでも振り返ること、やったらやったきりでなく、「これはこのやり方で良かったのだろうか?」と疑問をもつよう習慣づけることが必要だと思います。このような習慣ができれば、ヒヤリハットが仮にあった場合にも、大きな問題につながることなく経過することができると思います。仮に誤りがあったときには、取り繕うことなく事実を明確にすることで誤りにいたった要因を分析でき、二度と同じ過ちを繰り返すことをなくすことができるのではないでしょうか。要因分析を深くやらず善後策を平易に考えて実行していることで、同じような過ちを繰り返しているように思います。
- ・新しい人が入所し、職員が入れ替わり、悪い面が改善されるのはいいが、健全な風土(良い面)も薄らいでいる。上司、同僚とのコミュニケーションの取り方やメリハリのある組織・仕事が必要であると思いますので、効果ある講演会・講習会等の実施を望みます。
- ・忙しくても、ベテランといわれている人でも、個人情報や法の確認は、数人でチェックするという考えをもつ組織であってほしい。人任せ、一人任せ、勤務年数が長いから大丈夫、こんなのできて当たり前という考えは危険と感じます。
- ・どの課、グループであっても、属人化は良くないと思います。上司が固定化されると、独裁的になるからです。
- ・相談し易い職場環境の構築が必要。個人でなく、組織で対応する。
- ・孤立させない。職場環境を作る。見守るなど。
- ・県事務員から市事務員へのパワハラを耳にしました!職場環境に影響が出ると思います。横のコミュニケーションが足りないのでは。
- ・業務のチェック体制の強化 上司、同僚とコミュニケーションを図ることにより、情報の共有が、不祥事がなくなる事へ繋がる。
- ・グループ長等の管理職の方が、各業務をグループ員任せとせずに、各業務に積極的に関わり、日常的にコミュニケーションをとることが大切だと思います。
- ・各個人が、どのような仕事を行っているか毎日の業務前ミーティングで簡単に報告してもらうことによって、グループ又は課で情報の共有を図り、担当者が不在の場合でも、業務を引き継いでいけるようにしておけば、不正が発生しにくくなるのではないか?
- ・保育の現場では、不適切保育についての問題があるが、職員はほぼそれ以外の現場で仕事をしたことがないため、今までこうだったから、それが当たり前などの意識をもつ職員もいる。市費や業者対応等、そのスキルを身に着けている市の職員が保育の現場に加わり、違った視点でとらえていくのもいいのではないか?また、保育現場の職員も異なる部署へ行くことも良い刺激となるのではないか。
- ・「危ない」とか「あれ?」って感じたことを、声に出して言えるかどうかが、危機管理上も仕事をうまく進めていく 上でも必須条件なのではないかと思っています。疑問に感じて周囲に聞いてみる、不安を伝えてみるという 基準が明確でなく、人の感性によるところが大きいのかもしれませんが、このレベル感を合わせていくのがマネジメントであり、管理職の務めだと考えます。
- ・今以上の技術向上や人の意見を聞いてどれが一番良いのか検討する余裕が欲しいです。

・これまでの不祥事を振り返ると、どのような働きかけが最適なのかわかりません。それぞれの心の奥底までは 把握するのは不可能と思います。そんな中でも不祥事が起きた場合の影響を「我が事」として意識してもらう のが一番効果的だと思います。それを伝えるのは上司の役目と思いますが、それを職員が受け入れてくれる かは、関係性がしっかりできていないと難しいと思います。そのため、職場でのコミュニケーションをしっかりと った上で、不祥事が起きた場合に自分や家族、職場にどのような影響が出てしまうのかだけでも伝え続けて いくことが大切と思います。

・公人としての意識

- ・人が少ない、時間がない、意見が通らない等、組織の話題の中心が「不満」になると問題が発生する。提案を自由に発言できる、考えを言い合える雰囲気づくりに努めたい。それぞれの立場、経験年数に応じて行われる研修を職場の実務に活かせるよう支援する。
- ・担当業務の法令等理解はあると思うが、以前の対応や処理などのやり方等を都度確認、理解し現状に則し対応しているが、経緯や相手方を考慮した対応や処理をすることがあることから、前問題について「いいえ」としている。経緯等を考慮した場合、その経緯及び対応状況を記し後に続ける様指導しているが、それが良否と言えるか不安である。
- ・業務過多により、負担軽減のため、コンプライアンス意識の薄れなどによる不祥事の発生が多いと考える。人員増が困難な状況な中、継続的な業務負担の軽減には業務の DX 化が不可欠であると考える
- ・不祥事をなくすためには、個人の倫理観の高揚はもとより、コミュニケーションの取りやすい職場の雰囲気が必要と考えます。日頃からのコミュニケーションが図られていれば、職員の異変に気付くこともできると思います。
- ・日々の小さなことの積み重ねが影響してくると思うので、日々の業務を軽視しない。日頃から職場同僚との会話等コニュニケーションをとり風通しのよい職場にする。
- ・同僚の姿として「公務員としていいな」と感じる立ち居振る舞いが沢山ある。日々の業務遂行の中で互いに認め合う対話を大切にしていくとよい。実践を通して意識を高めていけたらよいと思う。
- ・各部局、課の組織において、適正な業務量、適切な人員配置が重要と考えます。担当する事務が広範囲に わたる場合や業務量から煩雑になる部署は、ミスや確認等が行き届かないと思います。
- ・発生した事務処理誤りに対し、「同じ過ちを繰り返さない」という意識が不足していると感じる。例えば書類誤 封入防止のための機器導入を提案しても予算要求すらされず、また、誤封入を防ぐための窓あき封筒の利 用推進などの動きもない。
- ・私語について、とても気になっています。個人情報漏洩というより、「公務員として職務に専念する」という義務を逸脱しているのではないかという勤務状態の職員がいます。そして問題なのは、その部署(グループ)内において、それを注意するということが行われていないことです。このような組織風土の状態化は、いつか何らかの不祥事につながるのではないかとも心配します。具体的に言えば、休憩時間と区別なく職務とは関係ない話を長々としている、大声ではないが周りに何を話しているかがはっきり聞こえる声量で平気で話しているというものです。これはどの部署でも起こることで、職務に専念するという意識が低い職員がいるとその周辺はゆるい空気になります。そのため、それを引き締めるために「公務員としての意識確認」を朝礼等で定期的に行う必要があります。「程よい緊張感をもった職場環境の中で気持ちよく働きたい」と、どの職員も思っているのではないでしょうか。
- ・正規、非正規に限らず、研修を受ける場受けられる環境を整備していただけたらと思います。
- ・隣の人などに、常に相談出来る環境になるといいと思います。
- ・業務繁忙期の時こそ、高いレベルでのダブルチェック等の内容確認が必要だと思います。それが出来る組織体制の構築をお願いします。
- ・職員の努力や成果を正当に評価することのできる組織の確立
- ・職員の歯磨き等できる水場の設置。

- ・円滑に業務を執行していく上で、マイナス面も多くありますが、定期的な人事異動が必要であると考えます。 理由は、外部組織や関係者との付き合いが長くなることで、お互い緊張感が無くなり、良好な関係性を重視 するあまり公平性が保たれなくなる可能性が高くなるためです。また、不適切な事務(対応)があった場合でも 異動に伴う事務の引継ぎによって早期に発見、是正ができると思います。特に外部組織との関係性につい ては、過去の経緯やさまざまな理由があり、現在の関係に至っていると理解していますが、組織として部下の 判断をブレさせない一貫した方針を示し、貫く覚悟が必要であると感じます。部下がブレるのは、上司や組 織が自分のことを本気で守ってくれるのか不安に思うからです。部下、組織を守るためにも安心して働ける職 場環境や組織風土の醸成が重要で、それが市民の安心につながるのではないかと考えます。
- ・業務は個々に行っているが、グループ全体で行っているという共通認識が必要。個人負担を軽減させ、全員 で協力するという意識を職員が持つことが重要。
- ・市民の求めている行政について、全ての職員が考えながら職務を行うことが大切だと思います。
- ・パワハラをし、その事にまったく気付いてない正規職員がいる。お互い思いやりをもって仕事ができるように、 取り組んでほしいです。
- ・倫理観を確認するための上司の指導や職員研修の充実
- ・部署を超えてコミュニケーションがとりやすい環境、風通しの良い環境が大切だと思います。
- ・リーダーとしての資質が乏しいまま、グループ長以上の職にある者が散見される。リーダーとしての能力があるからこそ、昇任させるべきであり、リーダー養成のあり方を根本から見直すべきである。
- ・事務分掌により仕事が個人に付随するようになってはいけない。担当外のことも認識と理解に努めることが大切。
- ・自組織だけでなく、他市の出来事・風土にも目を向け、戒めとしています。
- ・担当1人だけで業務をさせ続けないで、ローテーションにより、違う目で業務の確認・見直しを図る。
- ・不足が顕著となっていると感じる。業務の改善で対処できる状態ではなくなってきており、1名で対応しなければならいことが多くなっている。1人の責任が重くなってきているため、組織が硬直化していると感じる。
- ・不祥事を無くすための取組を考えるよりも、より良い仕事(市民満足度の高い)をするための資質向上研修を 進めていくことが大切であると思います。その結果、不祥事が減っていくのかを検証することも重要であると 思います。
- ・パワハラ、不適切な対応、役職身分に合わない仕事の仕方などがあったら、それなりに対処処分が必要であると考える。間違った人が、いつまでも上司でいたり、平然と休んでいたりするのは、一生懸命働いている者が不公平に感じる。
- ・職員同士が互いに話しやすい相談しやすい関係性を構築・維持し、気軽に相談しやすい環境を作る・維持すること
- ・風通しの良い職場環境を望む。異動しても変わらず何でも言い合える環境が大事。
- ・人間はミスをする生き物。職場内で人間関係ばかりを優先し、お互いのミスを指摘できない職場は不祥事がなくならないと統計に出ています。
- ・職場や業務移動の際、きちんと引継ぎ処理が行われたか? が重要になると思います。それには引継ぎできる十分な時間と、日頃から誰にでもわかるような業務のマニュアル化が必要です。
- ・課内の適切な職員人数の配置、ヒアリング等の要望事項の反映が実感できる組織風土

- ・個人の意識改革はもちろん必要だが、仕事の量が多すぎたりして、余裕が無いとかえってミスをしたりすると思う。そうなると、不満なども出やすかったりする。また、あまりマニュアルばかり作って細かく決めすぎたり、白黒はっきりさせすぎると、そうでない場合の対応ができない人になってしまう。だから、基本だけしっかり作っておいて、あとは臨機応変にできるように人材育成をしたほうが良い。更に、職員間や部署間などコミュニケーションがかなり大切になると思う。それにより、人間関係や風通しの良い職場になり、不祥事の減少、根絶につながっていくのではないかと思う。
- ・なれ合いになってしまいがちな職場環境を正すため、手間はかかるが、対面研修を実施する。
- ・ミスやヒヤリ事例があったときにうやむやにせず、職場で原因や改善策をきちんと話し合い、実行することが 大事だと思う。各職員が手続き方法など疑問に感じる点を、G内で共有し話し合える環境づくりも大事。不適 正事案は詳細を庁内周知してくれるようになったが、会計事務のミスや先日の「読み間違い」も詳細がわから ないので、具体的な対策がとりにくいと感じる。
- ・分かっているだろう、大丈夫だろうと思わず、心配なときは声を掛ける、周りに聞く。
- ・職員が気軽に話や相談ができるような職場環境づくりが大事ではないかと思います。
- ・人手不足を感じますが、人口減により人員の補充は今後も難しくなると考えます。人員が少なくても現状のサービスを維持できるよう、システムを構築するなどの別の方法で業務の負担を軽減する必要があると思います。
- ・共通の目標を共有し協力体制を確立するため、職場の風通しをよくするためのグループ内会議の開催など 部下の意見や思いをしっかり受け止められる組織作りが必要と考える。
- ・稟議決裁について、起案者以外の全職員が押印することにより、必要以上に時間を要している場合がある。 また、内容を確認せず、事務的に押印している職員が非常に多い(チェック漏れが多い)。不適切な事務処 理の対策として、「課僚」の欄は業務毎に定めた副担当者のみが押印する等、ルールを明確化し、グループ 長以上が確実に確認する時間を確保すべきと考える。
- ・職員間でのコミュニケーションを増やすこと、お互いに意見を言い合えることがコンプライアンス違反を無くす 要因だと思います。
- ・上司や同僚に相談しやすい体制の構築と業務が属人化させないよう、主担当・副担当の業務の分担・共通理解、意思統一が大切だと思います。
- ・人手不足の部署が多すぎると思います。
- ・職場内で誰もが気軽にコミュニケーションが図れる雰囲気づくりが重要に思われる。
- ・仕事のやり方、市としてどのようにこの仕事をすべきと考えているのかなどといった研修もほぼ無く初日から巡回という形で働いている身では知る由もないことが多く、コンプライアンスにかかる要件を知らぬうちに踏んでいないか心配になることも多い。今年度は資料も一緒に付けてくださっているため見ることができたが、今回初めて見る資料や用語も少なからずあった。研修ももちろん大切だが、研修のために時間を割いて少ない就業時間を減らすのならば、どういったことをすべきなのかを、まずは最低限示してもらいたい。そういったフォローがあってこそ、コンプライアンスにかかるか否かの質問にも回答できるのではないか。
- ・ちょっとしたことや些細なことと、本人のみの判断はせず、上司又は同僚に報告・連絡・相談することを基本におき、やり続けることが大事だとあらためて思います。
- ・所属ごとに縦割りになりがちであるが、何かあったときに相談できる人脈づくりが不可欠だと思う。しかし、なかなか仲良くなる機会がないなと感じる。昔は懇親会や組合活動等を通して知り合うことができたが、この年になるとその機会もなく開拓が難しい。今まで個人的に積極的ではなかったなと反省することもあるが、職場環境として接点を得られる場があるとうれしい。
- ・風通しの良い職場はこうした問題も起きにくい傾向にあると思います。 定期的なミーティングで情報共有、意見交換を行うこと。 良い意味で楽が出来るよう、所属長が見直し・改善を呼び掛けること。

- ・個人の資質、市民から公務員としてみられていることを常に意識して言動、行動に慎重になる。
- ・特定の業務について、担当以外誰もわからない、という状況をなくすこと。
- ・業務繁忙に関連して。「仕事のスクラップアンドビルド」と言われてはいますが、新規事業は増えても、スクラップの事例が全く思い浮かびません。しわ寄せが、責任感のある職員や、処理能力の高い職員に行きがちだと思います。市職員の持続可能な働き方として、新しい取り組みをするのであれば、必ずスクラップしていくことを望みます。
- ・職員が担当業務に追われ、余裕がなくなっている状況のため、コミュニケーションの機会も減っていると感じる。人員不足を少しでも解消できれば、組織風土も仕事のやり方も改善しやすくなると考えます。
- ・職員全員が思いを言いやすい雰囲気づくりに努める。そのためには日々の語り合いを充実させ、良いことも 困ったことも気軽に言い合える関係づくりの構築を行う。また、同時に勤務環境の改善も行っていく。課題が でたら、スピード感をもって解決策を考え実践していくことを大切に積み重ねる。
- ・法令順守の意識はあっても知識が無ければ尊守することは難しいと思います。業務多忙の中、法令全ての確認や読み直しなどを行うことは不可能に近い。知識の習得や確認には周囲職員との意見交換も重要と考える。このため、各個人が法令やマニュアルを理解するのと同じくらいに周りの職員と意見交換できる職場環境も重要と思います。
- ・机上に書類が大量にある職員が多い。見た目が悪いだけでなく紛失のリスクもあるため整理整頓すべき。
- ・現在の業務は機密性の高い情報を扱うため、部署の配置替えが必要と考える。
- ・同じ業務を長年やっていると、 怠りが生じミスが発生するので、 定期的な人事異動を必ず行い、 風通しの良い職場環境をしてほしい
- ・職場の風通しをよく知ることが、一番重要です。 気軽に話ができる上司、同僚がいれば不祥事は減ってくると思います。
- ・普段から職場内で何でも言い合えるような雰囲気を醸成しておくことが大切である。
- ・最近、入庁3年目~くらいの若手職員が市民に対しても挨拶をしないのが気になります。同時に階段やロビーでの立ち話なども目立ちます。今はパワハラなど注意も儘ならない世の中なので上司も注意することを躊躇してしまいます。特に仕事に慣れてくる年代にこのような行動が目立つのが気になります。市民がいても楽しそうにお構いなしにお喋りに興じています。
- 相談しやすい人間関係つくり、定期的な人事異動で風通しをよくする。
- ・大前提として、職員一人ひとりが公務員としての立場を理解し、高い倫理観を持って仕事に臨むことが大切ですが、組織として、業務多忙によるチェック体制が満足に対応できない、何かあった際に互いに相談し合える環境づくりを進めるなど、複合的に取り組むことが大切だと考えます。今後も引き続き、行政ニーズの多様化が進み仕事の整理(やめるべき事業はやめて時間と人のゆとりを作りその中で対応すること)が出来ないまま進まないよう組織として対策を行う必要があると思います。
- ・とにかく正規職員の増員 これにより担当業務の縮小化、チェック体制の強化、コミュニケーションの向上が 図られると思う。現在は業務量多く視野が狭い状況にあると感じています。
- ・声かけを続けていくことで、円滑なコミュニケーションに繋がっていく。このつながりが、意見を言える職場の風土を醸成していき、不正行為を含めた疑問が生じる行動言動等の気付きにつながると思う。
- ・確かに事務処理の簡素化の観点から、手続きの簡素化を図ることも大切だと認識しています。一方、 行政機関である以上、デュー・プロセス(適正手続き)の観点も重要となるため、基本的な法的知識 や考え方を前提としつつ、業務改善を図ることが大切だと感じています。
- ・職場内で情報の共有が出来る環境が一番かと思います。

- ・まだ年功序列の風土と、勤務年数が長い人のやり方でやらなければならないなどの風潮がある為、若い人が育っていかない。若い人が意見を言えて、共有、協議できる環境や人間関係が良好に保てる職場であるよう改善が必要だと思う。
- ・上司から、意見や要望を求められるので、率直に自分の意見要望を伝えるが、結局のところ、何も改善されない、というのが、現実です。
- ・児童クラブの一人あたりの面積や設備等が余りにも違いすぎているように思います。

④その他 ご意見・ご提案 (57件)

- ・病気休暇をもらう際、職員課から連絡があった。その時、「賞与にひびくけどいいか?」と聞かれたため、「いくらくらいひびくのか?」と質問したが、「分からない」との返答だった。後々、会計年度のハンドブックに8割になるとの記載があると、他の職員から聞いて分かった。職員課の方は、本来なら、「分からない」ではなく、きちんと調べて、返答をするべきだと思う。(そもそも、病気休暇中は無給にされている上に、更に賞与も減らされるのはひどいと思う。)
- ・どんなことでも気軽に相談できる職場環境(コミュニケーション)が大切に思います。
- ・不祥事やコンプライアンス違反が発覚してからでないと気が付かない者、見つからなければいいと 考えている者に注意喚起をしても効果がないので、陥りやすい事例を紹介するような研修を行う。
- ・仕事量に対する、対価としての給料をきっちり支払えば職員の向上心があがったり不祥事は防げる ものもあるのではないでしょうか。市役所、病院、消防、残業代がきっちり払われないなどの話はよ く聞きますが、その辺の充実を図らずに職員にしっかりやれと言っても難しいのではないでしょう か。
- ・前副市長や現職課長の絡んだ不祥事がなぜ起きたのか充分な検証と情報の公開がされていないのでは。同じ過ちをなくすための根本的なことが職員に周知徹底されていない。
- ・まず第一に、市民の方との接客は誠意を持って丁寧に対応する、という点が私たち公務員の最重要の 義務だと思います。
- ・職場での直属の上司と、ある一定の人の公金の使い方や、業務のやり方について、不祥事につながる のではないかと思われる事項を、課の上司に意見、報告をしているが、全く改善がされない。コンプ ライアンスを謳っているはずなのに。
- ・人員確保と給料をあげてほしい。人員確保をすることで、それぞれの職員の余裕がうまれ、心の安定 に繋がり不祥事や事故が減ると思う。
- ・人員確保、仕事がしやすい環境
- ・ご迷惑をおかけしないように、責任と正しい手順を常に意識して仕事を進めなければならないと思います。
- ・他自治体も含めた不祥事発生事例を庁内で共有することを継続していくことにより、職員として気を付けるべきことや、現状の仕事のやり方について点検する契機とする。
- ・業務に手一杯で他のことを考える余裕がない。業務を減らす、人員を増やす等一人ひとりが余裕を持って仕事できる環境をつくらなければ事務ミス、不祥事は起こると感じる。
- ・報告、連絡、相談はどのような場でも必要に思う。
- ・風通しのいい職場の雰囲気つくりと、人間関係をよくする取り組みが必要と考えます。
- ・個人情報の保護に対する高い意識を常に持ち、職務にあたる。
- ・職場内の雰囲気やコミュニケーションの取りやすさ等が相談のしやすさや不正防止につながると思います。
- ・不祥事を見つけ通報した場合、通報者個人の情報が漏洩し、不当な扱いを受けるようなことがあってはならない。ただ、今の組織は通報者個人の情報が絶対に保護されるかと言えばとても言い難い。それゆえ、見て見ぬふりをする職員もいる。若手職員の早期退職が多いのも、このようなことが関係しているのではないかと考える。組織を浄化し、職員が働きやすい職場に変えるために、信頼して相談ができる上司の育成や信頼して相談ができる窓口の設置が必要と考える。

- ・こんなアンケートや研修よりも、早く業務でのLINEや個人携帯の使用を禁止すべき。ルールやモラルばかり言っていても、その原因となるツールを野放しにしていたら意味がない。禁止できないならしっかり把握・管理してください。何か問題が起こってからや議会で質問が出てきてから調査するようでは遅いと思います。
- ・事務処理上のミスを減らす対策として、病院の医療安全への取り組みは参考になると思います。
- ・この調査(アンケート)を、啓発の一つとして利用できるように工夫してはどうか。
- ・日々の業務を淡々とこなしているとコンプライアンス意識が薄れてきてしまうため、定期的な意識づけをしていきたい。
- ・仕事とプライベートをはっきりと区別するべきであると考える。必要以上な私生活への干渉。強制的 な飲み会等。
- ・何でも相談できる上司がいて、アドバイス・指導もきちんとしてもらう事が大切だと思う。
- ・業務中のミスを減らすことは職場内のコミュニケーション能力が大事だと思います。基本の挨拶から感謝の言葉、お詫びの言葉など普段何気なく口にしている言葉に気を付けて、職場内のコミュニケーションだけではなくお客様とのコミュニケーションにも「言霊」を意識してコミュニケーションをとって業務を遂行していけばミスがなく、皆、お互いに気持ちよく1日を過ごせると私は思います。もちろんコミュニケーション能力だけではなく確実に業務を遂行するべく、業務のやり方も丁寧にやっていけばミスも減ると思います。
- 今後も市の職員として意識して行動していきたいと思います。
- ・正しい知識、理解が必要。
- ・ハラスメント問題も含め、ロゴフォームで定期的な匿名アンケートをこのように全職員にやれば解 決すると思います。
- ・様々な研修を数年に一度ごとに行うことで、より効果的に職員の意識を引き締められると考える。
- ・個人的にですが、範囲を超えた業者との交際、不祥事、ハラスメント共に職員の資質によるものと断定している。個人のし好で職員を差別したりする人は業者との対応にも濃淡が出てしまうのではないかと思うので、内外において平等な目を持って対応することを心がけ、それを部下にも心がけるよう周知していきたい。
- ・コミュニケーション不足、担当外業務を自分事と思わない風紀が蔓延し、ミスが蔓延している。各個人の資質もあるが、統括する課長・G 長それぞれが意識的な声掛けをしていかなければ課全体としての風紀がなかなか変わらない。
- ・元市会議員が執務室内に入ってくることが気になっている。元議員の資質もどうかと思うが、それを 良しとしている上司にも不信感を持ってしまう。
- ・職員の給与水準が高ければ、金銭の授受等への意識はかなり変わるのではないでしょうか。また、仕事に対する評価や対価が適正であれば、高いモチベーションを維持できると思います。
- ・不祥事事例の公表を継続することで、職員の不祥事防止意識向上、職場の事務処理体制のチェック機能にも効果があると考えます。
- ・裏紙使用やリサイクルを勧めているが、人によっては使用済みの利用者名簿(住所・氏名・電話番号) なども古紙扱いしていたりする(見つけた場合は機密に回しています)。機密文書回収は以前(有料) と違って、現在は収益を上げているので、紙類の処分は原則機密文書扱いにした方がいいんじゃないかと、常々思ってしまいます。
- ・業務繁忙のため、ゆとりがなく、チェック不足が発生する。知識も広く得ることができない。悪循環を招いている。職員の業務の平準化となる人員配置を考えてほしい。

- 不祥事を起こさないためには人事異動が重要
- ・自分自身はコンプライアンスに注意して行動するよう意識はしているが、ニュース等でさまざまな 不祥事・事件が発生していることを考えると、社会全体が、自分本位の考え、刹那的な行動、正直者 が馬鹿を見るような風潮が加速しているような気がしてなりません。
- ・誰もが不祥事を起こすつもりで仕事はしていないと思いますが、直接の市民対応をしている現場の 部署では、見た目以上に多忙です。チェック機能を強化させるためにも、人員の配置には若干の余裕 が必要です。事務のチェックだけに限らず、余裕のない業務執行は市民対応にも影響してきます。
- ・職員がどんどん多忙になっている気がします。特に若い方が疲弊しているように見受けられます。1年目、2年目の職員でも重たい業務を任せられ、土日に出勤してさばかないと終わらない、という若手職員を何人も見ました。皆、責任感と使命感で仕事しているのですが、余裕がなく、危機管理的なこと、正しい業務であるか、といったことにまで意識がいかないのではないかと思います。市役所の仕事に絶望してやめていかれないよう、若手をもっとのびのび、全体を見ながら仕事させてあげられる環境になればよいなと思います。
- ・市民のために働くという使命感を持つことが大切だと思います。
- ・会計年度任用職員は、異業種からの転職等で今まで法令などを学んだりする機会がなかった職員もいると思います。個人の倫理観はもちろんですが、法令を遵守して業務にあたるためには、必要な法令について学ばなければならないと思います。
- ・単純な事務処理ミスや郵送ミスなどは業務多忙や人員不足による影響があると思いますが、コンプライアンスについては職員本人の倫理観・モラルの問題であると思っています。
- ・不祥事や不適切な事務処理があった場合は、発生した所属のみで事後対応させるのではなく、コンプライアンス委員会などが検査等に実際に職場に入って対応させる。
- ・公務員としては当然のことであるが、一人一人の意識による部分が多く、末端の職員まで浸透させることが課題と思う。また、会計年度任用職員全体へも浸透させることも、重要なことの一つであると考える。
- ・地方公務員である以上、居住する地域の活動 {自治会、消防団、祭典など} に出て、「やっぱり公務員は頼りになる」くらい、地域の人に認識されることが、市役所の信頼継続に繋がってくると思います。
- ・自覚次第だと思います。
- ・人員不足、業務多忙等により、職員の心にゆとりがない。助け合う心などは、精神的なゆとりがない と難しいと思われます。適正な人員配置を希望します。
- ・不適切な事務事例が発生の都度、全職員に通知していますが、晒されることの恐怖から隠蔽につながる恐れがあるのではないでしょうか。
- ・誤発送等事務手続きでのミスが発覚した際、内々で処理し上まで報告があがらない(あげない)部署と報告し新聞等で報道される部署がある。上司の判断に差があるため、現状何をしても不祥事はなくならないと思う。
- ・紙の決裁文書から電子文書に移行すれば、職場で回覧する際に保管方法に伴うリスクが減ると考えます。
- ・現役世代の職員が自由な発想で伸び伸びと仕事ができ、日々、遣り甲斐を持って過ごせることが大事であり、不祥事防止に繋がると考えている。職員の年齢構成の不均衡や定年延長職員の立ち位置や権限が不明確であることが要因で、部署によっては職員個々が自由に意見ができたり、伸び伸び仕事ができる環境にない。

- ・単なる知識不足や職場・人事への不満から不祥事につながることが多いと思う。公務員としての高い倫理意識を保つことが重要だが、ここに期待するのは無理がある。定期的に原点に立ち返る機会として研修等を通じて繰返し周知することに尽きるのではないか。こんなこともコンプライアンス違反になるのかと思うような事例の紹介があると参考になります。
- ・倫理意識のない者は採らない。
- ・個人情報関係のメールにパスワード設定等をしていない市職・県職が相当数いるものと思われます。
- ・マニュアルの簡素化、必要な研修会
- ・そもそものルールが形骸化していて、そのルールに従うことが難しいと考えます。必要悪、見せしめのようなルールで、そこまで言うなら、地域の活動もPTAも祭りも消防団もすべて地域の利害関係者ばかりの集まりに市の職員が参加することを禁じればどうですか?無理ですよね。
- ・会計年度職員の採用について。現在所属している人が優先、募集は形のみというのは、市民にとって公平さに欠く。

⑤その他(10件)

- ・職場内の意思疎通が必要かと思います。何でも話せる状況であると良いと思います。
- ・公務員としての認識、自覚、をどの人ももつべきであると思います。
- ・公務員の仕事は、ある種抑圧された重圧の中で日々を送っている。そんなプレッシャーを和らげるのは、日常的な職場の雰囲気でありコミュニケーションだと思う。家庭でも問題を抱えた状態では、正常なモラルや危機意識が薄れることもある。すべてを安定した状況にすることは難しいが、少なくとも時間的、精神的な余裕を持つために、ON/OFFの切り替えや業務のメリハリ、定時帰宅の習慣など職場環境の充実によって得られる、規則正しい生活や楽しみのあるライフスタイルがすべての基本になると思います。
- ・いろいろ対策を講ずることも大切でしょうが、事例を示すなどして個人の意識を高めることが最重 要だと思います。
- ・児童クラブでは、大変な子がいますが、やっぱり、支援員同士の相性の組合せで、上手くいくかいかないか、変わると思います。お互い信頼できる相手なら、なんとかなると思います。
- ・入りたての頃とある部署で不愉快な思いをしたことがあります。
- ・各部、各課、各グループでの業務内容が違うため、それぞれで危機管理意識の持ち様や不祥事をなく す方法が違ってくるかと思います。個人的にはグループ単位で①~③を議題にミーティングを実施 して、気を付ける事や共通認識等を職員で決めて共有した方が良いと思います。
- ・不祥事をなくすためには、職場内のコミュニケーション及び業務を一人で抱え込む職員がいない環境づくりが必要であると考えます。
- ・人格否定をしてくる支援員には辞めてもらいたい。
- 1人に任せないで複数の人で仕事をする。

資料編

1 あなたご自身についてお伺いします。

(該当する番号を選択してください。)

質問1 あなたの任用形態は。【全員必須】

1. 正規職員(再任用含む) 2. 会計年度任用職員

質問2 あなたの年齢は。【全員必須】

1. 10 歳代・20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代以上

質問3 あなたは、管理職ですか。【全員必須】

1. 管理職 2. それ以外

※参考下記のような区分で回答してください。

管理職:一般事務職員(主幹級以上の職員、園長・副園長)

消防職員(主幹級以上の職員)

病院職員(行政職:主幹級以上、医療職:病院長、副病院長、看護部長、部長、センター長、次長、

理事、副部長(薬剤部・医療技術部の副部長に限る。)、技師長、技監、副センター長、

副看護部長)

それ以外:上記に該当しない職員

質問4 あなたの所属は。【全員必須】

1. 危機管理課 2. 総務部(監査・議会事務局含む) 3. 企画部(会計課含む)

4. 自治市民部 5. 健康福祉部 6. こども部 7. 経済産業部

8. 建設部 9. 環境水道部 10. 教育部 11. 消防本部 12. 病院

2 不正行為につながるような不当な要求についてお伺いします。

- ※「不当な要求」とは...
- ①暴力、脅迫等により、業務を妨害したり、職員に危害を加えたりする行為
- ②市が行う許認可等又は契約及び入札に関し、特定の事業者等又は事業者等以外の個人(以下「個 人」という。)のために有利な取扱いをするよう要求する行為
- ③人事(職員の採用、昇任、降任、転任等をいう。)の公正さを害する行為
- ④個人情報をはじめとする職務上知り得た情報に関し、法令に違反してその漏示を求める行為
- ⑤市が行おうとしている不利益処分に関し、当該不利益処分の名あて人となるべき事業者等又は個 人のために有利な取扱いをするよう要求する行為
- ⑥上記①~⑤に掲げるもののほか、法令に違反する行為であって、当該行為により特定の事業者等 若しくは個人が有利な取扱いを受け、又は不利益な取扱いを受けるよう要求する行為

質問5	前回のアンケート(R3.9)以降についてお答えください。あなたは、1から 11 に掲げる
	ような事項について、市民や事業者等から便宜などを図るよう不当な要求を受けたことは
	ありますか。
	(該当する番号を選択してください。)【全員必須】

1. ある(→質問5-1へ) 2. ない(→質問6へ)

「不当な要求」の内容

- 1. 事業計画に関すること
- 2. 工事の発注・執行に関すること
- 3. 入札・契約に関すること
- 4. 検査・監督に関すること
- 5. 審査・確認に関すること
- 6. 許認可に関すること

- 7. 入所・入園に関すること
- 8. 賦課・徴収に関すること
- 9. 補助金などに関すること
- 10. 人事に関すること
- 11. その他

質問5-1 質問5で「ある」と回答し 当な要求の内容」についてお (該当する□に☑してくださ	答え	くださ	さい。		D行為	を行	った	「相手	の立;	易」と	:「不
│「相手の立場」は、A~Gの中から選択	7										
不当な要求の内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
相手の立場	事業計画	行事発注・執	入札・契約	検査・監督	審査・確認	許認可	入所・入園	賦課徴収	補助金	人事	その他
A 業者及び業界団体											
B 国会·県議会議員(秘書含む)											
C 市議会議員(元市議会議員含む)											
D 市民											
E職員											
F 元職員											
G その他											

質問5-2 質問5で「ある」と回答した方に聞きます。不当な要求に対して、その要求に応じた ことがありますか。(該当する番号を選択してください。)

1. ある (→質問5-3へ) 2. ない (→質問5-4へ)

質問5-3 質問5-2で「ある」と回答した方に聞きます。不当な要求に応じた理由は。 (最も当てはまる番号を1つ選択してください。)

- 1. 要求に応じることが正しいことであると判断したから
- 2. 要求に応じることが正しいとは思わなかったが、相手の意向を無視すると今後の業務が円滑に進まなくなるおそれがあったから
- 3. 要求に応じることが正しいとは思わなかったが、相手に自分や家族が世話になっているから
- 4. 要求に応じることが正しいとは思わなかったが、相手の意向を無視すると自分に不利益を生ずる恐れがあったから

質問5-4 質問5で「ある」と回答した方に聞きます。不当な要求に関して誰かに相談しましたか。(該当する番号を選択してください。複数回答可)

- 1. 上司 2. 同僚 3. 他の部署の職員
- 4. その他の相談機関(行政相談・弁護士等)
- 5. 相談はしなかった(→質問5-5へ)

質問 5-5 質問 5-4 で「相談はしなかった」と回答した方に聞きます。相談しなかった理由は。 (記述式 50 字以内)

質問6 不正行為につながるような不当な要求について、あなたの意見や考えに近いものを1つ選択してください。【全員必須】

- 1.不当要求には断固とした態度で臨む、受け入れない、要求もすべきでない
- 2.公務員としてあってはならないこと。公務員としての自覚
- 3.上司や同僚に相談する、相談できる環境の整備
- 4.個人の意識、倫理観の問題
- 5.職場の環境づくり、組織としての対応力の強化
- 6.不当要求への共通認識、研修の充実
- 7.上司等の意識と職員としての対応の徹底
- 8.法令遵守、コンプライアンス意識
- 9.一人ではなく複数で対応する、一人で判断しない
- 10.公私の区別
- 11.啓発やコミュニケーション、職場での情報共有
- 12.定期的な人事異動
- 13.厳罰化、厳しい処分

3 利害関係者との「つきあい」についてお伺いします。

- ※1「利害関係者」とは(磐田市職員倫理規程より抜粋)
- ア 許認可等を受けて事業を行っている事業者等、当該許認可等の申請をしている事業者等又は個人及び当該許認可等の申請をしようとしていることが明らかである事業者等又は個人
- イ 補助金等の交付を受けて当該交付の対象となる事務又は事業を行っている事業者等又は個人、 当該補助金等の交付の申請をしている事業者等又は特定個人及び当該補助金等の交付の申請を しようとしていることが明らかである事業者等又は個人
- ウ 立入検査、監査又は監察等を受ける事業者等又は個人
- 工 不利益処分をしようとする場合における当該不利益処分の名あて人となるべき事業者等又は 個人
- オ 行政指導により現に一定の作為又は不作為を求められている事業者等又は特定個人
- カ 契約を締結している事業者等、当該契約の申込みをしている事業者等及び当該契約の申込みを しようとしていることが明らかである事業者等
- ※2 磐田市職員倫理規程第4条では、利害関係者との以下のような行為を禁じています。
- ①金銭物品又は不動産の贈与を受けること
- ②金銭の貸付けを受けること
- ③無償で物品又は不動産の貸付けを受けること
- ④無償でサービスの提供を受けること
- ⑤未公開株式を譲り受けること
- ⑥供応接待を受けること
- (供応…酒食を提供してもてなすこと、接待…客をもてなすこと、一定の席を設けて飲食物の提供を受けることなどがこれに該当する。酒席のみならず、旅行招待、映画・演劇招待なども含む。)
- ⑦一緒に旅行、ゴルフ・遊技(麻雀など)をすること
- 質問7 前回のアンケート (R3.9)以降についてお答えください。あなたは、利害関係者と1から 10 に該当するような関係になったこと、あるいは、そのような関係を持ちかけられたことはありますか。(該当する番号を選択してください。)【全員必須】
 - 1. ある(→質問 7-1,7-2 へ)
- 2. ない(→質問8へ)

「つきあいの内容」

- 1. 中元歳暮などの贈答品の提供
- 2. 飲食の誘い
- 3. 旅行の誘い
- 4. ゴルフへの誘い
- 5. 現金や金券、有価証券の提供
- 6. 音楽鑑賞やスポーツ観戦などのチケットの入手:
- 7. 就職等のあっせん
- 8. 土地や建物など不動産の提供
- 9. 債務弁済
- 10. その他

質問 17 あなたは、職場において、コンプライアンスの面で問題があるのではと思うこと(法令違反や公務員倫理からの逸脱)を目撃した場合、どのように行動すると思いますか。 (いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

(いずれが、「つの番号を選択してくたでい。」【主兵必須】

- 1. 直接、本人に注意する 2. 自分の職場の上司に相談する
- 3. 自分の職場の同僚(先輩や後輩)に相談する
- 4. 公益通報対策委員会に通報する 5. 何もしない

質問 18 あなたは、自分の職務以外において、不祥事や事件に発展する可能性のある情報を知り 得たとき、どのように行動すると思いますか。

(いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

- 1. 担当する部署に報告する 2. 自分の職場の上司に相談する
- 3. 自分の職場の同僚(先輩や後輩)に相談する
- 4. 公益通報対策委員会に通報する 5. 自分の職務以外のことなので行動しない

質問 19 あなたは、コンプライアンス上の問題が発生する一番の要因は何だと思いますか。 (いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

- 1. 業務繁忙
- 2. 人手不足
- 3. 情報共有・チェック体制の不備
- 4. 法令等の理解不足

- 5. 規範意識の緩み
- 6. 個人的な資質
- 7. 職場内のコミュニケーション不足

質問 20 あなたは、コンプライアンス上の問題を発生させないようにするためには、何が最も有効だと思いますか。(いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

- 1. ミスのない確実な事務処理
- 2. 担当業務に関する十分な知識や技術
- 3. 担当業務に限らない幅広い知識
- 4. 高い倫理観
- 5. 積極的な情報開示
- 6. コミュニケーション
- 7. 公私の区別

- 8. 向上心や自己啓発
- 9. 常に業務改善を行う意識
- 10. 研修の充実
- 11. チェック体制の強化
- 12. 相談窓口の充実
- 13. 公益通報窓口の充実
- 14. 厳正な処分

4 法令遵守(コンプライアンス)の状況についてお伺いします。

質問9 あなたの職場において、コンプライアンスの面で気になることはありますか。 (該当する番号を選択してください。複数回答可)【全員必須】

- 1. 業務上必要な法令やルールに対する十分な確認・理解不足
- 2. 個人情報の取扱い
- 3. 個室での対応など状況に応じたプライバシーへの配慮
- 4. 業務上の書類や資料の整理
- 5. 仕事に関する必要な情報の職場内での共有化
- 6. 公共の場での職員の立ち話などからの情報漏洩
- 7. SNS等インターネットを利用する際の発信内容への配慮
- 8. 特になし

質問 10 磐田市コンプライアンス行動指針を読んだことがありますか。 (いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

※文書管理>総務部>総務課>120 コンプライアンス関係>000 磐田市コンプライアンス行動指針

- 1. 必要に応じて読み返している 2. 1度は読んだことがある
- 3. 存在は知っているが、読んだことはない 4. 存在を知らない

質問 11 磐田市職員倫理規程(ガイドブック)を読んだことがありますか。 (いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

※文書管理>総務部>職員課>020人事関係>職員倫理規程関係

- 1. 必要に応じて読み返している 2. 1度は読んだことがある
- 3. 存在は知っているが、読んだことはない 4. 存在を知らない

質問 12 あなたは公益通報制度を知っていますか?

(いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

※文書管理>総務部>職員課>099 各種資料>公益通報各種様式

- 1. 通報先や通報の方法を知っている 2. 聞いたことはある
- 3. 知らない

質問 13 あなたは、職場内で起こった不正等の通報の対象となる事実を発見した場合に、公益通報対策委員会に相談又は通報をすると思いますか。

(該当する番号を選択してください。)【全員必須】

1. はい(→質問 14 へ) 2. いいえ(→質問 13-1 へ)

質問 13-1 質問 13 で「いいえ」と回答された方に聞きます。公益通報対策委員会に相談又は通報をしないと思う理由を選択してください。

(該当する番号を選択してください。複数回答可)

- 1. 上司や同僚などに相談できるので、この窓口へ相談又は通報をする必要がないため
- 2. 詳しい制度の内容が分からないため
- 3. 窓口の連絡先又は通報(相談)方法が分からないため
- 4. 通報(相談) したことが周囲に知られてしまうことが心配であるため
- 5. 通報(相談) したことにより不利益な取扱いを受けることが心配であるため
- 6. 通報(相談)しても、適切な調査や是正措置が行われると思えないため
- 7. 公益通報対策委員会が信頼できるか不安であるため
- 8. 実名による通報であるため
- 9. 不正等には積極的に関わり合いたくないため
- 10. 自身が監督職以上など自ら解決できるため

質問 14 職員課が公開している P コール事例集を読んでいますか。 (いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

※文書管理>総務部>職員課>080 おもてなし>P コール事例集

- 1. 必要に応じて読み返している 2. 1度は読んだことがある
- 3. 存在は知っているが、読んだことはない 4. 存在を知らない

質問 15 各所属の事務処理マニュアル(※)に則って事務を行っていますか。

(いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

※各所属の業務の進め方や根拠法令などをまとめた文書類(例:投票事務マニュアル、 宿日直マニュアル、パブリックコメント手続に関する指針等)

1. 行っている 2. 行っていない

質問 16 不適切な事務処理等発生時の対応マニュアルを読んだことがありますか。

(いずれか1つの番号を選択してください。)【全員必須】

※文書管理>総務部>総務課>120 コンプライアンス関係>020 不適切な事務処理等発 生時の対応マニュアル

- 1. 必要に応じて読み返している 2. 1度は読んだことがある
- 3. 存在は知っているが、読んだことはない 4. 存在を知らない

質問 7-1 質問7で「ある」と回答した方に聞きます。利害関係者である「相手方の立場」と「つきあい」の具体的な内容についてお答えください。 (該当する□に☑してください。複数回答可)													
「相手の立場」…A~Gの中から選択													
「つきあい」の内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
相手の立場	贈答品	飲食	旅行	ゴルフ	現金・金券	チケット	就職	不動産	債務弁済	その他			
A 業者及び業界団体													
B 国会·県議会議員(秘書含む)													
C 市議会議員(元市議会議員含む)													
D 市民													
E 職員													
F 元職員													
G その他													

質問 7-2 質問 7 で「ある」と回答した方に聞きます。利害関係者との「つきあい」を理由に、不当な要求に応じたことがありますか。 (該当する番号を選択してください。)

1. ある 2. ない

質問8 利害関係者との「つきあい」について、あなたの意見や考えを教えてください。 (最も当てはまる番号を1つ選択してください。)【全員必須】

- 1.公私を区別し利害関係者とは一線を引き、公務員の立場を自覚して行動する
- 2.倫理意識・コンプライアンス意識を持って対応する
- 3.職員として利害や見返りで仕事をしてはいけない、しない
- 4.上司・同僚等に相談する
- 5.公務員としての「つきあい」を徹底する
- 6.定期的な人事異動、複数人での対応の実施
- 7.厳罰化、厳しい処分の実施
- 8.部外者の執務室内立入禁止の徹底
- 9.特になし

5 仕事に対する意識についてお伺いします。

質問 21 あなたは、公務内外を問わず、高い倫理観を持って行動することができていると思いますか。(該当する番号を選択してください。)【全員必須】

1. はい

2. いいえ

質問 22 あなたは、法令等に基づいて、正確な仕事をすることができていると思いますか。 (該当する番号を選択してください。)【全員必須】

1. はい

2. いいえ

6 ご意見・ご提案について

最後に、以下のような視点でのご意見やご提案がありましたらご記入ください。 ※①~④を付して記入願います。

【視点】

- ① 職員の危機管理意識を高いレベルで維持・継続するための方策
- ② 不祥事をなくすための取組み
- ③ 職場環境や組織風土、仕事のやり方
- ④ その他 ご意見・ご提案

視点 No. 意見·提案

アンケートは、これで終了です。ご協力ありがとうございました。